SONY

3-257-478-**01**(1)

BBeB Dictionary

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品には、読み取り専用の“メモリースティック-ROM”が使われています。データの記録はできません。
本製品は、BBeB Dictionary対応機器およびBBeB Dictionary対応ソフトウェアでのみお使いいただけます。
対応機器をご確認のうえ、お使いください。

MEMORY STICK ™

BBEB-D009S

SONY BBEB Dictionary BBEB-D009S

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4ページの注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

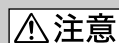
① **本製品を挿入している機器の電源を切る（詳しくは、挿入している機器の取扱説明書をご覧ください）。**
② **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

ぬれ手禁止

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

万一、当社の製造上の原因による不良がありました場合には、お取りかえ致します。それ以外の責はご容赦願います。

本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

乳幼児の手の届くところに置かない

この“メモリースティックROM”は小型のため飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

目次

この取扱説明書について

本書では、“ メモリースティック-ROM ”内に収録されている辞書の基本的な検索の種類を説明しています。
文字の入力や項目の選択のしかたなどの詳しい操作方法については、使用する機器の取扱説明書をご覧ください。

本機には次の辞書が収録されています

岩波書店

広辞苑 第五版／逆引き広辞苑(第五版対応)

研究社

リーダーズ英和辞典 第2版
監修カタカナ発音英単語検索辞典
新和英中辞典 第4版

Oxford University Press

オックスフォード現代英英辞典 第6版

学習研究社

監修漢字字典
四字熟語早引き辞典
暮らしのことわざ早引き辞典
カタカナ新語実用辞典

この取扱説明書に表示されている画面の内容は、改良のため、一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

“メモリースティック-ROM”内の辞書を選ぶ

ご注意

本製品は、BBeB Dictionary対応機器およびBBeB Dictionary対応ソフトウェアでのみお使いいただけます。対応機器をご確認のうえ、お使いください。

1 お使いになる機器の“メモリースティック”スロットに“メモリースティック-ROM”を挿入し、収録されている辞書の一覧を表示する。

詳しくは本製品をお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

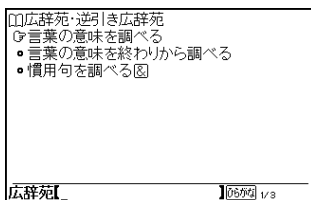
2 表示画面中の をジョグダイヤルで移動させ、使いたい辞書を選ぶ。選んだらジョグダイヤルを押す。

選んだ辞書の表紙画面が表示されます。
それぞれの辞書のページの指示に従い検索してください。

ご注意

- お使いになる機器により、項目の選択のしかたや決定のしかたが説明と異なる場合があります。本製品をお使いになる機器の取扱説明書でご確認ください。
- 説明に使われている画面は、e-Book Reader EBR-100MSに本製品を挿入して使用したときのものです。
- 本製品には、読み取り専用の“メモリースティック-ROM”が使われています。データの記録はできません。

広辞苑 第五版／逆引き広辞苑(第五版対応)を使う

「広辞苑 第五版／逆引き広辞苑(第五版対応)」では以下の方法で検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「言葉の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に言葉を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「言葉の意味を終わりから調べる」を選ぶと

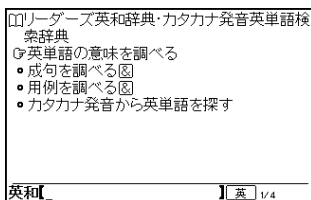
表紙画面下の検索文字入力欄に調べたい言葉の後ろの部分（接尾語など）を入力して、検索します。

「慣用句を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「広辞苑」については、24ページの「広辞苑 第五版について」と31ページの「広辞苑図表集」もご覧ください。

リーダーズ英和辞典 第2版／カタカナ発音英単語検索辞典を使う

「リーダーズ英和辞典 第2版/カタカナ発音英単語検索辞典」では調べたい言葉を入力して検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「英単語の意味を調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄に単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

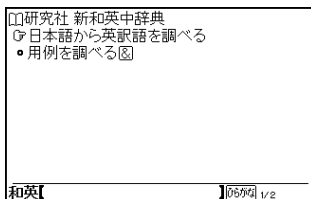
「成句を調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「用例を調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「カタカナ発音から英単語を探す」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄に調べたい単語をカタカナ発音で入力します。前方一致検索で検索することができます。

「リーダーズ英和辞典 第2版/カタカナ発音英単語検索辞典」については、80ページの「リーダーズ英和辞典 第2版について」もご覧ください。

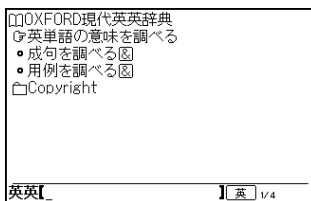
新和英中辞典 第4版を使う

「新和英中辞典 第4版」では以下の方法で検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「日本語から英訳語を調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄に単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「用例を調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「新和英中辞典 第4版」については、**102ページの「新和英中辞典 第4版について」もご覧ください。**

オックスフォード現代英英辞典 第6版を使う

「オックスフォード現代英英辞典 第6版」では以下の方法で検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「英単語の意味を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に単語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「成句を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「用例を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「オックスフォード現代英英辞典 第6版」については、110ページの「オックスフォード現代英英辞典 第6版について」もご覧ください。

漢字字典を使う

「漢字字典」では調べたい漢字を構成するパーツ（部品の）読み・部首名・総画数・パターン（構造）の中から、わかっている条件を入力して調べます。

四字熟語早引き辞典を使う

「四字熟語早引き辞典」では以下の方法で検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

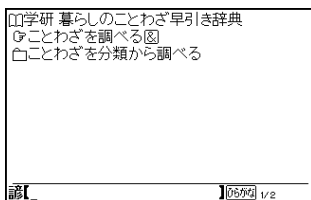
「四字熟語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄に四字熟語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「四字熟語を分類から調べる」を選ぶと

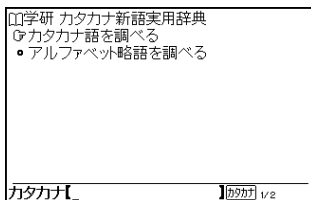
目次画面が表示されます。
ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

暮らしのことわざ早引き辞典を使う

「暮らしのことわざ早引き辞典」では以下の方法で検索することができます。
ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「ことわざを調べる」を選ぶと
表紙画面下の検索文字入力欄にキーワードとなる複数の単語を&で区切って入力し、検索することができます。

「ことわざを分類から調べる」を選ぶと
目次画面が表示されます。
ジョグダイヤルで調べたい項目を選び、押します。これを何度かくり返して検索します。

カタカナ新語実用辞典を使う

「カタカナ新語実用辞典」では以下の方法で検索することができます。ジョグダイヤルで検索方法を選びます。

「カタカナ語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にカタカナ語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「アルファベット略語を調べる」を選ぶと

表紙画面下の検索文字入力欄にアルファベット略語を入力します。前方一致検索、後方一致検索、ワイルドカード検索で検索することができます。

「カタカナ新語実用辞典」については、127ページの「カタカナ新語実用辞典について」もご覧ください。

マルチ検索を使う

マルチ検索機能を使えば、本製品に入っている複数の辞書から調べたいことばを検索することができます。

1 ［マルチ検索］キーを押す。

マルチ検索選択画面が表示されます。

マルチ検索選択画面
☞ BBEB−D009S マルチ検索
📖 内蔵辞書 マルチ検索
ジョグで選択後、決定して下さい　1/2

2 ジョグダイヤルで ☞ を移動させて「BBEB-D009Sマルチ検索」を選び、押す。

本製品でできるマルチ検索の種類が表示されます。

📖BBEB−D009S マルチ検索
☞ 国語・言葉の意味を調べる
・英単語の意味を調べる
・英・成句を調べる
・英・用例を調べる
国語【_】ひらがな　1/4

3 ジョグダイヤルで「国語・言葉の意味を調べる」、「英単語の意味を調べる」、「英・成句を調べる」または「英・用例を調べる」を選び、調べたいことばまたはキーワードを入力する。

該当項目が表示されます。

パソコンにBBeB Dictionary Viewer for Windows®をインストールする

お使いのパソコンに、付属のCD-ROMに入っているBBeB Dictionary Viewer for Windowsをインストールすると、パソコンでも"メモリースティック-ROM"内の辞書を検索することができます。

お持ちのパソコンのシステム構成を確認する

付属のCD-ROMに収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- OS：Microsoft® Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional（以降、Windows XP Home EditionとWindows XP Professional共通の場合は、Windows XPと記載します。）
- CPU：MMX Pentiumプロセッサ 233 MHz以上（Pentium II 400 MHz以上推奨）
- RAM：64MB以上（Windows XPの場合は128MB以上推奨）
- ハードディスクドライブ：30MB以上の空き容量
- ディスプレイ：High Color以上、800×600ピクセル以上を推奨
- CD-ROMドライブ
- "メモリースティック"スロット、USB端子などのインターフェースで接続された"メモリースティック"リーダー（リーダーライター）、"メモリースティック"用PCカードアダプター、または"メモリースティック"用フロッピーディスクアダプターなど
- マウスやトラックパッドなどのポインティングデバイス

ご注意

Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XPをお使いの場合、コンピューターの管理者（Administrator）権限のユーザー（アカウント）でログオンしてからインストールを行ってください。

次のページにつづく

インストールする

1 **Windows上で起動しているすべてのソフトウェアを終了する。**

2 **パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入する。**
しばらくすると、パソコンにインストール画面が表示されます。
インストール画面が表示されない場合は、画面左下にある［スタート］をクリックしてから［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「CD-ROMドライブ名：¥Setup.exe」と入力します。

3 **［Sony BBeB Dictionary Viewer for Windows用のInstallShieldウィザードへようこそ］の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。**
［使用許諾契約］の画面が表示されます。
契約内容をよく確認し、内容に同意できる場合は、［使用許諾契約の条項に同意します］をチェックします。

4 **［次へ］をクリックする。**
［ユーザ情報］の画面が表示されます。
画面の指示に従い、ユーザ情報を入力します。

5 **［次へ］をクリックする。**
［インストール先のフォルダー］画面が表示されます。
画面の指示に従い、インストール先のフォルダーを指定します。

6 **［次へ］をクリックする。**
インストールの確認画面が表示されます。

7 **［インストール］をクリックする。**
プログラムのインストールが始まります。
インストールが完了すると、［完了］の画面が表示されます。

8 **［完了］をクリックする。**

パソコンで辞書をひく

パソコンにインストールしたBBeB Dictionary Viewer for Windowsを使って検索をします。

BBeB Dictionary Viewer for Windowsを立ち上げる

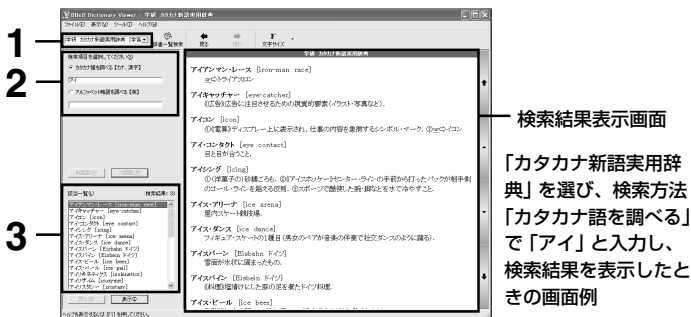
1 パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する。

2 パソコンに“メモリースティック-ROM”を挿入する。または、メモリースティックリーダーなどをUSB経由でパソコンとつなぐ。

3 パソコンのデスクトップ画面で、[BBeB Dictionary] アイコンをダブルクリックするか、[スタート] をクリックしてから [プログラム]（Windows XPの場合は [すべてのプログラム]）－ [BBeB Dictionary Viewer for Windows] をクリックする。

BBeB Dictionary Viewer for Windowsが立ち上がり、画面が表示されます。

検索する

「カタカナ新語実用辞典」を選び、検索方法「カタカナ語を調べる」で「アイ」と入力し、検索結果を表示したときの画面例

1 BBeB Dictionary Viewer for Windowsの画面で、選択辞書名表示欄の右側の▼をクリックし、表示された辞書の一覧の中から検索したい辞書をクリックする。

次のページにつづく

2　表示された検索項目から検索したい項目を選ぶ。

文字を入力して検索する場合は、文字入力欄に検索文字を入力する。

電子辞書を使った検索と同様に、前方一致検索、または「＊」を使った後方一致検索やワイルドカード検索ができます。

目次検索の辞書の場合は、手順3の画面に表示される項目から選択する。

クリックによる選択をくり返して検索します。

検索したい項目がエクスプローラのフォルダツリーのように展開していきます。

3　該当一覧から調べたい言葉を選んでダブルクリックする。

画面右側に検索結果が表示されます。

その他の操作については、画面上にあるヘルプを参照してください。

マルチ検索ができます。

手順1で表示された辞書の一覧から「マルチ検索」を選べば、複数の辞書から検索できます。

“メモリースティック-ROM”使用上のご注意

“メモリースティック-ROM”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック-ROM”の端子部に手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- データの読み込み中に“メモリースティック-ROM”を抜かないでください。
- 下記の場合、データが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中に“メモリースティック-ROM”を抜いた場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。

辞典の内容について

本製品に収録した辞典の内容は以下の出版社および編者の著作物を各社のご協力を得て編集したものです。

本書の一部または全部を無断で複写すること、および賃貸に使用することは、著作権法で禁止されています。

また、個人としてご利用になるほかは出版社に無断では使用できませんのでご注意ください。

各著作物と著作者

広辞苑 第五版

編者　新村 出
著作権者代表
財団邦人新村出記念財団
発行者　大塚 信一
発行所　株式会社 岩波書店

● 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 岩波書店
Tel. 03(5210)4082

リーダーズ英和辞典 第2版

© 1999 株式会社 研究社
編者　松田 徳一郎
発行　株式会社 研究社

監修カタカナ発音英単語検索辞典

© 2001 株式会社 研究社
編集・著作　株式会社 研究社
発行　株式会社 研究社

新和英中辞典 第4版

© 1994,2001 株式会社 研究社
編者　R.M.V.Collick
日南田 一男　田辺 宗一
発行　株式会社 研究社

※ 英和、和英辞典については、図版、付録などを除き書籍版の全内容を収録しています。ただし画面表示の都合、その他の事情により、研究社の監修に基づいて、書籍版の内容を編集した部分があります。

● 記述内容についてのお問い合わせは下記へ

株式会社 研究社
Tel. 03(3288)7711

オックスフォード現代英英辞典 第6版

Oxford Advanced Learner's Dictionary
© Oxford University Press 2000
編集・著作・発行
Oxford University Press

※ 英英辞典については、図版見出し、付録などを除き書籍版のほぼ全内容を収録しています。ただし画面表示の都合、その他の事情により、Oxford University Press の監修に基づいて、書籍版の内容を改変した部分があります。

● 記述内容についてのお問い合わせは下記へ
オックスフォード大学出版局株式会社
Tel. 03(3459)6481

監修漢字字典

© GAKKEN
編集・著作　株式会社 学習研究社

四字熟語早引き辞典

© GAKKEN
編集・著作　株式会社 学習研究社

暮らしのことわざ早引き辞典

© GAKKEN
編集・著作　株式会社 学習研究社

カタカナ新語実用辞典

© GAKKEN
編集・著作　株式会社 学習研究社

● 記述内容についてのお問い合わせは下記へ
株式会社 学習研究社 辞典編集部
Tel. 03(3726)8371

- 本製品に収録した辞典は、出版されているそれぞれの辞典に基づいて作成しております。それぞれの辞典における誤記や誤用につきまして、当社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の故障、誤動作、不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害、および文書ならびに画像データが正常に保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの、付随的損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

広辞苑 第五版について

●著作権関係

1．著作権など

『広辞苑 第五版』　1999-2000年

編者：　新村 出
著作権者代表：
　財団法人新村出記念財団
発行者：　大塚信一
発行所：　株式会社岩波書店

この辞典に格納されているデータは著作権法によって保護されており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁じられています。
また、この辞典に格納されているデータを引用した著作物を公表する場合には、出典名・発行所を明記してください。
『広辞苑』は岩波書店の登録商標です。
「岩波広辞苑第五版」の記述内容についてのお問い合わせは下記へ
株式会社　岩波書店
TEL 03(5210)4082

●編集方針

1. この辞典は、国語辞典であるとともに、学術専門語ならびに百科万般にわたる事項・用語を含む中辞典として編修したものである。ことばの定義を簡明に与えることを主眼としたが、語源・語誌の解説にも留意した。収載項目は約23万である。
2. 国語項目は、現代語はもとより、古代・中世・近世にわたってわが国の古典にあらわれる古語を広く収集し、その重要なものを網羅した。漢語・外来語のほか、民俗語・方言・隠語・慣用句・俚諺の類についても、その採録に意を用いた。
3. わが国語のうち最も基礎的と思われる語約1千を選んで、その語義・用法などを特に詳述した。
4. 国語項目の解説に当っては、つとめて古典から文例を引用し、また、現代語の作例を多く掲げ、語の用法を実地に示した。また、仮名遣いや発音を定めるに当っては、古辞書・訓点本の類に照らして正確を期した。
5. 現代一般に用いられる、造語能力を有する漢字約3千200を項目として掲げ、意味とそれぞれの熟語例を示した。
6. 語源・語誌は、編者の説を中心にして諸家の説をも参酌し、要約して注記した。必要に応じて、漢語にはその出典を、外国語の訳語にはその原語を掲示した。
7. 百科的事項の収載範囲は、哲学・宗教、歴史・地理、政治・法律・経済、教育、数学・自然科学、医学、産業・技術・交通、美術・芸能・体育・娯楽、語学・文学などの万般にわたり、地名・人名・書名・曲名・年号などの固有名詞にも及ぶ。わが国の人名は物故者に限った。
8. 系図・組織図・一覧表など約100表をこの別冊に掲げ、解説文の理解を助けるよう配慮した。

広辞苑 第五版の使い方

●項目の構成・表記について

1．見出し語

＜仮名遣い＞

原則として『現代仮名遣い』（1986年７月内閣告示）の方式に従って表記した。

(1) 和語・漢語には平仮名を、外来語には片仮名を用いた。

こおり【氷・凍り】（コホリ）
せん‐せい【先生】
ま‐ぢか【間近】
しゅく‐じ【祝辞】
つづ・く【続く】
クラブ【club・倶楽部】
こんにち‐は【今日は】
アラスカ【Alaska】

(2) 歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものは、その相違する部分を本文見出し語に片仮名で記し、相違しない部分は「‥」で略した。

あおい【葵】（アフヒ）
がっ‐こう【学校】（ガクカウ）
おうさか【逢坂】（アフ‥）
おおさか【大阪・大坂】（オホ‥）
とお‐か【十日】（トヲ‥）
もよお・す【催す】（モヨホス）
いれ‐ぢえ【入れ知恵】（‥ヱ）
うわ‐ぢょうし【上調子】（ウハデウ‥）

(3) 外来語の片仮名表記については『外来語の表記』（1991年６月内閣告示）を参考とした。中国の地名・人名は一般に漢字音によったが、現代地名・人名は、原語音のローマ字表記を解説の冒頭に記した場合がある。

※　長音を表すには「ー」を用いた。

※　外国の固有名詞、および、外国語の感じが多分に残っている語に限って〔ｖ〕の音は「ヴ」の仮名で表した。

＜見出し語の区切り＞

(1) 語構成を示すため、語源上からこれを二つの基本部分に分け、「‐」でつないだ。語によっては、三つ以上に区分したものもある。

あ‐がき【足掻き】
ふ‐かのう【不可能】
う‐の‐はな【卯の花】
しか‐のみ‐なら‐ず【加之】

語源を確定しがたい場合、また、語形の変化によって区分しがたい場合は、「‐」を付さなかった。

やなぎ【柳・楊柳】（ヤノキ（矢箆木）の転か）
やよい【弥生】（イヤオヒの転）
ちょうな【手斧】（テヲノがテウノと転じ、さらに訛ったもの）

(2) 人名は姓氏と名との間で区切り、地名は「山」「川」「橋」などが付く場合、その直前で区切ったが、その他の地名・作品名・年号などの固有名詞は原則として区切らなかった。

(3) 活用する語は、原則としてその終止形を見出し語とし、語幹と語尾との間に「・」を付した。その位置が語構成を示す「‐」と合致する時は、「・」のみを付した。

さが・る【下がる】〘自五〙
さ・げる【下げる】〘他下一〙
うれ・し【嬉し】〘形シク〙
うれし・い【嬉しい】〘形〙
かえり・みる【顧みる・省みる】（カヘリミル）〘他上一〙
め・く〘接尾〙

次のページにつづく

<表記形>
【　】の中に、見出し語の仮名に相当する漢字または外国語の綴りを示した。
・漢語・和語
(1) 相当する漢字がいくつかある場合は、現代標準的と思われるものをもって代表させた。この際、『同音の漢字による書きかえ』(1956年7月　国語審議会報告) などを参照した。
※ 「弘報」(コウホウ) と「広報」(クヮウホウ)、「聚落」(シュウラク) と「集落」(シフラク) とのように、字音仮名遣いが異なるものは、別項として扱った。
(2) 送り仮名は、現代語は現代仮名遣い、古語は歴史的仮名遣いに従って施した。『送り仮名の付け方』(1981年10月　内閣告示) に示された原則に準拠しつつ、旧来の慣行をも考慮して送った。
あた・る【当たる・中る】
あ・てる【当てる・充てる】
おも・う【思う・想う・憶う・念う】(オモフ)
おもい【思い・念い・想い】(オモヒ)
おもい‐わた・る【思ひ渡る】(オモヒ‥)
ほとんど【殆ど・幾ど】
き‐に‐いり【気に入り】

・外来語
(3) 外来語については、わが国に直接伝来したと考えられる原語を掲げ、その言語名を注記した。英語の場合は一般にその注記を省略した。また、ギリシア語・ペルシア語・ロシア語などは適宜ローマ字綴りに直した。漢字を当てる慣行の定着している語にはこれを並記した。
ビードロ【vidro (ポルトガル)】
ガス【gas (オランダ)・(イギリス)・瓦斯】
シャポー【chapeau (フランス)】
テーマ【Thema (ドイツ)】
イクラ【ikra (ロシア)】
デスク【desk】
中国語および漢字の当たる梵語・朝鮮語などの場合は、【　】内にその漢字を掲げ、適宜、原語音をローマ字で注記した。
マージャン【麻雀】(中国語)
チョンガー【総角】(朝鮮語 ch'onggak の転)
(4) 外国語の固有名詞には原則として言語名を注記せず、解説の叙述で分るようにした。人名の場合は姓だけでなく名をも示し、また、原語における冠詞の類は多く省略した。
セーヌ【Seine】フランス北部、パリ盆地を流れる川。
ハーグ【Den Haag】オランダ西部の都市。
ペキン【北京】(Beijing;Peking) 中華人民共和国の首都。
カント【Immanuel Kant】ドイツの哲学者。
(5) 原語音からいちじるしく転訛した外来語、または外国語に擬してわが国で作られた語には、その綴りを【　】内に入れず、(　) 内に注記した。
シュー‐クリーム (chou à la cèrme (フランス))
ハヤシ‐ライス (hashed meat and rice)
エキス【越幾斯】(extract (オランダ) の略)
ミシン (sewing machine の略訛)
ナイター (和製語 nighter)

(6) 片仮名で表記した外来語と平仮名で表記した和語・漢語との複合した語は、その片仮名に相当する部分を「—」で示し、必要に応じてその複合語に相当する外国語を注記した。
アメリカ‐まつ【—松**】**
かいきん‐シャツ【開襟—**】**
エーゲ‐かい【—海**】**（Aegean Sea）
サリチル‐さん【—酸**】**（salicylic acid）

<品詞の表示>
品詞の別は、略語をもって〖　〗内に示した。
略語については後述の“品詞略語表”“活用の種類略語表”を参照のこと。
(1) 名詞および連語には、原則として品詞の表示を省略した。
(2) 動詞には自動詞・他動詞の別ならびに活用の種類を、文語形容詞には活用の種類を示した。
※　動詞の四段活用・五段活用については、文語としての用法しか認められない語に限って、四段活用とした。

[品詞略語表]

〖名〗	名詞
〖代〗	代名詞
〖自〗	自動詞
〖他〗	他動詞
〖形〗	形容詞
〖連体〗	連体詞
〖副〗	副詞
〖助動〗	助動詞
〖助詞〗	助詞
〖接続〗	接続詞
〖接頭〗	接頭語
〖接尾〗	接尾語
〖感〗	感動詞
〖枕〗	枕詞

[活用の種類略語表]

五	五段活用
四	四段活用
上一	上一段活用
上二	上二段活用
下一	下一段活用
下二	下二段活用
カ変	カ行変格活用
サ変	サ行変格活用
ナ変	ナ行変格活用
ラ変	ラ行変格活用
ク	ク活用
シク	シク活用

<文語形と口語形>
活用語は、口語形見出しの下に、文語の用法をも併せて解説した。文語形のみあって、口語形が普通には行われない語については、その限りでない。
(1) 口語形項目には、解説の冒頭に、対応する文語形を［文］として示した。ただし、文語・口語同形の場合は省いた。
し・いる【強いる**】**（シヒル）〖他上一〗［文］し・ふ（上二）
(2) 文語形・口語形の見出しが排列上相並ぶ場合は、文語形見出しを立てなかった。また、口語形サ変動詞についても、その文語形見出しを省略した。

<慣用句>
慣用句は見出し語を〖　〗で括った。
また独立した項目として収録し解説した。

次のページにつづく

2．解説

<本文の表記>

(1) 説明の本文は現代仮名遣いに従って表記した。動植物名・外来語、また、発音や語形を示す場合は、適宜に片仮名を用いた。
(2) 漢字の字体は、常用漢字ならびに人名用漢字はいわゆる新字体を、他は広く通用している字体を採用した。

<語釈の区分>

語義がいくつかに分れる場合には、原則として語源に近いものから列記した。

(1) 区分を明らかにするため、①②③…の番号を付した。さらに大きく分類する場合は❶❷❸…の番号を、細かく区分する場合は ㋐ ㋑ ㋒ …の符号を用いた。
(2) 1つの項目を2つ以上の品詞あるいは活用の種類に分けて解説する時は、それぞれの品詞・活用表示の前に ㊀ ㊁ ㊂ …の番号を付した。
(3) 説明文中でこれらの語義区分を参照する場合は、①②③…は1, 2, 3…とした。

<術語の分類>

専門学術用語には、その分野を明らかにするため、必要に応じて、解説の冒頭に〔　〕でかこんでその語の分類略語を標示した。
略語については“ 学術語・専門語略語表 ”を参照のこと。

ぜん - い【善意】①善良な心。②他人のためを思う心。…③〔法〕ある事実を知らないこと。⟷悪意

[学術語・専門語略語表]

〔哲〕	哲学
〔論〕	論理学
〔心〕	心理学
〔宗〕	宗教
〔仏〕	仏教
〔神〕	神話
〔史〕	歴史
〔法〕	法律
〔経〕	経済
〔教〕	教育
〔社〕	社会学
〔美〕	美学・美術
〔言〕	言語・音韻
〔文〕	文学
〔音〕	音楽
〔数〕	数学
〔理〕	物理
〔化〕	化学
〔天〕	天文
〔気〕	気象
〔地〕	地学
〔生〕	生物
〔植〕	植物
〔動〕	動物
〔医〕	医学・薬学
〔機〕	機械工学
〔電〕	電気工学
〔農〕	農林
〔建〕	建築・土木

<漢語の出典>
漢語または諺（ことわざ）の類には、必要と認めた場合、漢籍の出典を［　］でかこんで解説の冒頭に掲げた。原典名の次に（　）でかこんで篇・章名を付した。
ふ‐わく【不惑】…②［論語（為政）「四十而不惑」］年齢40歳をいう。

<字音の注記>
見出し項目に掲げた一字の漢字について、その字音が一般に二種以上用いられているものには、（呉音）などと字音の種類を注記した。漢音の場合は原則としてこれを省略した。

<漢字の使い分け>
【　】内に二つ以上の漢字表記があって、語義によって使い方が異なる場合は、語義区分の直後に《　》で囲んで、該当する漢字を掲げた。また、項目末尾に◇を付して、現代よく使う漢字の使い分けを説明した場合がある。

<季　語>
基本的な季語約3千500を選び、解説末尾に<季 春>のように、新年・春・夏・秋・冬の季節を示した。

<用　例>
語義の理解を助けるため、つとめて用例を掲げた。
(1) 古典からの引用に当っては、原典の仮名を漢字に、または漢字を仮名に改め、漢文を読み下しにするなど、かならずしも原文のままではない。
ただ‐びと【徒人・直人】①…推古紀「其れ—に非じ」。…
なみ・する【無みする・蔑する】〘他サ変〙文 なみ・す（サ変）…古文孝経（延慶点）「法を無{ナミスル}」。…
(2) 用例中、語句の一部を省略した場合は、「…」で示した。また、難解の語句には、（　）でかこんで注釈を施した。
ついえ【費え・弊え・潰え】（ツヒエ）
…②つかれ苦しむこと。弱ること。太平記（37）「あはれ—に乗る（弱点につけこむ）処やと思ひければ」…
(3) 引用古典の書名の巻名・章段名などは（　）でかこんで付記した。
(4) 引用古典には、下記のようにジャンル名を略称で記したものがある。

浮、	浮世草子
伎、	歌舞伎
黄、	黄表紙
狂、	狂言
幸若、	幸若舞曲
滑、	滑稽本
洒、	洒落本
浄、	浄瑠璃
新内、	新内節
伽、	御伽草子
人、	人情本
謡、	謡曲本

(5) 見出し語に相当する部分は「—」で略した。活用語の場合は、語幹を「—」で表し、「・」をつけて活用語尾を送った。ただし、語幹と語尾とを分けにくい場合は「—・」を用いなかった。

次のページにつづく

さびし・い【寂しい・淋しい】
〘形〙
文 さび・し（シク）…②…源氏物語（若菜下）「…傍―・しき慰めにもなつけむ」。「口が―・い」…

いる【射る】〘 他上一 〙①…万葉集（1）「大夫｛ますらお｝のさつ矢手挿み立ち向ひ射る円方｛まとかた｝は見るにさやけし」…

れる〘 助動 〙（活用は下一段型）…①自発を表す。…「吉報が待たれる」…

＜典　拠＞

（1）仮名遣いや清濁その他発音などに関して、古辞書・訓点本の類を典拠として掲げる場合は、原文のまま引用した。「日葡辞書」「和英語林集成」のローマ字書きは片仮名にうつした。原文を引く必要のない時は〈　〉にかこんで単に書名のみを示した。

つ・ぶ【禿ぶ】〘 自上二 〙…すり切れる。ちびる。類聚名義抄「葬、ツビタリ」

あまっさえ【剰え】（アマッサヘ）〘 副 〙（アマリサエの音便。誤って、ツを促音とせず、アマツサエともいう）…そればかりか。…日葡辞書「アマッサエ」。…

なめ‐さか【滑坂】なめらかな坂。〈新撰字鏡（6）〉

（2）類書その他に説くところに依拠して解説を施した場合には、解説末尾に、（　）でかこんでその書名を注記した。

うんたろう【うん太郎】（‥ラウ）うっかり者。（俚言集覧）

＜参照記号＞

（1）本辞典では項目を参照するための記号として「　」「（　）」「☞」を使用した。

（2）「　」「（　）」は、解説が別の見出し項目にあることを示す。

（3）「☞」は、参照先の項目の解説に当該項目の解説が含まれることを示す。参照項目が直接検索できる。

（4）「☞」は、別の項目にも関連した解説があることを示す。

＜その他＞

（1）（　）内にアラビア数字で示した西暦紀年は、人名の場合は生没年、年号の場合はその行われた期間、その他、在位・在職期間などを表す。
原則として、1872年（明治5）以前の西暦と和暦（旧暦）との月・日のずれは無視した。

（2）国・都道府県・都市の人口は、必要と思われるものにのみ記した。わが国に関するものは、自治省行政局編『平成9年住民基本台帳人口要覧』による数字である。外国に関するものは、国際連合編『世界人口年鑑』1995年版により、調査年次を（　）内に注記した。中国の場合など、これ以外の資料を参照したものも若干ある。

（3）外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を（　）でかこんで解説の冒頭に掲げた。

（4）ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者については、解説末尾に「ノーベル賞」「文化勲章」と記した。

（5）解説末尾に▷を付して、現代語の用法についての注記をした場合がある。

広辞苑図表集

画面に表示できない図・表を収録しています。図・表のある項目は、検索結果の画面で、各項目の本文の最終行に「(→図・表)」の表示があります。

図表一覧

あ行

か行

さ行

次のページにつづく

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

あ行

アイビーリーグ

アイビー-リーグ

大　学　名	所　在　地	創立年
ハーヴァード	マサチューセッツ州ケンブリッジ	1636
イェール	コネチカット州ニュー-ヘブン	1701
ペンシルヴァニア	ペンシルヴァニア州フィラデルフィア	1740
プリンストン	ニュー-ジャージー州プリンストン	1746
コロンビア	ニュー-ヨーク州ニュー-ヨーク	1754
ブラウン	ロード-アイランド州プロヴィデンス	1764
ダートマス	ニュー-ハンプシャー州ハノーヴァー	1769
コーネル	ニュー-ヨーク州イサカ	1865

足利（あしかが）

足利(略系図)

数字は将軍の代数

位階（いかい）

位階(大宝令・養老令)

親王	諸王・諸臣	勲位	親王	諸　臣	勲位
一品	正一位			正六位上	
	従一位			正六位下	勲七等
二品	正二位			従六位上	
	従二位			従六位下	勲八等
三品	正三位	勲一等		正七位上	
	従三位	勲二等		正七位下	勲九等
四品	正四位上			従七位上	
	正四位下	勲三等		従七位下	勲十等
	従四位上			正八位上	
	従四位下	勲四等		正八位下	勲十一等
	正五位上			従八位上	
	正五位下	勲五等		従八位下	勲十二等
	従五位上			大初位上	
	従五位下	勲六等		大初位下	
				少初位上	
				少初位下	

ほかに正五位上〜少初位下の各階に外位がある．
例，外正五位上

一般角（いっぱんかく）

〔一般角〕

● 遺伝暗号（いでんあんごう）

遺 伝 暗 号

塩基の第一文字	U（塩基の第二文字）		C		A		G		塩基の第三文字
	コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸	コドン	アミノ酸	
U	UUU	フェニルアラニン	UCU	セリン	UAU	チロシン	UGU	システイン	U
	UUC		UCC		UAC		UGC		C
	UUA	ロイシン	UCA		UAA	†	UGA	†	A
	UUG		UCG		UAG		UGG	トリプトファン	G
C	CUU	ロイシン	CCU	プロリン	CAU	ヒスチジン	CGU	アルギニン	U
	CUC		CCC		CAC		CGC		C
	CUA		CCA		CAA	グルタミン	CGA		A
	CUG		CCG		CAG		CGG		G
A	AUU	イソロイシン	ACU	トレオニン	AAU	アスパラギン	AGU	セリン	U
	AUC		ACC		AAC		AGC		C
	AUA		ACA		AAA	リジン	AGA	アルギニン	A
	AUG	メチオニン，＊	ACG		AAG		AGG		G
G	GUU	バリン	GCU	アラニン	GAU	アスパラギン酸	GGU	グリシン	U
	GUC		GCC		GAC		GGC		C
	GUA		GCA		GAA	グルタミン酸	GGA		A
	GUG		GCG		GAG		GGG		G

U：ウラシル，C：シトシン，A：アデニン，G：グアニン，
＊：読取り始め（開始コドン），†：読取り終り（終止コドン）

インド

インドの主な王朝

北西部・北部		中央部		南部	
(マガダ国)	紀元前6世紀～	(カリンガ国)	？～前3世紀		
マウリヤ朝	前324頃～前187頃				
シュンガ朝	前184頃～前72頃	サータヴァーハナ朝	前1世紀？～後3世紀	チョーラ朝(1)	前3世紀～後3世紀
クシャーナ朝	後1世紀～3世紀				
グプタ朝	320頃～550頃			パッラヴァ朝	4～9世紀
ヴァルダナ朝	606頃～647頃				
ラージプート系				チョーラ朝(2)	9～13世紀
諸王朝	8世紀～13世紀				
ゴール朝	12世紀頃～1206				
デリー王朝					
1 奴隷王朝	1206～1290				
2 ハルジー朝	1290～1320				
3 トゥグルク朝	1320～1413			ヴィジャヤナガル朝	1336～1649
4 サイイド朝	1414～1451				
5 ロディー朝	1451～1526				
ムガル帝国	1526～1858	マラーター王国(同盟)	1674～1819		

雲級（うんきゅう）

雲　級

類	略号	雲のよくあらわれる高さ	
巻　雲 巻積雲 巻層雲	Ci Cc Cs	上層	極地方 3～8 km 温帯地方 5～13 km 熱帯地方 6～18 km
高積雲	Ac	中層	極地方 2～4 km 温帯地方 2～7 km 熱帯地方 2～8 km
高層雲	As	普通中層に見られるが，上層までひろがっていることが多い．	
乱層雲	Ns	普通中層に見られるが，上層および下層にもひろがっていることが多い．	
層積雲 層　雲	Sc St	下層	極地方 地面付近～2 km 温帯地方 地面付近～2 km 熱帯地方 地面付近～2 km
積　雲 積乱雲	Cu Cb	雲底は普通下層にあるが，雲頂は中・上層まで達していることが多い．	

● 干支（えと）

干　支 1

1	甲子	かっし•こうし	きのえね	31	甲午	こうご	きのえうま
2	乙丑	いっちゅう•おっちゅう	きのとうし	32	乙未	いつび•おつび	きのとひつじ
3	丙寅	へいいん	ひのえとら	33	丙申	へいしん	ひのえさる
4	丁卯	ていぼう	ひのとう	34	丁酉	ていゆう	ひのととり
5	戊辰	ぼしん	つちのえたつ	35	戊戌	ぼじゅつ	つちのえいぬ
6	己巳	きし	つちのとみ	36	己亥	きがい	つちのとい
7	庚午	こうご	かのえうま	37	庚子	こうし	かのえね
8	辛未	しんび	かのとひつじ	38	辛丑	しんちゅう	かのとうし
9	壬申	じんしん	みずのえさる	39	壬寅	じんいん	みずのえとら
10	癸酉	きゆう	みずのととり	40	癸卯	きぼう	みずのとう
11	甲戌	こうじゅつ	きのえいぬ	41	甲辰	こうしん	きのえたつ
12	乙亥	いつがい•おつがい	きのとい	42	乙巳	いっし•おっし	きのとみ
13	丙子	へいし	ひのえね	43	丙午	へいご	ひのえうま
14	丁丑	ていちゅう	ひのとうし	44	丁未	ていび	ひのとひつじ
15	戊寅	ぼいん	つちのえとら	45	戊申	ぼしん	つちのえさる
16	己卯	きぼう	つちのとう	46	己酉	きゆう	つちのととり
17	庚辰	こうしん	かのえたつ	47	庚戌	こうじゅつ	かのえいぬ
18	辛巳	しんし	かのとみ	48	辛亥	しんがい	かのとい
19	壬午	じんご	みずのえうま	49	壬子	じんし	みずのえね
20	癸未	きび	みずのとひつじ	50	癸丑	きちゅう	みずのとうし
21	甲申	こうしん	きのえさる	51	甲寅	こういん	きのえとら
22	乙酉	いつゆう•おつゆう	きのととり	52	乙卯	いつぼう•おつぼう	きのとう
23	丙戌	へいじゅつ	ひのえいぬ	53	丙辰	へいしん	ひのえたつ
24	丁亥	ていがい	ひのとい	54	丁巳	ていし	ひのとみ
25	戊子	ぼし	つちのえね	55	戊午	ぼご	つちのえうま
26	己丑	きちゅう	つちのとうし	56	己未	きび	つちのとひつじ
27	庚寅	こういん	かのえとら	57	庚申	こうしん	かのえさる
28	辛卯	しんぼう	かのとう	58	辛酉	しんゆう	かのととり
29	壬辰	じんしん	みずのえたつ	59	壬戌	じんじゅつ	みずのえいぬ
30	癸巳	きし	みずのとみ	60	癸亥	きがい	みずのとい

● 江戸幕府（えどばくふ）

江戸幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	徳川家康	松平広忠	水野氏お大	1603〜1605	1616
2	徳川秀忠	徳川家康	西郷氏お愛	1605〜1623	1632
3	徳川家光	徳川秀忠	浅井氏お江	1623〜1651	1651
4	徳川家綱	徳川家光	増山氏お楽	1651〜1680	1680
5	徳川綱吉	徳川家光	本庄氏お玉	1680〜1709	1709
6	徳川家宣	(甲府)徳川綱重	田中氏おほら	1709〜1712	1712
7	徳川家継	徳川家宣	勝田氏おきよ	1713〜1716	1716
8	徳川吉宗	(紀伊)徳川光貞	巨勢氏おゆり	1716〜1745	1751
9	徳川家重	徳川吉宗	大久保氏おすま	1745〜1760	1761
10	徳川家治	徳川家重	梅渓氏お幸	1760〜1786	1786
11	徳川家斉	一橋治済	岩本氏おとみ	1787〜1837	1841
12	徳川家慶	徳川家斉	押田氏お楽	1837〜1853	1853
13	徳川家定	徳川家慶	跡部氏おみつ	1853〜1858	1858
14	徳川家茂	(紀伊)徳川斉順	松平氏みさ	1858〜1866	1866
15	徳川慶喜	(水戸)徳川斉昭	有栖川宮吉子	1866〜1867	1913

オリンピック競技（きょうぎ）

オリンピック夏季大会

回	開催年	開　催　地	回	開催年	開　催　地
1	1896	アテネ	18	1964	東京
2	1900	パリ	19	1968	メキシコ-シティー
3	1904	セント-ルイス	20	1972	ミュンヘン
4	1908	ロンドン	21	1976	モントリオール
5	1912	ストックホルム	22	1980	モスクワ
6	1916	ベルリン（中止）	23	1984	ロサンゼルス
7	1920	アントワープ	24	1988	ソウル
8	1924	パリ	25	1992	バルセロナ
9	1928	アムステルダム	26	1996	アトランタ
10	1932	ロサンゼルス	27	2000	シドニー
11	1936	ベルリン			
12	1940	東京（中止）			
13	1944	ロンドン（中止）			
14	1948	ロンドン			
15	1952	ヘルシンキ			
16	1956	メルボルン			
		ストックホルム			
17	1960	ローマ			

オリンピック冬季大会

回	開催年	開　催　地
1	1924	シャモニー-モンブラン
2	1928	サン-モリッツ
3	1932	レーク-プラシッド
4	1936	ガルミッシュ-パルテンキルヘン
5	1948	サン-モリッツ
6	1952	オスロ
7	1956	コルチナ-ダンペッツォ
8	1960	スコー-ヴァレー
9	1964	インスブルック
10	1968	グルノーブル
11	1972	札幌
12	1976	インスブルック
13	1980	レーク-プラシッド
14	1984	サラエヴォ
15	1988	カルガリー
16	1992	アルベールヴィル
17	1994	リレハンメル
18	1998	長野

オリンポス

オリンポスの十二神

神　　名	ローマ名
ゼウス	ジュピター
ヘラ	ジュノー
ポセイドン	ネプチューン
アポロン	アポロ
アルテミス	ダイアナ
ヘファイストス	ウルカヌス
アフロディテ	ヴィーナス
アレス	マース
アテナ	ミネルヴァ
ヘルメス	マーキュリー
デメテル	ケレス
ヘスティアまたはディオニュソス	バッカス

音名（おんめい）

音　名

国　名	本	位	音					変位音(ハの場合)	
日本	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	嬰ハ	変ハ
英米	C	D	E	F	G	A	B	C–sharp	C–flat
ドイツ	C	D	E	F	G	A	H	Cis	Ces
イタリア	do	re	mi	fa	sol	la	si	do diesis	do bemolle
フランス	ut	ré	mi	fa	sol	la	si	ut dièsc	ut bémol

階級（かいきゅう）

生物の分類階級

階　級	英語**	階　級	英語**
界	kingdom	上科	
亜界		科	family
門	phylum(動),	亜科	
	division(植)	連(族)	tribe
亜門		亜連(族)	
上綱		属	genus
綱	class	亜属	
亜綱		節	section
下綱		系	series
コホート	cohort	種	species
上目*		亜種	
目	order	変種	variety
群*	group	品種(型)	form
亜目			

＊ 動物のみ.　＊＊ 亜は sub, 上は super, 下は infra をそれぞれの語頭に付す.

楽器（がっき）

楽器の種類

打楽器	金属製	シンバル・トライアングル・ボナンン・銅鑼(どら)・鐘・鉄琴・鈴・びやぼん
	木・竹製	カスタネット・拍子木・木琴(シロホン)・マリンバ・木魚・びんざさら・ムックリ・マラカス
	膜打楽器	太鼓・ドラム・タンバリン・ティンパニ・コンガ・ボンゴ・タブラ・ムリダンガム・大鼓・小鼓
弦楽器	擦弦楽器	バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ラバーブ・胡弓・二胡・馬頭琴・サーランギ
	撥弦楽器	三味線・月琴・バラライカ・琵琶・リュート・ウード・シタール・ギター・マンドリン・ウクレレ・ハープ・箜篌(くご)・サウン・リラ・キタラ・チター・瑟(しつ)・箏・カーヌーン
	打弦楽器	ツィンバロム・洋琴(ヤンチン)
管楽器	横　笛	フルート・ピッコロ・竜笛(りゅうてき)・高麗笛(こまぶえ)・神楽笛・能管・篠笛(しのぶえ)
	縦　笛	オーボエ・クラリネット・サキソフォン・リコーダー・ケーナ・スールナイ・チャルメラ・尺八・簫(しょう)・篳篥(ひちりき)
	らっぱ	トランペット・コルネット・ホルン・トロンボーン・チューバ
	その他	オカリナ・塤(けん)
鍵盤楽器	アコースティック(音響的)	オルガン・ハープシコード・ピアノ・アコーディオン・チェレスタ
	エレクトロニック(電子的)	電子オルガン・シンセサイザー・オンドマルトノ
その他		ハーモニカ・オルゴール・大正琴・ハーディ-ガーディ

● 鎌倉幕府（かまくらばくふ）

鎌倉幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	源　頼朝	源　義朝	熱田大宮司季範娘	1192～1199	1199
2	源　頼家	源　頼朝	北条政子	1202～1203	1204
3	源　実朝	源　頼朝	北条政子	1203～1219	1219
4	藤原頼経	九条道家	西園寺公経娘綸子	1226～1244	1256
5	藤原頼嗣	藤原頼経	藤原親能娘近子	1244～1252	1256
6	宗尊親王	後嵯峨天皇	平　棟基娘棟子	1252～1266	1274
7	惟康親王	宗尊親王	近衛兼経娘宰子	1266～1289	1326
8	久明親王	後深草天皇	三条公親娘房子	1289～1308	1328
9	守邦親王	久明親王	惟康親王娘	1308～1333	1333

● 紙（かみ）

紙(JIS 仕上げ寸法)

番号	A 列(㎜)	B 列(㎜)
0	841×1189	1030×1456
1	594× 841	728×1030
2	420× 594	515× 728
3	297× 420	364× 515
4	210× 297	257× 364
5	148× 210	182× 257
6	105× 148	128× 182
7	74× 105	91× 128
8	52× 74	64× 91
9	37× 52	45× 64
10	26× 37	32× 45

● カンバス

カンバス１の号数基準(単位:cm)

号	F	P	M
0	17.9×13.9 (18×14)	17.9×11.7 (18×12)	17.9×10.0
1	22.1×16.6 (22×16)	22.1×13.9 (22×14)	22.1×11.7 (22×12)
2	24.0×19.0 (24×19)	24.0×16.1 (24×16)	24.0×13.9 (24×14)
5	35.0×27.0 (35×27)	35.0×24.3 (35×24)	35.0×22.7 (35×22)
10	53.0×45.5 (55×46)	53.0×40.9 (55×38)	53.0×33.3 (55×33)
50	116.7×90.9 (116×89)	116.7×80.3 (116×81)	116.7×72.7 (116×73)
100	162.1×130.3 (162×130)	162.1×112.1 (162×114)	162.1×97.0 (162×97)

F＝Figure(人物型), P＝Paysage(風景型), M＝Marine(海景型)
上段＝日本, 下段＝欧米

● 九卿（きゅうけい）

九　卿１

周　代	職　務	六官
少師(しょうし)	太師の副	
少傅(しょうふ)	太傅の副	
少保(しょうほ)	太保の副	
冢宰(ちょうさい)	宰相	天官
司徒(しと)	戸口•財政•教育	地官
宗伯(そうはく)	礼楽•祭祀	春官
司馬(しば)	軍政	夏官
司寇(しこう)	刑罰•警察	秋官
司空(しくう)	土地•民事	冬官

九　卿２

漢　代	別　称	唐代	職　務
太常(たいじょう)	奉常	太常	宗廟の祭祀•礼楽
光禄勲(こうろくくん)	郎中令	光禄	宮中の警護
衛尉(えいい)		衛尉	宮門の警護
太僕(たいぼく)		太僕	車馬•牧畜
廷尉(ていい)	大理	大理	訴訟•刑罰
大鴻臚(だいこうろ)	典客	鴻臚	外客の応接
宗正(そうせい)		宗正	皇族の管理
少府(しょうふ)		太府	帝室の財政
大司農(だいしのう)	治粟内史	司農	国家の財政

● 九星（きゅうせい）

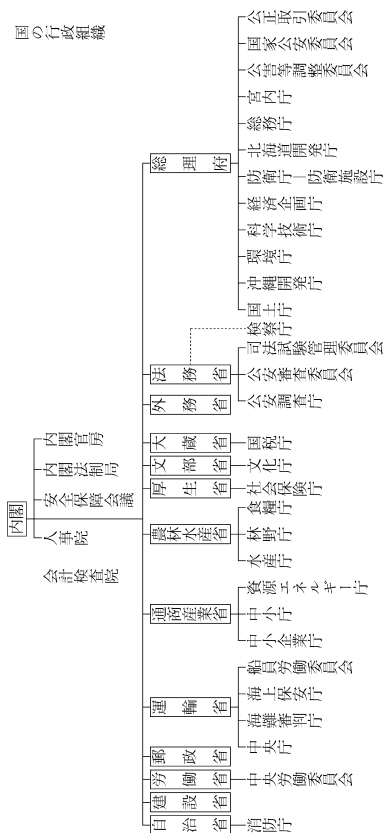
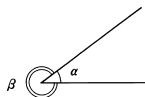
九　星

名　称	五行	方位	八卦
一白（いっぱく）	水星	北	坎（かん）
二黒（じこく）	土星	西南	坤（こん）
三碧（さんぺき）	木星	東	震（しん）
四緑（しろく）	木星	東南	巽（そん）
五黄（ごおう）	土星	中央	
六白（ろっぱく）	金星	西北	乾（けん）
七赤（しちせき）	金星	西	兌（だ）
八白（はっぱく）	土星	東北	艮（ごん）
九紫（きゅうし）	火星	南	離（り）

● 強弱記号（きょうじゃくきごう）

強弱記号の例

記　号	標　語		意　味
ppp	ピアニッシッシモ	pianississimo	*pp*より弱く
pp	ピアニッシモ	pianissimo	*p*より弱く
p	ピアノ	piano	弱く
mp	メゾ-ピアノ	mezzo piano	やや弱く
mf	メゾ-フォルテ	mezzo forte	やや強く
f	フォルテ	forte	強く
ff	フォルティッシモ	fortissimo	*f*より強く
fff	フォルティッシッシモ	fortississimo	*ff*より強く
fp	フォルテピアノ	fortepiano	強く，ただちに弱く
sf, *sfz*	スフォルツァンド	sforzando	その音を特に強く
>, ∧	アクセント	accent	その音を強く
< cresc.	クレッシェンド	crescendo	次第に強く
> dim.	ディミヌエンド	diminuendo	次第に弱く
> decresc.	デクレッシェンド	decrescendo	次第に弱く

● 行政（ぎょうせい）

● 共役角・共軛角（きょうやくかく）

〔共役角〕

ギリシア文字（もじ）

ギリシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
Α	α	アルファ	Ν	ν	ニュー
Β	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー(グザイ)
Γ	γ	ガンマ	Ο	ο	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー(パイ)
Ε	ε	エプシロン(イプシロン)	Ρ	ρ	ロー
Ζ	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς	シグマ
Η	η	エータ(イータ)	Τ	τ	タウ
Θ	θ	テータ(シータ)	Υ	υ	ユプシロン
Ι	ι	イオータ(イオタ)	Φ	φ	フィー(ファイ)
Κ	κ	カッパ	Χ	χ	キー(カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー(プサイ)
Μ	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

括弧内は自然科学での慣用読み

結婚記念日（けっこんきねんび）

結婚記念日(記念式)

1年目	紙婚式	15年目	水晶婚式
2年目	綿婚式	20年目	磁器婚式
3年目	革婚式	25年目	銀婚式
4年目	花婚式	30年目	真珠婚式
5年目	木婚式	35年目	珊瑚婚式
6年目	鉄婚式	40年目	ルビー婚式
7年目	銅婚式	45年目	サファイア婚式
8年目	青銅婚式	50年目	金婚式
9年目	陶器婚式	55年目	エメラルド婚式
10年目	錫婚式	75年(または60年)目	ダイヤモンド婚式

甲州街道（こうしゅうかいどう）

甲州街道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)――内藤新宿――〔下高井戸―上高井戸〕――〔国領―下布田―上布田―下石原
―上石原〕――府中――日野――横山(八王子)――〔駒木野―小仏〕――〔小原―与瀬〕――吉野――
関野――上野原――鶴川――野田尻――犬目――〔下鳥沢―上鳥沢〕――猿橋――駒橋――
大月――〔下花咲―上花咲〕――〔下初狩―中初狩〕――〔白野―阿弥陀街道―黒野田〕――
〔駒飼―鶴瀬〕――勝沼――栗原――石和――(甲府柳町)――韮崎――台ヶ原――教来石――
蔦木――金沢――上諏訪――(下諏訪)

〔 〕内は交代または片道継立ての宿

酵素（こうそ）

酵 素 の 分 類

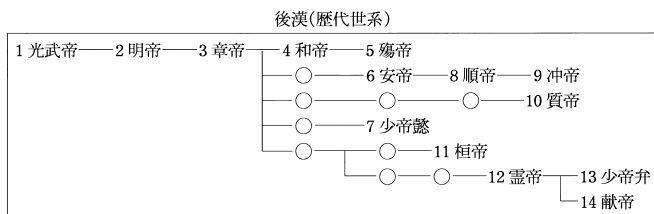
大分類・作用	主な酵素	大分類・作用	主な酵素
1 酸化還元酵素(オキシドレダクターゼ) 酸化，還元	脱水素酵素(デヒドロゲナーゼ)，酸化酵素(オキシダーゼ)，酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)	4 脱離酵素(リアーゼ) 基質から特定の官能基を取除く	脱カルボキシル酵素(デカルボキシラーゼ)，カルボキシル化酵素(カルボキシラーゼ)，アルドラーゼ
2 転移酵素(トランスフェラーゼ) 基質の特定の官能基を他の基質に移す	アミノ基転移酵素(トランスアミナーゼ)，アセチル基転移酵素(トランスアセチラーゼ)，キナーゼ	5 異性化酵素(イソメラーゼ) 特定の分子を異性体に変換する	ラセミ化酵素(ラセマーゼ)，エピ化酵素(エピメラーゼ)，ムターゼ
3 加水分解酵素(ヒドロラーゼ) 加水分解	蛋白質分解酵素(プロテアーゼ)，リパーゼ，ホスファターゼ，アミダーゼ	6 合成酵素(リガーゼ・シンテターゼ) 二つの基質を結合させる	アセチル CoA 合成酵素，ピルビン酸カルボキシル化酵素，アミノアシル tRNA 合成酵素

皇朝十二銭（こうちょうじゅうにせん）

皇 朝 十 二 銭

	名　　称	発行年
1	和同開珎(わどうかいちん)	708
2	万年通宝(まんねんつうほう)	760
3	神功開宝(じんこうかいほう)	765
4	隆平永宝(りゅうへいえいほう)	796
5	富寿神宝(ふうじゅしんぽう)	818
6	承和昌宝(じょうわしょうほう)	835
7	長年大宝(ちょうねんたいほう)	848
8	饒益神宝(じょうえきしんぽう)	859
9	貞観永宝(じょうがんえいほう)	870
10	寛平大宝(かんぴょうたいほう)	890
11	延喜通宝(えんぎつうほう)	907
12	乾元大宝(けんげんたいほう)	958
	開基勝宝(かいきしょうほう)	760(金銭)
	大平元宝(たいへいげんぽう)	760(銀銭)

後漢（ごかん）

後漢(歴代世系)

五行（ごぎょう）

五 行 配 当

五行	時季	方位	色	十干	十二支	星
木	春	東	青	甲•乙	寅•卯	歳星(木星)
火	夏	南	赤(朱)	丙•丁	巳•午	熒惑(火星)
土	土用	中央	黄	戊•己	辰•未•戌•丑	鎮星(土星)
金	秋	西	白(素)	庚•辛	申•酉	太白(金星)
水	冬	北	黒(玄)	壬•癸	亥•子	辰星(水星)

国際収支（こくさいしゅうし）

国際収支

経常収支	貿易・サービス収支 所得収支 経常移転収支
資本収支	投資収支 その他資本収支
外貨準備高増減	
誤差脱漏	

国際単位系（こくさいたんいけい）

SI 基本単位

量	名　称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
光度	カンデラ	cd
物質量	モル	mol
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

SI 接頭語

名　称	記号	倍数
ヨタ (yotta-)	Y	10^{24}
ゼタ (zetta-)	Z	10^{21}
エクサ (exa-)	E	10^{18}
ペタ (peta-)	P	10^{15}
テラ (tera-)	T	10^{12}
ギガ (giga-)	G	10^{9}
メガ (mega-)	M	10^{6}
キロ (kilo-)	k	10^{3}
ヘクト (hecto-)	h	10^{2}
デカ (deca-)	da	10^{1}
デシ (deci-)	d	10^{-1}
センチ (centi-)	c	10^{-2}
ミリ (milli-)	m	10^{-3}
マイクロ (micro-)	μ	10^{-6}
ナノ (nano-)	n	10^{-9}
ピコ (pico-)	p	10^{-12}
フェムト (femto-)	f	10^{-15}
アト (atto-)	a	10^{-18}
ゼプト (zepto-)	z	10^{-21}
ヨクト (yocto-)	y	10^{-24}

国民の祝日（こくみんのしゅくじつ）

国 民 の 祝 日

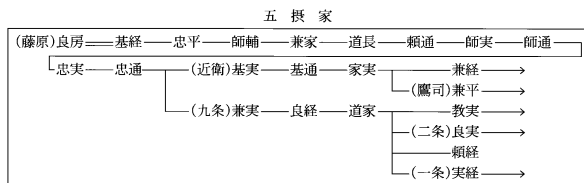
名　称	月　日	備　考
元日	1月　1日	
成人の日	1月第2月曜日	
建国記念の日	2月11日	1966年制定
春分の日	3月21日頃	
みどりの日	4月29日	1989年制定
憲法記念日	5月　3日	
こどもの日	5月　5日	
海の日	7月20日	1995年制定
敬老の日	9月15日	1966年制定
秋分の日	9月23日頃	
体育の日	10月第2月曜日	1966年制定
文化の日	11月　3日	
勤労感謝の日	11月23日	
天皇誕生日	12月23日	1989年制定

五胡十六国（ごこじゅうろっこく）

五胡十六国

五　胡	十 六 国	年代
匈奴(きょうど)	前趙(漢) 北涼 夏(大夏)	304〜329 397〜439 407〜431
羯(けつ)	後趙	319〜351
鮮卑(せんぴ)	前燕 後燕 西秦 南涼 南燕	337〜370 384〜409 385〜431 397〜414 398〜410
氐(てい)	成(大成・漢) 前秦 後涼	304〜347 351〜394 386〜403
羌(きょう)	後秦	384〜417
(漢族)	前涼 西涼 北燕	301〜376 400〜421 409〜436

五摂家（ごせっけ）

五　摂　家

五代（ごだい）

五　代

王朝名	年代
後梁	907〜923
後唐	923〜936
後晋	936〜946
後漢	947〜950
後周	951〜960

五代十国（ごだいじっこく）

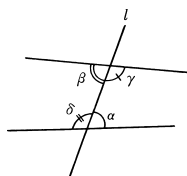
十国

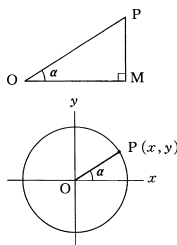
国名	年代
呉	902〜937
南唐	937〜975
前蜀	907〜925
後蜀	934〜965
荊南	907〜963
楚	907〜951
呉越	907〜978
閩(びん)	909〜945
南漢	917〜971
北漢	951〜979

● 西国三十三所（さいごくさんじゅうさんしょ）

西国三十三所

府県名	寺　名	府県名	寺　名
和歌山県	1 青岸渡寺	京都府	18 頂法寺(六角堂)
	2 紀三井寺(金剛宝寺)		19 行願寺(革堂)
	3 粉河(こかわ)寺		20 善峰(よしみね)寺
大阪府	4 施福寺(槙尾寺)		21 穴太(あなお)寺
	5 葛(藤)井寺(剛琳寺)	大阪府	22 総持寺
奈良県	6 壷坂寺(南法華寺)		23 勝尾(かつお)寺
	7 岡寺(竜蓋寺)	兵庫県	24 中山寺
	8 長谷寺(初瀬寺)		25 清水寺
	9 興福寺南円堂		26 一乗寺
京都府	10 三室戸寺		27 円教寺
	11 上醍醐寺	京都府	28 成相(なりあい)寺
滋賀県	12 正法(しょうぼう)寺(岩間寺)		29 松尾(まつのお)寺
	13 石山寺	滋賀県	30 宝厳(ほうごん)寺
	14 三井寺(園城寺)		31 長命寺
京都府	15 観音寺(今熊野)		32 観音正寺
	16 清水(きよみず)寺	岐阜県	33 華厳寺
	17 六波羅蜜寺		

● 錯角（さっかく）

〔錯角〕

● 三角関数（さんかくかんすう）

〔三角関数〕

四国八十八箇所
(しこくはちじゅうはっかしょ)

四国八十八箇所

県名	寺院名	県名	寺院名
徳島県	1 霊山寺	愛媛県	45 岩屋寺
	2 極楽寺		46 浄瑠璃寺
	3 金泉寺		47 八坂寺
板野	4 大日寺		48 西林寺
	5 地蔵寺		49 浄土寺
	6 安楽寺		50 繁多寺
	7 十楽寺		51 石手寺
	8 熊谷寺		52 太山寺
	9 法輪寺		53 円明寺
	10 切幡寺		54 延命寺
	11 藤井寺		55 南光坊
	12 焼山寺		56 泰山寺
徳島市	13 大日寺		57 栄福寺
	14 常楽寺		58 仙遊寺
	15 国分寺		59 国分寺
	16 観音寺		60 横峰寺
	17 井戸寺		61 香園寺
	18 恩山寺		62 宝寿寺
	19 立江寺		63 吉祥寺
	20 鶴林寺		64 前神寺
	21 太竜寺		65 三角寺
	22 平等寺	徳島県	66 雲辺寺
	23 薬王寺	香川県	67 大興寺
高知県	24 最御崎寺		68 神恵院
	25 津照寺		69 観音寺
	26 金剛頂寺		70 本山寺
	27 神峰寺		71 弥谷寺
	28 大日寺		72 曼荼羅寺
	29 国分寺		73 出釈迦寺
	30 善楽寺		74 甲山寺
	安楽寺		75 善通寺
	31 竹林寺		76 金蔵(倉)寺
	32 禅師峰寺		77 道隆寺
	33 雪蹊寺		78 郷照寺
	34 種間寺		79 高照院
	35 清滝寺		80 国分寺
	36 青竜寺		81 白峰寺
	37 岩本寺		82 根香寺
	38 金剛福寺		83 一宮寺
	39 延光寺		84 屋島寺
愛媛県	40 観自在寺		85 八栗寺
	41 竜光寺		86 志度寺
	42 仏木寺		87 長尾寺
	43 明石寺		88 大窪寺
	44 大宝寺		

十干(じっかん)

十　干

甲	こう	きのえ	木の兄
乙	おつ	きのと	木の弟
丙	へい	ひのえ	火の兄
丁	てい	ひのと	火の弟
戊	ぼ	つちのえ	土の兄
己	き	つちのと	土の弟
庚	こう	かのえ	金の兄
辛	しん	かのと	金の弟
壬	じん	みずのえ	水の兄
癸	き	みずのと	水の弟

● 十干十二支（じっかんじゅうにし）

十干十二支

干支の60通りの組合せを実際の年(最近120年)に当てはめた

	干　支	西暦	和暦	西暦	和暦
1	甲子(きのえね)	1984	昭59	1924	大13
2	乙丑(きのとうし)	1985	60	1925	14
3	丙寅(ひのえとら)	1986	61	1926	昭和
4	丁卯(ひのとう)	1987	62	1927	2
5	戊辰(つちのえたつ)	1988	63	1928	3
6	己巳(つちのとみ)	1989	平成	1929	4
7	庚午(かのえうま)	1990	2	1930	5
8	辛未(かのとひつじ)	1991	3	1931	6
9	壬申(みずのえさる)	1992	4	1932	7
10	癸酉(みずのととり)	1993	5	1933	8
11	甲戌(きのえいぬ)	1994	6	1934	9
12	乙亥(きのとい)	1995	7	1935	10
13	丙子(ひのえね)	1996	8	1936	11
14	丁丑(ひのとうし)	1997	9	1937	12
15	戊寅(つちのえとら)	1998	10	1938	13
16	己卯(つちのとう)	1999	11	1939	14
17	庚辰(かのえたつ)	2000	12	1940	15
18	辛巳(かのとみ)	1881	明14	1941	16
19	壬午(みずのえうま)	1882	15	1942	17
20	癸未(みずのとひつじ)	1883	16	1943	18
21	甲申(きのえさる)	1884	17	1944	19
22	乙酉(きのととり)	1885	18	1945	20
23	丙戌(ひのえいぬ)	1886	19	1946	21
24	丁亥(ひのとい)	1887	20	1947	22
25	戊子(つちのえね)	1888	21	1948	23
26	己丑(つちのとうし)	1889	22	1949	24
27	庚寅(かのえとら)	1890	23	1950	25
28	辛卯(かのとう)	1891	24	1951	26
29	壬辰(みずのえたつ)	1892	25	1952	27
30	癸巳(みずのとみ)	1893	26	1953	28

	干　支	西暦	和暦	西暦	和暦
31	甲午(きのえうま)	1894	明27	1954	昭29
32	乙未(きのとひつじ)	1895	28	1955	30
33	丙申(ひのえさる)	1896	29	1956	31
34	丁酉(ひのととり)	1897	30	1957	32
35	戊戌(つちのえいぬ)	1898	31	1958	33
36	己亥(つちのとい)	1899	32	1959	34
37	庚子(かのえね)	1900	33	1960	35
38	辛丑(かのとうし)	1901	34	1961	36
39	壬寅(みずのえとら)	1902	35	1962	37
40	癸卯(みずのとう)	1903	36	1963	38
41	甲辰(きのえたつ)	1904	37	1964	39
42	乙巳(きのとみ)	1905	38	1965	40
43	丙午(ひのえうま)	1906	39	1966	41
44	丁未(ひのとひつじ)	1907	40	1967	42
45	戊申(つちのえさる)	1908	41	1968	43
46	己酉(つちのととり)	1909	42	1969	44
47	庚戌(かのえいぬ)	1910	43	1970	45
48	辛亥(かのとい)	1911	44	1971	46
49	壬子(みずのえね)	1912	大正	1972	47
50	癸丑(みずのとうし)	1913	2	1973	48
51	甲寅(きのえとら)	1914	3	1974	49
52	乙卯(きのとう)	1915	4	1975	50
53	丙辰(ひのえたつ)	1916	5	1976	51
54	丁巳(ひのとみ)	1917	6	1977	52
55	戊午(つちのえうま)	1918	7	1978	53
56	己未(つちのとひつじ)	1919	8	1979	54
57	庚申(かのえさる)	1920	9	1980	55
58	辛酉(かのととり)	1921	10	1981	56
59	壬戌(みずのえいぬ)	1922	11	1982	57
60	癸亥(みずのとい)	1923	12	1983	58

● 執権（しっけん）

執　権 3

代数	氏　名	在職期間	没年
1	北条時政	1203～1205	1215
2	北条義時	1205～1224	1224
3	北条泰時	1224～1242	1242
4	北条経時	1242～1246	1246
5	北条時頼	1246～1256	1263
6	北条長時	1256～1264	1264
7	北条政村	1264～1268	1273
8	北条時宗	1268～1284	1284
9	北条貞時	1284～1301	1311
10	北条師時	1301～1311	1311
11	北条(大仏)宗宣	1311～1312	1312
12	北条熙時	1312～1315	1315
13	北条基時	1315	1333
14	北条高時	1316～1326	1333
15	北条(金沢)貞顕	1326	1333
16	北条(赤橋)守時	1326～1333	1333

● 四等官（しとうかん）

四　等　官

	長官(かみ)	次官(すけ)	判官(じょう)	主典(さかん)
神祇官	伯	副	祐	史
太政官	(太政大臣),左大臣,右大臣	大納言,中納言	少納言,弁	外記,史
省	卿	輔	丞	録
坊•職	大夫	亮	進	属
寮	頭	助	允	属
台	尹	弼	忠	疏
五衛府	督	佐	尉	志
大宰府	帥	弐	監	典
国	守	介	掾	目
郡	大領	少領	主政	主帳
司	正	(佑)	佑	令史
内侍司	尚侍	典侍	掌侍	
監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
家令	令	扶	従	書吏

● 私年号（しねんごう）

私年号(日本の主な私年号)

名　称	使　用　例
法興(ほうこう)	6年(596)•31年(621)
白鳳(はくほう)	4(653)•5(654)•12(661)•13(662)•16(665)年 白雉の異称
朱雀(すざく)	元年(686)　朱鳥の異称
保寿(ほうじゅ)	元年　1166～69年頃使用
和勝(わしょう)	元年(1190)
迎雲(げいうん)	元年　1190年もしくはそれ以前使用
建教(けんきょう)	元年(1225)
白鹿(はくろく)	元年(1345)•2年(1346)
応治(おうじ)	元年(1345)
至大(しだい)	元年　1375～79年，または84～87年頃使用
永宝(えいほう)	元年(1388)
興徳(こうとく)	元年(1395)
天靖(てんせい)	元年(1443)
享正(きょうせい)	2(1455)•3(1456)•4(1457)年
永楽(えいらく)	元年(1461)
延徳(えんとく)	2•3•5年　2年壬午•3年壬午(1462)など
正亨(しょうこう)	2年(1490)
永伝(えいでん)	元年(1490)
福徳(ふくとく)	元•2•3•4年　辛亥年(1491)ほかに使用
徳応(とくおう)	元年(1501 または 1441)
子平(しへい)	5年(1506)
弥勒(みろく)	元•2•3年　丁卯年(1507)ほかに使用
加平(かへい)	元年(1517)
永喜(えいき)	2年(1527)
宝寿(ほうじゅ)	2年(1534)
命禄(めいろく)	元•2•3年(1540～42)
光永(こうえい)	2年(1577 または 81 または 90)
大道(だいどう)	元•2•10年　1609年頃以降使用，大筒とも書く
正中(しょうちゅう)	2年(1622)
神治(しんじ)	元年(1867)

(　)内は相当する西暦年次．年次判定の困難なものは注記した．

● 尺貫法（しゃっかんほう）

長　さ

1尺		30.30 cm
1間	6尺	1.818 m
1町	60間	109.1 m
1里	36町	3.927 km

体　積

1合		180.4 mℓ
1升	10合	1.804 ℓ
1斗	10升	18.04 ℓ
1石	10斗	180.4 ℓ

面　積

1坪		3.306 m²
1反	300坪	991.7 m²
1町	10反	9917 m²

質　量

1匁		3.75 g
1斤	160匁	600 g
1貫	1000匁	3.75 kg

● 周期表（しゅうきひょう）

元素の周期表

周期＼族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1H 水素																	2He ヘリウム
2	3Li リチウム	4Be ベリリウム											5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素	10Ne ネオン
3	11Na ナトリウム	12Mg マグネシウム											13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素	18Ar アルゴン
4	19K カリウム	20Ca カルシウム	21Sc スカンジウム	22Ti チタン	23V バナジウム	24Cr クロム	25Mn マンガン	26Fe 鉄	27Co コバルト	28Ni ニッケル	29Cu 銅	30Zn 亜鉛	31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素	36Kr クリプトン
5	37Rb ルビジウム	38Sr ストロンチウム	39Y イットリウム	40Zr ジルコニウム	41Nb ニオブ	42Mo モリブデン	43Tc テクネチウム	44Ru ルテニウム	45Rh ロジウム	46Pd パラジウム	47Ag 銀	48Cd カドミウム	49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素	54Xe キセノン
6	55Cs セシウム	56Ba バリウム	57〜71 ランタノイド	72Hf ハフニウム	73Ta タンタル	74W タングステン	75Re レニウム	76Os オスミウム	77Ir イリジウム	78Pt 白金	79Au 金	80Hg 水銀	81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン	86Rn ラドン
7	87Fr フランシウム	88Ra ラジウム	89〜103 アクチノイド	104Rf ラザホージウム	105Db ドブニウム	106Sg シーボーギウム	107Bh ボーリウム	108Hs ハッシウム	109Mt マイトネリウム									

元素記号の左の数字は原子番号

ランタノイド	57La ランタン	58Ce セリウム	59Pr プラセオジム	60Nd ネオジム	61Pm プロメチウム	62Sm サマリウム	63Eu ユウロピウム	64Gd ガドリニウム	65Tb テルビウム	66Dy ジスプロシウム	67Ho ホルミウム	68Er エルビウム	69Tm ツリウム	70Yb イッテルビウム	71Lu ルテチウム
アクチノイド	89Ac アクチニウム	90Th トリウム	91Pa プロトアクチニウム	92U ウラン	93Np ネプツニウム	94Pu プルトニウム	95Am アメリシウム	96Cm キュリウム	97Bk バークリウム	98Cf カリホルニウム	99Es アインスタイニウム	100Fm フェルミウム	101Md メンデレビウム	102No ノーベリウム	103Lr ローレンシウム

十三経注疏（じゅうさんぎょうちゅうそ）

十三経注疏

十三経	巻数	注・伝・箋・解	疏
周易(易経)	10	王弼(おうひつ)(魏) 注 韓康伯(晋) 注	孔穎達(くえいたつ)(唐)
尚書(書経)	20	孔安国(漢) 伝	孔穎達(唐)
毛詩(詩経)	70	毛亨(もうこう)(漢) 伝 鄭玄(じょうげん)(漢) 箋	孔穎達(唐)
周礼	42	鄭玄(漢) 注	賈公彦(かこうげん)(唐)
儀礼	50	鄭玄(漢) 注	賈公彦(唐)
礼記	63	鄭玄(漢) 注	孔穎達(唐)
春秋左氏伝	60	杜預(とよ)(晋) 集解	孔穎達(唐)
春秋公羊伝	28	何休(漢) 解詁	徐彦(じょげん)(唐)
春秋穀梁伝	20	范寧(晋) 集解	楊士勛(ようしくん)(唐)
孝経	9	玄宗(唐) 注	邢昺(けいへい)(宋)
論語	20	何晏(かあん)(魏) 集解	邢昺(宋)
孟子	14	趙岐(漢) 注	孫奭(そんせき)(宋)
爾雅	11	郭璞(かくはく)(晋) 注	邢昺(宋)

十三仏（じゅうさんぶつ）

十 三 仏

仏 事	仏・菩薩
初七日	不動明王
二七日	釈迦如来
三七日	文殊菩薩
四七日	普賢菩薩
五七日	地蔵菩薩
六七日	弥勒菩薩
七七日	薬師如来
百ヵ日	観世音菩薩
一周忌	勢至菩薩
三回忌	阿弥陀如来
七回忌	阿閦如来
十三回忌	大日如来
三十三回忌	虚空蔵菩薩

十二神将（じゅうにしんしょう）

十 二 神 将

夜叉大将	本地仏	刻神
1 宮毘羅(くびら)	弥勒	子
2 伐折羅(ばざら)	勢至	丑
3 迷企羅(めきら)	弥陀	寅
4 安底羅(あんちら)	観音	卯
5 頞儞羅(あにら)	如意輪	辰
6 珊底羅(さんちら)	虚空蔵	巳
7 因達羅(いんだら)	地蔵	午
8 波夷羅(はいら)	文殊	未
9 摩虎羅(まこら)	大威徳	申
10 真達羅(しんだら)	普賢	酉
11 招杜羅(しょうとら)	大日	戌
12 毘羯羅(びから)	釈迦	亥

十二門（じゅうにもん）

十二門(平安京大内裏，外郭十二門)

		延喜式の名称	貞観式の名称
南面	東門	美福門(びふくもん)	壬生門(みぶもん)
	中門	朱雀門(すざくもん)	大伴門(おおともももん)
	西門	皇嘉門(こうかもん)	若犬養門(わかいぬかいもん)
西面	南門	談天門(だんてんもん)	玉手門(たまでもん)
	中門	藻壁門(そうへきもん)	佐伯門(さえきもん)
	北門	殷富門(いんぷもん)	伊福部門(いふくべもん)
北面	西門	安嘉門(あんかもん)	海犬養門(あまいぬかいもん)
	中門	偉鑒門(いかんもん)	猪使門(いかいもん)
	東門	達智門(たっちもん)	丹治比門(たじひもん)
東面	北門	陽明門(ようめいもん)	山門(やまもん)
	中門	待賢門(たいけんもん)	建部門(たけべもん)
	南門	郁芳門(いくほうもん)	的門(いくはもん)

十二律（じゅうにりつ）

十　二　律

中　国	日　本			洋楽の近似音名
	雅　楽	義太夫節	その他	
黄鐘(こうしょう)	壱越(いちこつ)	一本	六本	ニ
大呂(たいりょ)	断金(たんぎん)	二本	七本	嬰ニ(変ホ)
太簇(たいそう)	平調(ひょうじょう)	三本	八本	ホ
夾鐘(きょうしょう)	勝絶(しょうぜつ)	四本	九本	ヘ
姑洗(こせん)	下無(しもむ)	五本	十本	嬰ヘ(変ト)
仲呂(ちゅうりょ)	双調(そうじょう)	六本	十一本	ト
蕤賓(すいひん)	鳧鐘(ふしょう)	七本	十二本	嬰ト(変イ)
林鐘(りんしょう)	黄鐘(おうしき)	八本	一本	イ
夷則(いそく)	鸞鏡(らんけい)	九本	二本	嬰イ(変ロ)
南呂(なんりょ)	盤渉(ばんしき)	十本	三本	ロ
無射(ぶえき)	神仙(しんせん)	十一本	四本	ハ
応鐘(おうしょう)	上無(かみむ)	十二本	五本	嬰ハ(変ニ)

植物帯（しょくぶつたい）

植物帯(本州中部太平洋岸の垂直分布)

高度(m)	植物帯	代表的な植物
	高山草原 (高山帯)	ヒゲハリスゲ ハイマツ
2300〜2500		
	針葉樹林帯 (亜高山帯)	コメツガ トウヒ シラビソ
1500〜1700		
	夏緑樹林帯 (山地帯)	ブナ・ミズナラ クリ・コナラ
500〜700		
	照葉樹林帯 (低山帯・丘陵帯)	カシ シイ・タブ
0		

十八壇林（じゅうはちだんりん）

十八檀林

旧国・地域名	寺院名
相模・鎌倉	光明寺
武蔵・鴻巣	勝願寺
常陸・瓜連	常福寺
江戸・芝	増上寺
下総・飯沼	弘経寺
下総・小金	東漸寺
下総・生実	大巌寺
武蔵・川越	蓮馨寺
武蔵・滝山	大善寺
武蔵・岩槻	浄国寺
常陸・江戸崎	大念寺
上野・館林	善導寺
下総・結城	弘経寺
江戸・本所	霊山寺
江戸・下谷	幡随院
江戸・小石川	伝通院
上野・新田	大光院
江戸・深川	霊巌寺

● 植物ホルモン

主な植物ホルモンと作用

	茎	葉	根	花	芽	果実	休眠	老化
オーキシン(インドール酢酸)	伸長	落葉抑制	発根. 伸長	花芽形成促進	側芽成長抑制	結実. 落果抑制		−
ジベレリン	伸長	成長	伸長	開花促進		結実	−	−
サイトカイニン(カイネチン)	成長	成長			発芽促進	成長	−	−
アブシジン酸		落葉	成長阻害		発芽抑制		＋	＋
エチレン	肥大	落葉	肥大. 不定根形成			成熟		＋
ブラシノリド	伸長							

● 諸子百家（しょしひゃっか）

諸　子　百　家

学派	主な学者•思想家または書名
儒家	孔子•曾子•子思•孟子•荀子
道家	老子•列子•荘子•関尹子
墨家	墨子•胡非子•随巣子
法家	申不害•商鞅•慎到•韓非
名家	公孫竜•恵施•尹文子•鄧析(とうせき)
農家	「神農」「野老」「宰氏」
縦横家	蘇秦•張儀
陰陽家	騶衍(鄒衍)(すうえん)•公孫発
兵家	孫武(孫子)•孫臏•呉起(呉子)
小説家	鬻子(いくし)•青史子•師曠(しこう)
雑家	呂不韋•淮南王安•東方朔

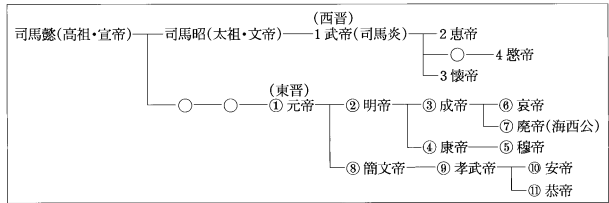
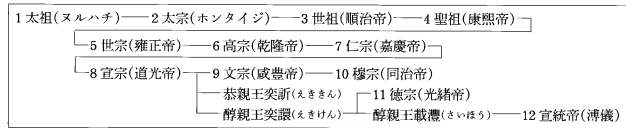
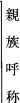
● 晋（しん）

晋2(歴代世系)

● 清（しん）

清(歴代世系)

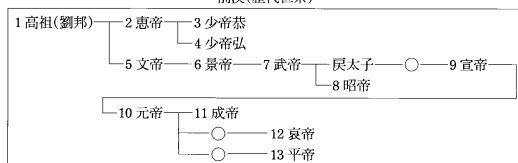
親族（しんぞく）

親族呼称
高祖父（こうそふ）
高祖母（こうそぼ）
曾祖父（ひいおじいさん）
曾祖母（ひいおばあさん）
大伯父（おおおじ）
大伯母（おおおば）
祖父（おじいさん）
祖母（おばあさん）
大叔父（おおおじ）
大叔母（おおおば）
従兄弟違（いとこちがい）
従姉妹違
伯父（おじ）
伯母（おば）
父（ちち）
母（はは）
叔父（おじ）
叔母（おば）
再従兄弟（またいとこ・はとこ）
再従姉妹
従兄弟（いとこ）
従姉妹
兄（あに）
義姉（あによめ）
姉（あね）
義兄（あねむこ）
本人
妻（つま）または夫（おっと）
弟（おとうと）
妹（いもうと）
従兄弟違（いとこちがい）
従姉妹違
甥（おい）
姪（めい）
息子（むすこ）
嫁（よめ）
娘（むすめ）
婿（むこ）
孫（まご）
曾孫（ひまご）
玄孫（やしゃご）
来孫
昆孫
配偶者の親族呼称
舅（しゅうと）
姑（しゅうとめ）
義兄
義姉
本人
妻または夫
義弟
義妹

● 震度階級（しんどかいきゅう）

気象庁震度階級関連解説表(一部)

震度階級	人　間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない.		
1	屋内にいる人の一部が，わずかな揺れを感じる.		
2	屋内にいる人の多くが，揺れを感じる.眠っている人の一部が，目を覚ます.	電灯などのつり下げ物が，わずかに揺れる.	
3	屋内にいる人のほとんどが，揺れを感じる.恐怖感を覚える人もいる.	棚にある食器類が，音を立てることがある.	電線が少し揺れる.
4	かなりの恐怖感があり，一部の人は，身の安全を図ろうとする.眠っている人のほとんどが，目を覚ます.	つり下げ物は大きく揺れ，棚にある食器類は音を立てる.座りの悪い置物が，倒れることがある.	電線が大きく揺れる.歩いている人も揺れを感じる.自動車を運転していて，揺れに気付く人がいる.
5弱	多くの人が，身の安全を図ろうとする.一部の人は，行動に支障を感じる.	つり下げ物は激しく揺れ，棚にある食器類，書棚の本が落ちることがある.座りの悪い置物の多くが倒れ，家具が移動することがある.	窓ガラスが割れて落ちることがある，電柱が揺れるのがわかる.補強されていないブロック塀が崩れることがある.道路に被害が生じることがある.
5強	非常な恐怖を感じる.多くの人が，行動に支障を感じる.	棚にある食器類，書棚の本の多くが落ちる.テレビが台から落ちることがある.タンスなど重い家具が倒れることがある.変形によりドアが開かなくなることがある.一部の戸が外れる.	補強されていないブロック塀の多くが崩れる.据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある.多くの墓石が倒れる.自動車の運転が困難となり，停止する車が多い.
6弱	立っていることが困難になる.	固定していない重い家具の多くが移動，転倒する.開かなくなるドアが多い.	かなりの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する.
6強	立っていることができず，はわないと動くことができない.	固定していない重い家具のほとんどが移動，転倒する.戸が外れて飛ぶことがある.	多くの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する.補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる.
7	揺れにほんろうされ，自分の意志で行動できない.	ほとんどの家具が大きく移動し，飛ぶものもある.	ほとんどの建物で，壁のタイルや窓ガラスが破損，落下する.補強されているブロック塀も破損するものがある.

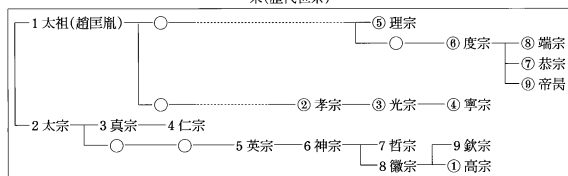
● 前漢（ぜんかん）

前漢(歴代世系)

● 染色体（せんしょくたい）

生物の染色体数（核相：$2n$）

ヒト	46	ハツカネズミ	40	サツマイモ	90
チンパンジー	48	カンガルー	16	ジャガイモ	48
キリン	30	ニワトリ（♂）	78	アサガオ	30
ウシ・ヤギ	60	ヒキガエル	22	ホウレンソウ	12
トナカイ	70	イモリ	24	タマネギ	16
インドサイ	84	コイ	104	エンドウ	14
ゾウ	56	メダカ	48	ムラサキツユクサ	24
オットセイ	36	アメリカザリガニ	200	イネ	24
ネコ・トラ	38	カイコ	56	オオムギ	14
イヌ・コヨーテ	78	ショウジョウバエ	8	パンコムギ	42
キツネ	36	アカイエカ	6	アカマツ	24
タヌキ	42	ヒドラ	32	イチョウ	24
ナガスクジラ	44	ウマノカイチュウ	2	ゼンマイ	44
ウサギ	44	スイレン	112	コンブ・ワカメ	44
モルモット	64	オシロイバナ	58	クロカビ	4

● 宋（そう）

宋（歴代世系）

丸中数字は南宋の歴代

● 奏法記号（そうほうきごう）

奏法記号の例

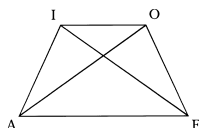
記　号	標　語		意　味
≀ など	アルペッジョ	arpeggio	和音を分散和音として順々に奏する
gliss.	グリッサンド	glissando	広い音域を急速にすべるように奏する
	コン-ソルディーノ	con sordino	弱音器を使用する
•	スタッカート	staccato	一音一音を切り離して奏する
	ソステヌート	sostenuto	音の長さを十分に保って（速度標語と組合せて）
─ ten.	テヌート	tenuto	ある一個の音の長さを十分に保って
♪ など	トレモロ	tremolo	一音または二音を急速に反復して
pizz.	ピッチカート	pizzicato	指で弦を弾いて奏する
𝄐	フェルマータ	fermata	その音符・休止符を任意の長さで奏する
V	ブレス	breath	息つぎをする
	ポルタメント	portamento	次の音へ音程をずらせながら移動する
marc.	マルカート	marcato	一音一音はっきりと奏する
	レガート	legato	滑らかに
⌒	スラー	slur	レガートの記号（弦楽器ではひと弓で奏する指示）

● 速度標語（そくどひょうご）

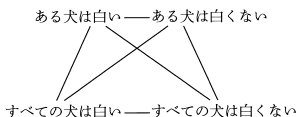
速度標語の例

標語		意味
ラルゴ	largo	ゆっくりと，豊かに
ラルゲット	larghetto	ゆっくりと(ラルゴよりやや速く)
レント	lento	遅く，ゆっくりと
アダージョ	adagio	ゆるやかに
アンダンテ	andante	歩くくらいの速さで，ゆるやかに
モデラート	moderato	中くらいの速さで
アレグロ	allegro	速く
ヴィヴァーチェ	vivace	生き生きと，きわめて速く
プレスト	presto	急速に
リタルダンド	ritardando(rit.)	次第に遅く
ラレンタンド	rallentando(rall.)	次第に遅く
アッチェレランド	accelerando(accel.)	次第に速く
メノ-モッソ	meno mosso	(今までより)もっと遅く
ア-テンポ	a tempo	もとの速さで
テンポ-プリモ	tempo primo	初めの速さで
アッサイ	assai	十分に，非常に
モルト	molto	きわめて，はなはだ
ポコ	poco	すこし(poco a poco すこしずつ)
ノン-トロッポ	non troppo	あまり…すぎないように

た行

● 対当関係（たいとうかんけい）

ＡＥ：反対対当
ＩＯ：小反対対当
ＡＩ，ＥＯ：大小対当
ＡＯ，ＥＩ：矛盾対当

対当関係の図式

ある犬は白い――ある犬は白くない
すべての犬は白い――すべての犬は白くない

対当関係の例

〔対当関係〕

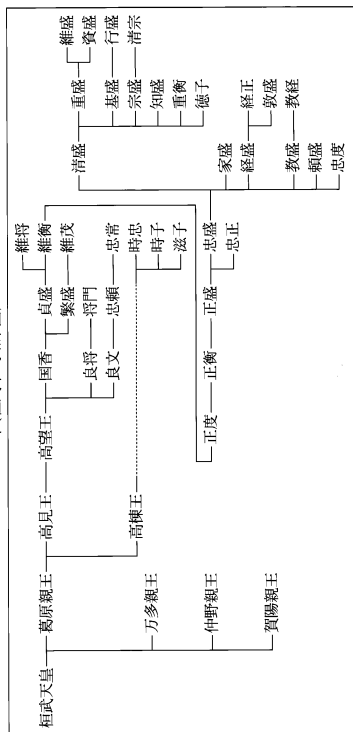
● 大名（だいみょう）

大名（近世大名の分類）

親　藩		三家（尾張・紀伊・水戸）・三卿（田安・一橋・清水）・家門（福井・松江・津山・高松・西条・浜田・会津などの松平と久松）
譜代大名		井伊・酒井・本多・榊原・大久保・土井・水野・戸田・小笠原・牧野・内藤・稲葉・堀田・阿部・久世・間部・松平（家康以前の分流）ほか
外様大名	旧族大名	伊達・島津・毛利・上杉・佐竹・鍋島・津軽・南部・松浦・大村・宗・相良ほか
	織豊大名	前田・細川・黒田・浅野・池田（岡山・鳥取）・山内・蜂須賀・藤堂・仙石・有馬ほか

● 平（たいら）

● 断層（だんそう）

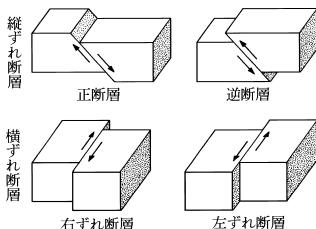
〔断層〕

● 地質年代（ちしつねんだい）

地　質　年　代

代	紀	世	年代
			現在
新生代	第四紀	完新世	1 万年前
		更新世	180 万年前
	第三紀	鮮新世	530 万年前
		中新世	2300 万年前
		漸新世	3400 万年前
		始新世	5300 万年前
		暁新世	6500 万年前
中生代	白亜紀		1.4 億年前
	ジュラ紀		2.0 億年前
	三畳紀		2.5 億年前
古生代	ペルム紀		2.9 億年前
	石炭紀		3.6 億年前
	デボン紀		4.1 億年前
	シルル紀		4.4 億年前
	オルドビス紀		5.0 億年前
	カンブリア紀		5.4 億年前
先カンブリア時代	原生代		25 億年前
	始生代		46 億年前

● 秩父三十三所（ちちぶさんじゅうさんしょ）

秩父三十三所

市・郡名	寺院名	市・郡名	寺院名
秩父市	1 妙音寺	秩父市	18 神門寺
	2 真福寺		19 竜石寺
	3 常泉寺		20 岩之上堂
	4 金昌寺		21 観音寺
秩父郡	5 長興寺		22 栄(永)福寺
	6 卜雲寺		23 音楽寺
	7 法長寺		24 法泉寺
	8 西善寺		25 久昌寺
	9 明智寺		26 円融寺
	10 大慈寺		27 大淵寺
秩父市	11 常楽寺		28 橋立寺
	12 野坂寺	秩父郡	29 長泉院
	13 慈眼寺		30 法雲寺
	14 今宮坊		31 観音院
	15 少林寺		32 法性寺
	16 西光寺		33 菊水寺
	17 定林寺		34 水潜寺

● 中国（ちゅうごく）

中国(歴代王朝)

王朝名	初代	年代	王朝名	初代	年代
夏	禹	?	東晋	元帝(司馬睿)	317〜420
殷(商)	湯王	?〜紀元前 1100 頃	五胡十六国		304〜439
周	武王	前 1100 頃〜前 256	南北朝時代		439〜589
春秋時代		前 770〜前 403	隋	文帝(楊堅)	581〜619
戦国時代		前 403〜前 221	唐	高祖(李淵)	618〜907
秦	始皇帝	前 221〜前 206	五代十国		907〜960(979)
前漢	高祖(劉邦)	前 202〜後 8	宋(北宋)	太祖(趙匡胤)	960〜1127
新	王莽	8〜23	南宋	高宗(趙構)	1127〜1279
後漢	光武帝(劉秀)	25〜220	遼	太祖(耶律阿保機)	916〜1125
三国時代(魏・呉・蜀)	曹丕・孫権・劉備	220〜265(280)	金	太祖(阿骨打)	1115〜1234
		(蜀は 221〜263)	元	世祖(フビライ)	1271〜1368
		(呉は 222〜280)	明	太祖(朱元璋)	1368〜1644
晋(西晋)	武帝(司馬炎)	265〜316	清	太祖(ヌルハチ)	1616〜1912

● 天気記号

天気記号(日本式)

天気記号	天気	天気記号	天気
○	快晴	●ニ	にわか雨
⦶	晴	◒	みぞれ
◎	曇	⊗	雪
⓸	煙霧	⊗ツ	雪強し
Ⓢ	ちり煙霧	⊗ニ	にわか雪
⊖	砂じんあらし	△	あられ
⊕	地ふぶき	▲	ひょう
⦿	霧	◒	雷
●キ	霧雨	◒ツ	雷強し
●	雨	⊗	天気不明
●ツ	雨強し		

● 天皇（てんのう）

天　皇

1 神武(じんむ)天皇
2 綏靖(すいぜい)天皇
3 安寧(あんねい)天皇
4 懿徳(いとく)天皇
5 孝昭(こうしょう)天皇
6 孝安(こうあん)天皇
7 孝霊(こうれい)天皇
8 孝元(こうげん)天皇
9 開化(かいか)天皇
10 崇神(すじん)天皇
11 垂仁(すいにん)天皇
12 景行(けいこう)天皇
13 成務(せいむ)天皇
14 仲哀(ちゅうあい)天皇
15 応神(おうじん)天皇
16 仁徳(にんとく)天皇
17 履中(りちゅう)天皇
18 反正(はんぜい)天皇
19 允恭(いんぎょう)天皇
20 安康(あんこう)天皇
21 雄略(ゆうりゃく)天皇
22 清寧(せいねい)天皇
23 顕宗(けんぞう)天皇
24 仁賢(にんけん)天皇
25 武烈(ぶれつ)天皇
26 継体(けいたい)天皇
27 安閑(あんかん)天皇
28 宣化(せんか)天皇
29 欽明(きんめい)天皇
30 敏達(びだつ)天皇
31 用明(ようめい)天皇
32 崇峻(すしゅん)天皇
33 推古(すいこ)天皇
34 舒明(じょめい)天皇
35 皇極(こうぎょく)天皇
36 孝徳(こうとく)天皇
37 斉明(さいめい)天皇
38 天智(てんじ)天皇
39 弘文(こうぶん)天皇
40 天武(てんむ)天皇
41 持統(じとう)天皇
42 文武(もんむ)天皇
43 元明(げんめい)天皇
44 元正(げんしょう)天皇
45 聖武(しょうむ)天皇
46 孝謙(こうけん)天皇
47 淳仁(じゅんにん)天皇
48 称徳(しょうとく)天皇
49 光仁(こうにん)天皇
50 桓武(かんむ)天皇
51 平城(へいぜい)天皇
52 嵯峨(さが)天皇
53 淳和(じゅんな)天皇
54 仁明(にんみょう)天皇
55 文徳(もんとく)天皇
56 清和(せいわ)天皇
57 陽成(ようぜい)天皇
58 光孝(こうこう)天皇
59 宇多(うだ)天皇
60 醍醐(だいご)天皇
61 朱雀(すざく)天皇
62 村上(むらかみ)天皇
63 冷泉(れいぜい)天皇
64 円融(えんゆう)天皇
65 花山(かざん)天皇
66 一条(いちじょう)天皇
67 三条(さんじょう)天皇
68 後一条(ごいちじょう)天皇
69 後朱雀(ごすざく)天皇
70 後冷泉(ごれいぜい)天皇
71 後三条(ごさんじょう)天皇
72 白河(しらかわ)天皇
73 堀河(ほりかわ)天皇
74 鳥羽(とば)天皇
75 崇徳(すとく)天皇
76 近衛(このえ)天皇
77 後白河(ごしらかわ)天皇
78 二条(にじょう)天皇
79 六条(ろくじょう)天皇
80 高倉(たかくら)天皇
81 安徳(あんとく)天皇
82 後鳥羽(ごとば)天皇
83 土御門(つちみかど)天皇
84 順徳(じゅんとく)天皇
85 仲恭(ちゅうきょう)天皇
86 後堀河(ごほりかわ)天皇
87 四条(しじょう)天皇
88 後嵯峨(ごさが)天皇
89 後深草(ごふかくさ)天皇
90 亀山(かめやま)天皇
91 後宇多(ごうだ)天皇
92 伏見(ふしみ)天皇
93 後伏見(ごふしみ)天皇
94 後二条(ごにじょう)天皇
95 花園(はなぞの)天皇
96 後醍醐(ごだいご)天皇(南朝1)
光厳(こうごん)天皇(北朝1)
光明(こうみょう)天皇(北朝2)
崇光(すこう)天皇(北朝3)
後光厳(ごこうごん)天皇(北朝4)
後円融(ごえんゆう)天皇(北朝5)
97 後村上(ごむらかみ)天皇(南朝2)
98 長慶(ちょうけい)天皇(南朝3)
99 後亀山(ごかめやま)天皇(南朝4)
100 後小松(ごこまつ)天皇
101 称光(しょうこう)天皇
102 後花園(ごはなぞの)天皇
103 後土御門(ごつちみかど)天皇
104 後柏原(ごかしわばら)天皇
105 後奈良(ごなら)天皇
106 正親町(おおぎまち)天皇
107 後陽成(ごようぜい)天皇
108 後水尾(ごみずのお)天皇
109 明正(めいしょう)天皇
110 後光明(ごこうみょう)天皇
111 後西(ごさい)天皇
112 霊元(れいげん)天皇
113 東山(ひがしやま)天皇
114 中御門(なかみかど)天皇
115 桜町(さくらまち)天皇
116 桃園(ももぞの)天皇
117 後桜町(ごさくらまち)天皇
118 後桃園(ごももぞの)天皇
119 光格(こうかく)天皇
120 仁孝(にんこう)天皇
121 孝明(こうめい)天皇
122 明治天皇
123 大正天皇
124 昭和天皇
125 今上天皇

● 唐（とう）

唐(歴代世系)

● 同位角（どういかく）

〔同位角〕

● 東海道五十三次（とうかいどうごじゅうさんつぎ）

東海道五十三次(宿駅一覧)

● 徳川（とくがわ）

徳川(略系図)

数字は将軍の代数

な行

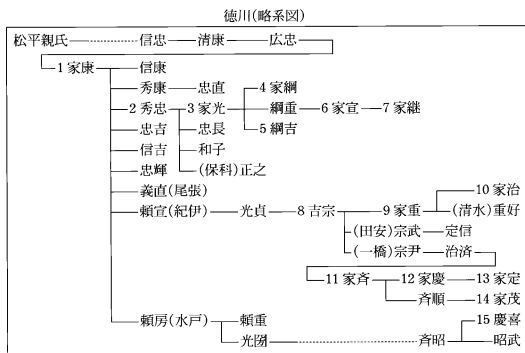
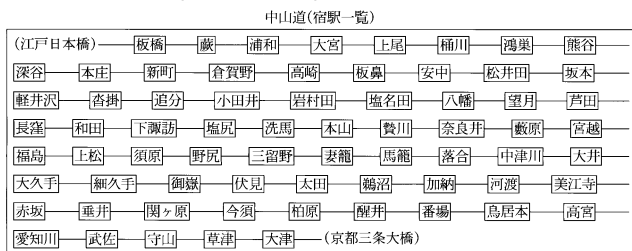
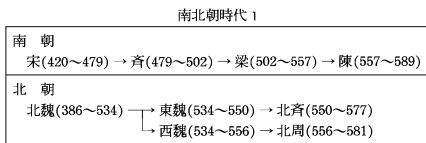
● 中山道・中仙道（なかせんどう）

中山道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)	板橋	蕨	浦和	大宮	上尾	桶川	鴻巣	熊谷	
深谷	本庄	新町	倉賀野	高崎	板鼻	安中	松井田	坂本	
軽井沢	沓掛	追分	小田井	岩村田	塩名田	八幡	望月	芦田	
長窪	和田	下諏訪	塩尻	洗馬	本山	贄川	奈良井	藪原	宮越
福島	上松	須原	野尻	三留野	妻籠	馬籠	落合	中津川	大井
大久手	細久手	御嶽	伏見	太田	鵜沼	加納	河渡	美江寺	
赤坂	垂井	関ヶ原	今須	柏原	醒井	番場	鳥居本	高宮	
愛知川	武佐	守山	草津	大津	(京都三条大橋)				

● 南北朝時代（なんぼくちょうじだい）

南北朝時代 1

南　朝
宋(420〜479) → 斉(479〜502) → 梁(502〜557) → 陳(557〜589)
北　朝
北魏(386〜534) → 東魏(534〜550) → 北斉(550〜577)
　　　　　　　→ 西魏(534〜556) → 北周(556〜581)

(　)内は興亡の年代

二十四史（にじゅうしし）

二十四史（正史）一覧

書名	巻数	編著者	成立年代	書名	巻数	編著者	成立年代
史記	130	司馬遷	前漢　前91年頃	南史	80	李延寿	唐　659
漢書	100	班固	後漢　後82年頃	北史	100	李延寿	唐　659
後漢書	120	范曄	南朝宋　432年頃	旧唐書	200	劉昫ほか	後晋　945
三国志	65	陳寿	西晋　3世紀末	新唐書	225	欧陽修ほか	宋　1060
晋書	130	房玄齢ほか	唐　648	旧五代史	150	薛居正ほか	宋　974
宋書	100	沈約	南斉　488	新五代史	74	欧陽修	宋　1053
南斉書	59	蕭子顕	梁　6世紀前半	宋史	496	脱脱ほか	元　1345
梁書	56	姚思廉	唐　636	遼史	116	脱脱ほか	元　1345
陳書	36	姚思廉	唐　636	金史	135	脱脱ほか	元　1345
魏書	130	魏収	北斉　554	元史	210	宋濂ほか	明　1370
北斉書	50	李百薬ほか	唐　636	明史	332	張廷玉ほか	清　1739
周書	50	令狐徳棻ほか	唐　636	新元史	257	柯劭忞	民国　1919
隋書	85	魏徴ほか	唐　636・656				

二十四節気（にじゅうしせっき）

二十四節気

季節	名称	概略日付	季節	名称	概略日付
春	立春	2月 4日	秋	立秋	8月 8日
	雨水	2月19日		処暑	8月24日
	啓蟄	3月 6日		白露	9月 8日
	春分	3月21日		秋分	9月23日
	清明	4月 5日		寒露	10月 9日
	穀雨	4月20日		霜降	10月24日
夏	立夏	5月 6日	冬	立冬	11月 8日
	小満	5月21日		小雪	11月23日
	芒種	6月 6日		大雪	12月 8日
	夏至	6月22日		冬至	12月22日
	小暑	7月 8日		小寒	1月 6日
	大暑	7月23日		大寒	1月20日

日光街道（にっこうかいどう）

日光街道（宿駅一覧）

（江戸日本橋）―千住―草加―越ヶ谷―粕壁―杉戸―幸手―〔栗橋―中田〕―
古河―野木―間々田―小山―新田―小金井―石橋―雀宮―宇都宮―
〔下徳次郎―中徳次郎―上徳次郎〕―大沢―今市―鉢石―（日光坊中）

〔　〕内は交代継立ての宿

● 能楽（のうがく）

能楽の流派

分類		流派名
立方	シテ方	観世(かんぜ) 宝生(ほうしょう) 金春(こんぱる) 金剛(こんごう) 喜多(きた)
	ワキ方	福王(ふくおう) 高安(たかやす) 宝生(下掛り宝生) 〔春藤〕(しゅんどう) 〔進藤〕(しんどう)
	狂言方	大蔵(おおくら) 和泉(いずみ) 〔鷺〕(さぎ)
囃子方	笛方	一噌(いっそう) 森田 藤田 〔春日〕(しゅんにち) 〔平岩〕
	小鼓方	幸(こう) 幸清(こうせい) 大倉 観世
	大鼓方	葛野(かどの) 高安 大倉 石井 観世(宝生錬三郎派)
	太鼓方	観世 金春

〔 〕は廃絶

● 能面（のうめん）

能面の主なもの

分類		名称		
翁面	尉面	白色尉(はくしきじょう) 肉色尉 父尉 黒色尉		
	冠者面	延命冠者(えんめいかじゃ)		
能面		常相	奇相	異相
	尉面（老体面）	小尉(小牛尉)・三光尉・朝倉尉・笑尉・舞尉	皺尉(しわじょう)・石王尉	悪尉(あくじょう)(大悪尉・小悪尉・鼻瘤悪尉など)
	男面	若男・中将・平太(へいだ)・邯鄲男・十六・敦盛・童子・喝食(かっしき)・慈童・猩々	怪士(あやかし)・三日月・鷹・筋男(すじおとこ)・痩男・蛙(かわず)・一角仙人	癋見(べしみ)(大癋見・小癋見・黒癋見など)・飛出(とびで)(大飛出・小飛出・釣眼(つりまなこ)・黒髭など)・顰(しかみ)・獅子口・天神
	女面	若女・小面(こおもて)・増(ぞう)(増女)・孫次郎・近江女・深井・曲見(しゃくみ)・老女・姥	泥眼(でいがん)・橋姫・増髪(ますかみ)・痩女・山姥(やまんば)	般若(はんにゃ)・生成(なまなり)・蛇(じゃ)

発酵・醗酵（はっこう）

主な発酵

	作用	発酵微生物
アルコール発酵	糖→エタノール, 二酸化炭素	コウボ
グリセロール発酵	糖→グリセロール	コウボ
乳酸発酵	糖→乳酸, 二酸化炭素	乳酸菌, ケカビ
メタン発酵	二酸化炭素, 蟻酸, 酢酸など→メタン	メタン細菌
酢酸発酵	エタノール→酢酸	酢酸菌
クエン酸発酵	糖, 炭水化物→クエン酸	クロカビ, アオカビなど
イタコン酸発酵	糖→クエン酸→イタコン酸	アスペルギリスなど
グルコン酸発酵	糖→グルコン酸	酢酸菌, クロカビなど
酪酸発酵	糖→酪酸, アセトン, ブタノールなど	クロストリディウム
アミノ酸発酵	糖など→グルタミン酸, リジン, トレオニンなど	コリネバクテリウム

発光生物（はっこうせいぶつ）

主な発光生物

細　菌	発光バクテリア類(フォトバクテリウム・ビブリオなど)	節足動物	ウミホタル・発光ヤスデ・サクラエビ・ヒカリエビ・ホタルなど
真　菌	ツキヨタケ・ナラタケ(菌糸)・ヤコウタケなど	軟体動物	ホタルイカ・メヒカリイカ・カモメガイ・発光ウミウシなど
原生動物	ヤコウチュウ・ケラチウムなど	原索動物	ヒカリボヤ・ギボシムシなど
腔腸動物	ウミサボテン・タコクラゲ・ウミエラ・オワンクラゲなど	脊椎動物	マツカサウオ・ヒカリキンメダイ・ホウネンイワシ・ホウネンエソなど
紐形動物	ヒカリヒモムシ		
環形動物	ウロコムシ・ツバサゴカイ・ヒカリミミズなど		

発想標語（はっそうひょうご）

発想標語

標語		意味
アニマート	animato	活発に，生き生きと
アパッショナート	appassionato	情熱的に
ヴィーヴォ	vivo	活発に
エスプレッシーヴォ	csprcssivo	表情ゆたかに
カンタービレ	cantabile	歌うように(なだらかに)
グラーヴェ	gravac	重々しく
グラツィオーソ	grazioso	優雅に
コン-ブリオ	con brio	生き生きと
コン-モート	con moto	元気よく
ジョコーソ	giocoso	嬉々として
センプリチェ	semplice	素朴に
トランクィッロ	tranquillo	静かに
ドルチェ	dolce	甘く，やわらかに
マエストーソ	maestoso	堂々と，荘厳に

パラフィン

直鎖パラフィン炭化水素

名称	分子式	沸点(℃)
メタン(methane)	CH_4	−161.5
エタン (ethane)	C_2H_6	−89.0
プロパン(propane)	C_3H_8	−42.1
ブタン (butane)	C_4H_{10}	0.5
ペンタン(pentane)	C_5H_{12}	36.1
ヘキサン (hexane)	C_6H_{14}	68.7
ヘプタン(heptane)	C_7H_{16}	98.4
オクタン (octane)	C_8H_{18}	125.7
ノナン (nonane)	C_9H_{20}	150.8
デカン (decane)	$C_{10}H_{22}$	174.1

ハロゲン

ハロゲン族の単体

名称	分子式	状態	色	融点(℃)	沸点(℃)
弗素	F_2	気体	淡黄	−219.6	−188.1
塩素	Cl_2	気体	黄緑	−101.0	−34.1
臭素	Br_2	液体	赤褐	−7.2	58.8
沃素	I_2	固体	黒紫	113.5	184.4

藩学（はんがく）

主な藩学

名称	藩主	所在地	創設年代	旧称・改称
稽古館(けいこかん)	津軽	弘前	1796	
作人館(さくじんかん)	南部	盛岡	1636	稽古所・明義堂
養賢堂(ようけんどう)	伊達	仙台	1736	学問所・明倫館
日新館(にっしんかん)	松平	会津	1678	
明徳館(めいとくかん)	佐竹	秋田	1789	明道館
興譲館(こうじょうかん)	上杉	米沢	1697	学校
道学堂(どうがくどう)	溝口	新発田	1772	
文武学校(ぶんぶがっこう)	真田	松代	1855	稽古所・学問所
弘道館(こうどうかん)	徳川	水戸	1841	
明倫堂(めいりんどう)	徳川	名古屋	1748	学問所
明倫堂(めいりんどう)	前田	金沢	1792	
成徳書院(せいとくしょいん)	堀田	佐倉	1792	
弘道館(こうどうかん)	井伊	彦根	1799	稽古館
立教館(りっきょうかん)	松平	白河・桑名	1791	学問所
学習館(がくしゅうかん)	徳川	和歌山	1713	講釈所
花畠教場(はなばたけきょうじょう)	池田	岡山	1641	仮学館・学校
誠之館(せいしかん)	阿部	福山	1786	弘道館
修道館(しゅうどうかん)	浅野	広島	1782	稽古屋敷・学問所
明教館(めいきょうかん)	松平	松江	1758	文明館・文武館
明倫館(めいりんかん)	毛利	萩	1719	
教授館(きょうじゅかん)	山内	高知	1760	教授場・致道館
明倫館(めいりんかん)	伊達	宇和島	1748	内徳館・敷教館
修猷館(しゅうゆうかん)	黒田	福岡	1784	
伝習館(でんしゅうかん)	立花	柳川	1824	
弘道館(こうどうかん)	鍋島	佐賀	1781	
時習館(じしゅうかん)	細川	熊本	1755	
造士館(ぞうしかん)	島津	鹿児島	1773	本学校

坂東三十三所（ばんどうさんじゅうさんしょ）

坂東三十三所

都県名	寺院名	都県名	寺院名
神奈川県	1 杉本寺	栃木県	18 中禅寺
	2 岩殿寺		19 大谷寺
	3 安養院		20 西明寺
鎌倉	4 長谷寺	茨城県	21 日輪寺
	5 勝福寺		22 佐竹寺
厚木	6 長谷寺		23 観世音寺
	7 光明寺		24 楽法寺
	8 星谷寺		25 大御堂
埼玉県	9 慈光寺		26 清滝寺
	10 正法寺	千葉県	27 円福寺
	11 安楽寺		28 竜正院
	12 慈恩寺		29 千葉寺
東京都	13 浅草寺		30 高蔵寺
神奈川県	14 弘明寺		31 笠森寺
群馬県	15 長谷寺		32 清水寺
	16 水沢寺		33 那古寺
栃木県	17 満願寺		

病原体（びょうげんたい）

主な病原体

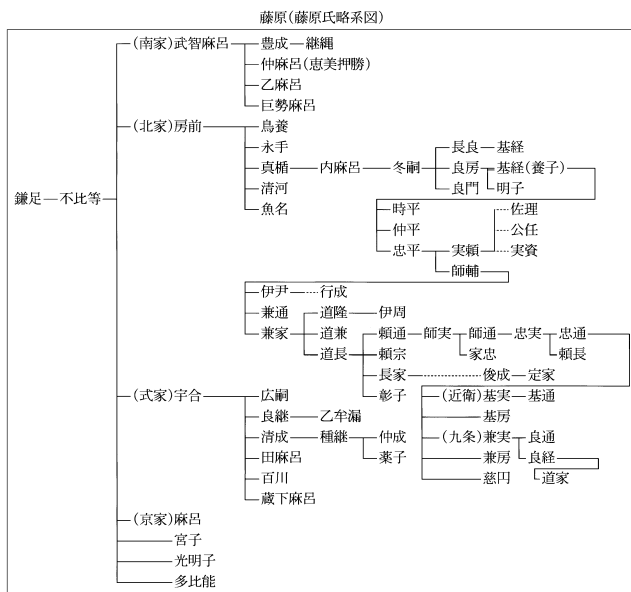
	特徴	例
ウイルス	宿主細胞内でのみ増殖．化学療法剤が効かない	はしかウイルス，インフルエンザ-ウイルス，日本脳炎ウイルス，肝炎ウイルス，風疹ウイルス，黄熱ウイルス，ラッサ熱ウイルスなど
クラミジア	宿主細胞内でのみ増殖	トラコーマ-クラミジア，オウム病クラミジアなど
マイコプラズマ	細胞壁がない．最小の自律増殖生物	異型肝炎マイコプラスマ，肺炎マイコプラスマなど
細菌	細胞壁をもち，自律的に増殖	ジフテリア菌，肺炎双球菌，淋菌，コレラ菌，赤痢菌，大腸菌，破傷風菌，ボツリヌス菌，結核菌など
スピロヘータ	同上	梅毒トレポネーマ，レプトスピラなど
リケッチア	宿主細胞内でのみ増殖	ツツガムシ病リケッチア，発疹チフス-リケッチアなど
真菌	半ば寄生的に増殖	カンジダ，クリプトコッカス，白癬菌など
原生動物(原虫)	宿主に寄生	マラリア原虫，トリパノソーマ，トキソプラスマ
寄生虫	同上	回虫，十二指腸虫，条虫，住血吸虫，ジストマなど

● 舞曲（ぶきょく）

舞曲(欧米の主な舞曲)

流行した時代	名称		拍子	始まった国	流行した時代	名称		拍子	始まった国
16〜17世紀	パヴァーヌ	pavane	4/4	イタリア		メヌエット	menuet	3/4	フランス
	ガイヤルド	gaillarde	3/2	イタリア	18〜19世紀	マズルカ	mazurka	3/4	ポーランド
	アルマンド	allemande	4/4	ドイツ	19世紀	ポロネーズ	polonaise	3/4	ポーランド
	シャコンヌ	chaconne	3/4	スペイン		ポルカ	polka	2/4	チェコ
	パッサカリア	passacaglia	3/4	スペイン		ボレロ	bolero	3/4	スペイン
	クーラント	courante	3/2	フランス・イタリア		ハバネラ	habanera	2/4	キューバ
17〜18世紀	サラバンド	saraband	3/4	スペイン		ギャロップ	galop	2/4	ドイツ
	ジーグ	gigue	6/8	イギリス	19〜20世紀	ワルツ	waltz	3/4	オーストリア
	ブーレ	bourrée	2	フランス	20世紀	チャルダシュ	czardas	2/4	ハンガリー
	ガヴォット	gavotte	4/4	フランス		タンゴ	tango	2/4	アルゼンチン

● 藤原（ふじわら）

藤原(藤原氏略系図)

● 仏像（ぶつぞう）

主な仏像の種類

如来部	釈迦如来，薬師如来，阿弥陀如来，毘盧遮那如来，大日如来，五智如来
菩薩部	弥勒菩薩，観(世)音菩薩(聖観音・如意輪観音・十一面観音・千手観音・不空羂索観音・馬頭観音・准胝観音など)，勢至菩薩，日光菩薩，月光菩薩，文殊菩薩，普賢菩薩，普賢延命菩薩，虚空蔵菩薩，五大虚空蔵菩薩，地蔵菩薩，薬王菩薩，薬上菩薩，妙見菩薩
明王部	五大明王(不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王)，愛染明王，孔雀明王，大元帥明王，烏枢沙摩明王
天　部	四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天＝毘沙門天)，梵天，帝釈天，吉祥天，弁財天，大黒天，歓喜天＝聖天，韋駄天，摩利支天，仁王，鬼子母神，八部衆，十二神将
その他	十大弟子，羅漢，祖師，大師など

フロン

フ ロ ン

名称	分子式	沸点(℃)
F-11	$CFCl_3$	23.8
F-12	CF_2Cl_2	−29.8
F-22	CHF_2Cl	−40.8
F-113	$C_2F_3Cl_3$	47.6
F 114	$C_2F_4Cl_2$	3.8
F-115	C_2F_5Cl	−39.1

分国法(ぶんこくほう)

分 国 法

名　称	別　称	条文数	制定年代
朝倉孝景条々	朝倉敏景十七箇条	17	1471〜81
大内氏掟書	大内家壁書	181	1439〜1529
相良氏法度		41	1493〜1555
今川仮名目録		33	1526
同　追加		21	1553
塵芥集		171	1536
甲州法度	甲州法度之次第 信玄家法	26*	1547
結城氏新法度		106	1556
新加制式		22	1558〜70 頃
六角氏式目	義治式目	67	1567
長宗我部氏掟書	長宗我部元親百箇条	100	1597 頃

＊ のち 55 ヵ条に増補

変体仮名(へんたいがな)

変 体 仮 名

あ	阿	さ	佐	な	奈, 奈	ま	万, 満	ら	羅, 良
い	以	し	志	に	尓	み	美, 三	り	里, 利
う	宇	す	寿, 寿	ぬ	奴	む	武	る	留
え	江	せ	勢	ね	年, 祢	め	免	れ	連
お	於	そ	楚, 曽	の	能, 乃	も	毛	ろ	呂, 路
か	可, 加	た	多	は	者	や	屋	わ	王, 和
き	幾, 起	ち	知	ひ	飛, 比			ゐ	井
く	久, 具	つ	徒, 津	ふ	不, 婦	ゆ	由, 游		
け	希	て	天	へ	遍			ゑ	恵
こ	古	と	登	ほ	保	よ	与	を	越

北条(ほうじょう)

北条(略系図)

数字は執権の順序

ボクシング

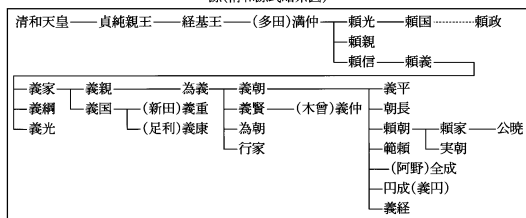
ボクシングの階級と体重

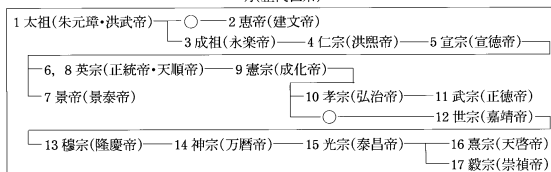
アマ		プロ	
階級	体重(kg)	階級	体重(ポンド)
ライト-フライ	48 以下	ストロー	105(約 47.6 kg)以下
フライ	~51 以下	ジュニア-フライ	~108(約 48.9 kg)以下
バンタム	~54 以下	フライ	~112(約 50.8 kg)以下
フェザー	~57 以下	ジュニア-バンタム	~115(約 52.1 kg)以下
ライト	~60 以下	バンタム	~118(約 53.5 kg)以下
ライト-ウェルター	~63.5 以下	ジュニア-フェザー	~122(約 55.3 kg)以下
ウェルター	~67 以下	フェザー	~126(約 57.1 kg)以下
ライト-ミドル	~71 以下	ジュニア-ライト	~130(約 58.9 kg)以下
ミドル	~75 以下	ライト	~135(約 61.2 kg)以下
ライト-ヘビー	~81 以下	ジュニア-ウェルター	~140(約 63.5 kg)以下
ヘビー	~91 以下	ウェルター	~147(約 66.6 kg)以下
スーパー-ヘビー	91 超過	ジュニア-ミドル	~154(約 69.8 kg)以下
		ミドル	~160(約 72.5 kg)以下
		ライト-ヘビー	~175(約 79.3 kg)以下
		ジュニア-ヘビー	~190(約 86.1 kg)以下
		ヘビー	190 超過

ジュニアにはモスキート級(45 kg 以下)がある.

ま行

源(みなもと)

源(清和源氏略系図)

明(みん)

明(歴代世系)

● 室町幕府（むろまちばくふ）

室町幕府(将軍一覧)

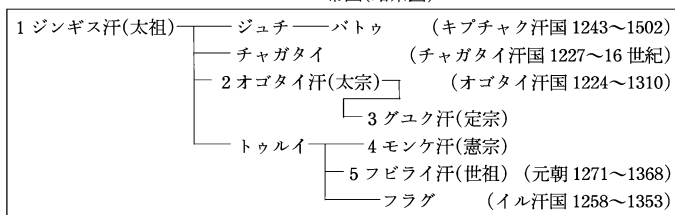
代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	足利尊氏	足利貞氏	上杉頼重娘清子	1338〜1358	1358
2	足利義詮	足利尊氏	北条(赤橋)久時娘登子	1358〜1367	1367
3	足利義満	足利義詮	善法寺通清娘紀良子	1368〜1394	1408
4	足利義持	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1394〜1423	1428
5	足利義量	足利義持	日野資康娘栄子	1423〜1425	1425
6	足利義教	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1429〜1441	1441
7	足利義勝	足利義教	日野重光娘重子	1442〜1443	1443
8	足利義政	足利義教	日野重光娘重子	1449〜1473	1490
9	足利義尚	足利義政	日野重政娘富子	1473〜1489	1489
10	足利義稙	足利義視	日野重政娘(富子妹)	1490〜1493 1508〜1521	1523
11	足利義澄	足利政知	武者小路隆光娘	1494〜1508	1511
12	足利義晴	足利義澄	阿与	1521〜1546	1550
13	足利義輝	足利義晴	近衛尚通娘	1546〜1565	1565
14	足利義栄	足利義維	大内介娘	1568	1568
15	足利義昭	足利義晴	近衛尚通娘	1568〜1573	1597

● 命数法（めいすうほう）

命　数　法

大　数	十，百，千，万，億，兆，京(けい)，垓(がい)，秭(し)，穣(じょう)，溝，澗(かん)，正(せい)，載，極，恒河沙(ごうがしゃ)，阿僧祇(あそうぎ)，那由他(なゆた)，不可思議，無量大数
小　数	分，厘，毫(＝毛)，糸，忽(こつ)，微，繊，沙(しゃ)，塵，埃(あい)，渺(びょう)，漠，模糊(もこ)，逡巡，須臾(しゅゆ)，瞬息，弾指，刹那，六徳，虚空，清浄

モンゴル帝国（ていこく）

モンゴル帝国(略系図)

数字は大汗の代数

紋所（もんどころ）

紋　所

分　類	素　材　と　名　称
模様•文字	鱗(三つ鱗)•唐花•亀甲(三つ亀甲)•七宝•蛇の目•菱(三つ菱•三蓋菱•花菱•松皮菱•割り菱•武田菱•大内菱)•巴(右巴•左巴•一つ巴•二つ巴•三つ巴)•卍(丸卍•左卍)•引両(一つ引両•二つ引両•三つ引両)•木瓜(丸に木瓜•庵木瓜•蔓木瓜)•目結(四目結)•輪(金輪•輪違い)•有文字•一文字•十文字•井の字•入山形
建築•器具	庵•錨•井桁•井筒(重井筒•角立井筒•平井筒)•石畳•糸巻•団扇(うちわ)(三本団扇)•扇(三つ扇•日の丸扇•扇車)•檜扇•笠(丸に笠•柳生笠•三蓋笠)•傘(三本傘)•舵•鐶•杏葉(ぎょうよう)•釘抜•くつわ•車(源氏車•風車)•剣•五徳•琴柱(ことじ)•駒•銭(六連銭•永楽通宝)•槌•鼓•羽根•分銅•枡•的•守(祇園守)•矢(矢車)•輪鼓(りゅうご)
植物	葵(葵巴•立葵•唐草葵)•総角(あげまき)•麻(麻の葉)•銀杏•稲(稲の丸•抱き稲)•梅(梅鉢•裏梅)•沢瀉(おもだか)(抱き沢瀉•立て沢瀉)•かきつばた•柏(抱き柏•違い柏•三つ柏•三葉柏)•梶(梶の葉)•かたばみ(草かたばみ•剣かたばみ)•桔梗(ききょう)(細桔梗•桔梗崩し)•菊(菊花•菊一文字•三つ割菊•裏菊•菊水•杏葉菊•乱菊)•桐(五三桐•五七桐•大内桐•太閤桐)•くるみ•河骨(こうほね)•桜(影桜)•大根•竹(竹の丸•竹に雀)•笹(おかめ笹•三枚笹•丸に九枚笹•根笹•雪持笹•上杉笹•仙台笹)•棕櫚(しゅろ)•杉(一本杉•並び杉•杉巴)•薄(すすき)(薄の丸)•橘(丸に橘•向う橘)•丁子•蔦(鬼蔦•中陰蔦•結蔦)•鉄線(光琳鉄線)•なずな(雪なずな)•なでしこ•ひいらぎ•藤(上り藤•下り藤•藤の丸)•葡萄•牡丹(近衛牡丹•伊達牡丹•鍋島牡丹•蟹牡丹•杏葉牡丹)•松(一つ松•櫛松•三蓋松•松葉•松笠)•茗荷(抱き茗荷)•桃•竜胆(笹竜胆)•餅(黒餅)
動物	鴛鴦(おし)•兎(花兎)•馬(繋ぎ馬)•雁(二つ雁金•結び雁金•雁金菱)•雀(雀の丸•ふくら雀)•鷹(鷹の羽)•鶴(鶴の丸•舞鶴)•蝶(揚羽蝶•胡蝶)•鳩
天文•気象	日(日の丸)•月(三日月)•星(三つ星•八曜•九曜)•稲妻(稲妻菱)•雲•雪(雪輪)•波

や行

● ヤードポンド法（ほう）

長　さ

1インチ		2.54 cm
1フィート	12インチ	30.48 cm
1ヤード	3フィート	91.44 cm
1マイル	1,760ヤード	1.609 km

面　積

1エーカー	4,047 m²

体　積

1ガロン(英)	4.546 ℓ
1ガロン(米)	3.785 ℓ

質　量

1オンス		28.35 g
1ポンド	16オンス	453.6 g
1トン(英)	2,240ポンド	1.016 t
1トン(米)	2,000ポンド	0.9072 t

● 養老律令（ようろうりつりょう）

養老令の編名

1 官位令(かんいりょう)	16 宮衛令(くうえりょう・くえりょう)
2 職員令(しきいんりょう)	17 軍防令(ぐんぼうりょう)
3 後宮職員令(ごくうしきいんりょう・こうきゅうしきいんりょう)	18 儀制令(ぎせいりょう)
4 東宮職員令(とうぐうしきいんりょう)	19 衣服令(えぶくりょう・いふくりょう)
5 家令職員令(けりょうしきいんりょう・かれいしきいんりょう)	20 営繕令(ようぜんりょう・えいぜんりょう)
6 神祇令(じんぎりょう)	21 公式令(くうじきりょう・くしきりょう)
7 僧尼令(そうにりょう)	22 倉庫令(そうこりょう)
8 戸令(こりょう)	23 廐牧令(くもくりょう・きゅうぼくりょう)
9 田令(でんりょう)	24 医疾令(いしちりょう・いしつりょう)
10 賦役令(ふやくりょう・ぶやくりょう)	25 仮寧令(けにょうりょう)
11 学令(がくりょう)	26 喪葬令(そうそうりょう)
12 選叙令(せんじょりょう)	27 関市令(げんしりょう)
13 継嗣令(けいしりょう)	28 捕亡令(ぶもうりょう)
14 考課令(こうかりょう)	29 獄令(ごくりょう)
15 禄令(ろくりょう)	30 雑令(ぞうりょう)

ら行

● 六国史（りっこくし）

六　国　史

書　名	巻数	収載歴代	完成年	主な編者
日本書紀	30	(神代)〜持統	720	舎人親王
続日本紀	40	文武〜桓武	797	藤原継縄・菅野真道
日本後紀	40	桓武・淳和	840	藤原冬嗣・藤原緒嗣
続日本後紀	20	仁明	869	藤原良房・春澄善縄
日本文徳天皇実録	10	文徳	879	藤原基経・都良香・菅原是善
日本三代実録	50	清和・陽成・光孝	901	藤原時平・大蔵善行

律令制（りつりょうせい）

律令制(官制)

令外官（りょうげのかん）

令外官の主なもの

官　名	初置年代
内大臣(ないだいじん)	669
参議(さんぎ)	702
知太政官事(ちだいじょうかんじ)	703
中納言(ちゅうなごん)	705
按察使(あぜち)	719
征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)	794
勘解由使(かげゆし)	797 頃
観察使(かんさつし)	806
蔵人所(くろうどどころ)	810
検非違使(けびいし)	816 頃
修理職(しゅりしき)	818

暦法（れきほう）

暦法(日本で行われた暦法)

暦　　名	作　製　者	施　行　年
元嘉暦(げんかれき)	何承天(南朝宋)	692(持統天皇6年)
儀鳳暦(ぎほうれき)	李淳風(唐)	697(文武天皇元年)
大衍暦(たいえんれき)	一行(唐)	764(天平宝字8年)
五紀暦(ごきれき)	郭献之(唐)	858(天安2年)
宣明暦(せんみょうれき)	徐昂(唐)	862(貞観4年)
貞享暦(じょうきょうれき)	渋川春海	1685(貞享2年)
宝暦暦(ほうれきれき)	安倍泰邦ほか	1755(宝暦5年)
寛政暦(かんせいれき)	高橋至時・間重富	1798(寛政10年)
天保暦(てんぽうれき)	渋川景佑ほか	1844(弘化元年)
グレゴリオ暦		1873(明治6年)

ローマ字（じ）

ロ　ー　マ　字

大文字	小文字	名　称	大文字	小文字	名　称
A	a	エー	N	n	エヌ
B	b	ビー	O	o	オー
C	c	シー	P	p	ピー
D	d	ディー	Q	q	キュー
E	e	イー	R	r	アール
F	f	エフ	S	s	エス
G	g	ジー	T	t	ティー
H	h	エッチ	U	u	ユー
I	i	アイ	V	v	ヴィー
J	j	ジェー	W	w	ダブリュー
K	k	ケー	X	x	エックス
L	l	エル	Y	y	ワイ
M	m	エム	Z	z	ゼット

ローマ数字（すうじ）

ローマ数字

算用数字	ローマ数字
1	Ⅰ
2	Ⅱ
3	Ⅲ
4	Ⅳ
5	Ⅴ
6	Ⅵ
7	Ⅶ
8	Ⅷ
9	Ⅸ
10	Ⅹ
50	L
100	C
500	D
1000	M

ロシア文字（もじ）

ロ　シ　ア　文　字

大文字	小文字	名　　称	大文字	小文字	名　　称
А	а	アー	Р	р	エル
Б	б	ベー	С	с	エス
В	в	ヴェー	Т	т	テー
Г	г	ゲー	У	у	ウー
Д	д	デー	Ф	ф	エフ
Е	е	イェー	Х	х	ハー
Ё	ё	ヨー	Ц	ц	ツェー
Ж	ж	ジェー	Ч	ч	チェー
З	з	ゼー	Ш	ш	シャー
И	и	イー	Щ	щ	シチャー
Й	й	イー-クラートコエ		ь	硬音符
К	к	カー		ъ	ウイ
Л	л	エリ		ы	軟音符
М	м	エム	Э	э	エー
Н	н	エヌ	Ю	ю	ユー
О	о	オー	Я	я	ヤー
П	п	ベー			

● 渡り鳥（わたりどり）

日本列島の主な渡り鳥

夏鳥(夏，日本に来て繁殖)		冬鳥(日本で越冬)	
種　名	越冬地	種　名	繁殖地
ホトトギス	←東南アジア*	ナベヅル	←ロシア沿海州アムール地方
カッコウ	←東南アジア	マナヅル	←ロシア沿海州アムール地方
ヨタカ	←東南アジア	オオハクチョウ	←シベリア-タイガ帯
ブッポウソウ	←東南アジア	コハクチョウ	←シベリア北極圏
アカショウビン	←東南アジア	マガン	←シベリア北極圏
ツバメ	←東南アジア	オナガガモ	←シベリア•北米北部
オオルリ	←東南アジア	スズガモ	←シベリア北東部
コルリ	←東南アジア	コミミズク	←シベリア
キビタキ	←東南アジア	ツグミ	←シベリア-タイガ帯
ノビタキ	←東南アジア	アトリ	←シベリア-タイガ帯
センダイムシクイ	←東南アジア	ジョウビタキ	←シベリア南東部•ロシア沿海州
クロツグミ	←東南アジア	ヒレンジャク	←ロシア沿海州アムール地方
オオヨシキリ	←東南アジア	ハマシギ	←シベリア•アラスカ北極圏
オオジシギ	←オーストラリア南東部	アビ	←シベリア北極圏
コアジサシ	←ニュー-ギニア•オーストラリア	ユリカモメ	←シベリア北東部•カムチャツカ
オオミズナギドリ	←フィリピン群島•オーストラリア北部	セグロカモメ	←シベリア北部

旅鳥(渡りの途中，日本を通過)		
種　名	越冬地	繁殖地
アカエリヒレアシシギ	フィリピン•ニュー-ギニア	↔シベリア北極圏
チュウシャクシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア東部
キョウジョシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア•アラスカ北極圏
キアシシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア東部
オオソリハシシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
エリマキシギ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
トウネン	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
ダイゼン	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア北極圏
ムナグロ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア•アラスカ西部北極圏
メダイチドリ	東南アジア•オーストラリア	↔シベリア・カムチャツカ
トウゾクカモメ	オーストラリア•ニュー-ジーランド海域	↔シベリア北極圏
アジサシ	オーストラリア南部海域	↔シベリア東部
ハシボソミズナギドリ	北太平洋北部	↔オーストラリア南東部•タスマニア
エゾビタキ	東南アジア	↔シベリア南東部

越冬地・繁殖地は，日本列島に渡来する集団についてのものを示す．
*東南アジアは，東アジア・南アジアをも含む．

リーダーズ英和辞典 第2版について

凡　例

この辞書では英語の普通の語・固有名詞，接頭辞・接尾辞・連結形，略語・記号，外来語，および外国語のフレーズ・引用句を本文に示し，収録した主見出し・副見出し・成句などの収録数は約27万である．

I　見出し語

1.1　**a** 配列は原則としてアルファベット順としたが，単につづりが異なる語・追込み見出し・同義の複合語は比較的近くに配列される場合は必ずしもこの原則によらず一か所にまとめて示したので注意されたい．また -o- や -i- の付く連結形はほとんどこれらの連結母音を付けない形のところで並記するにとどめたので，そのつもりで検索されたい《たとえば phosphoro- は phosphor- のところに並記》．

b 数字を含む見出し語の配列は，それを数詞で書いた場合の順序とする《たとえば A1 はA one，4-H club は four-H club，F_1 layer は F-one layer》．

c St. および Mac，Mc の付く複合語の見出し語の配列は，それぞれ Saint，Mac とつづった場合の順序とする．

1.2　つづりが米英で異なるときは米式つづりを主とし，英式つづりを従として示した．米英のつづりの違いは縦線（ | ）を用い，米英の違いではないときの並記にはコンマ（ , ）を用いて区別した．異つづりを並記するときには，多くの場合共通する部分をハイフン (-) を用いて略記した．

例：**hon·or | hon·our**《米では概して honor とつづり，英では概して honour とつづる》

shash·lik, -lick, shas·lik《米英ともに3通りのつづりを用いる》

ep·i·logue,《米》**-log**《米英ともに epilogue のつづりが普通で，米ではさらに epilog ともつづる》

★ 派生語・複合語についてはいちいち英式つづりは示さず，また -ize と -ise はほとんど-ize のほうだけを示した．

1.3　同じつづりの語でも語源が異なるときは別見出しとし，右肩に小文字で番号を付けて区別した．

例：**chop**^{1} /tʃáp/ *v* (-**pp**-) *vt*, *vi* 《おの・なたなどで》ぶち切る，伐る；...

chop^{2} *vi*, *vt* (-**pp**-) ＜風が＞急に変わる，意見《など》を変える＜*about*＞；...

chop^{3} *n* [*pl*] あご（jaw）；[*pl*] 口腔，口，口もと，ほお；...

chop^{4} *n* 《インド・中国貿易における》官印，出港［旅行］免状；...

1.4　発音を表記しない見出し語には，本来のつづり字にはないアクセント記号を付けて，発音の強勢アクセントを示した（⇨II 発音）．

例：**es·cáp·er** // **láser prìnter** // **nón-prófit-màking**

★ つづり字本来のアクセントは **dé · jà vu** のように太く示した．

1.5　**a** 分節の切れ目は中点（·）で示した．発音の違いによって分節が異なる語は原則として第一に示した発音によって切った．語頭・語末の1音節をなす1字は切らないほうが望ましいので示さない．

例：**aphid** /éɪfəd, ǽf-/ 《第一の発音によるので a·phid であるが語頭の1字 a を切らない》

b 複合語・派生語については各要素間の切れ目と音節の切れ目が一致するときは，各要素の切れ目にのみ中点あるいはハイフンを示し，各要素の分節は了解されているものと見なして省略した．

例：**mémber·shìp** // **létter-pérfect** // **násal·ìze** // **de·násal·ìze**

1.6　省略しうる部分は（　）括弧で，言い換えできる部分は［　］括弧で示した．

例：**dévil's fòod (càke)** 《devil's food cake または devil's food》

aliméntary canál [tráct] 《alimentary canal または alimentary tract》

1.7　スワングダッシュ（～）は追込み見出し・語形変化・成句・用例中などで，本見出しと同一つづりの部分を表わすために用いた．

II　発音

2.1　発音は，国際音声記号を用い /　/ に入れて示した．音声記号の音価については，「発音記号表」(p.98) を参照．

2.2　母音記号の上にアクセント符 / ´ / を付けて第1アクセントを示し，/ ˊ / を付けて第2アクセントを，/ ` / を付けて第3アクセントを示した．

例：**add** /ǽd/ // **ars nova** /ɑ́ː*r*z nóʊvə/ // **rep·re·sent** /rèprɪzέnt/

2.3　**a**　発音の異形 (variant) はコンマ (,) で区切って並記した．その場合，共通の部分はハイフンを用いて省略した．

例：**qua·dru·pe·dal** /kwɑdrúːpəd'l, kwɑ̀drəpέd'l/
amus·ive /əmjúːzɪv, -sɪv/ ((/-/ は共通の部分 /əmjúː/ を表わす))

b　米音と英音が異なる場合は次の形式で示した．

例：**aunt** /ǽnt; ɑ́ːnt/ ((＝/米 ǽnt; 英 ɑ́ːnt/))
doll /dɑ́l, *dɔ́ːl/ ((＝/米英共通 dɑ́l，米には dɔ́ːl もある/))

c　発音が同じでアクセントだけが異なる場合，各音節を短いダッシュで表わし，アクセントの位置の違いを示した．

例：**gab·ar·dine** /gǽbə*r*dìːn, ˋ – ˊ/ ((/ˋ – ˊ/＝/gæ̀bə*r*díːn/))
im·port *v*/ɪmpɔ́ː*r*t/... —*n* /ˊ ˋ/ ((/ˊ ˋ/＝/ímpɔ̀ː*r*t/))

2.4　人・場合によって発音されない音は (　) 内に入れて示した．

例：**at·tempt** /ətέm(p)t/ ((＝/ətέmpt, ətέmt/))
sta·tion /stéɪʃ(ə)n/ ((＝/stéɪʃən, stéɪʃn/))

ただし，/ə/ が省略された場合には，次の音が /l/，/m/，/n/ のいずれかであれば，音節主音 (syllabic) になり，音節数は不変である．

2.5　強い形 (strong form) もあるが弱い形 (weak form) を常用するものは，次のように弱い形を先に示した．

例：**at** /ət, æ̀t, ǽt/ // **for** /fə*r*, fɔ̀ː*r*/

2.6　次のような場合は，繰返しを避けて先行させた語のみに発音を示した．

例：**eth·nic** /έθnɪk/, **-ni·cal** ((**ethnic** /έθnɪk/, **ethnical** /έθnɪk(ə)l/))
equiv·a·lence /ɪkwív(ə)ləns/, **-cy** ((**equivalence** /ɪkwív(ə)ləns/, **equivalency** /ɪkwív(ə)lənsi/))

2.7　同一見出し語内における並記見出し語・変化形・異品詞・追込み見出しにおいては，通例その異なる部分のみを表記し，同じ部分は /-/ で略記した．

例：**Ae·gos·pot·a·mi** /ìːgəspátəmàɪ/, **-mos** /-məs/ *n*
ae·ci·um /íːsiəm, -ʃi-/ *n* (*pl* **-cia**/-ə/)
ar·tic·u·late /ɑːrtíkjələt/ *a* ... — *vt*, *vi* /-lèɪt/ ...

2.8 複合語のアクセントを示すために，その構成要素としての一つの単語全体の発音を長いダッシュで表わした．
例：**A-bomb** /éɪ ─̀─/ 《= /éɪbàm/》
ABO blood group /èɪbìːóʊ ─́─ ─̀─/ 《= /èɪbìːóʊ blʌ́d grùːp/》

2.9 **a** 外来語の発音は近似の英語音で示した．ただし，フランス語とドイツ語に由来するものについては原音を示した場合もある．その場合，*F* または *G* を付して，それぞれフランス語またはドイツ語の原音であることを示した．
例：**genre** /*F* ʒɑ̃ːr/
Welt /*G* vɛ́lt/
Ab·é·lard /ǽbəlɑ̀ːrd; *F* abelaːr/ 《= /英語音 ǽbəlɑ̀ːrd; フランス語原音 abelaːr/》
Augs·burg /ɔ́ːgzbə̀ːrg, áugzbʊ̀ərg; *G* áʊksbʊrk/ 《= /英語音 ɔ́ːgzbə̀ːrg, áugzbʊ̀ərg; ドイツ語原音 áʊksbʊrk/》

b フランス語の複数形などの発音が主見出しの発音と同一の場合は/–/で示した．
例：**va·let de cham·bre** /*F* valɛ dəʃ ɑ̃ːbr/ (*pl* **va·lets de cham·bre** /–/)

2.10 直前の見出し語と発音・つづりおよび分節が同じ場合には，発音・アクセント表記および分節を省略した．なお，大文字と小文字の違いは，ここではつづりの違いとはみなさない．
例：**bear**[1] /bέər, *bǽr/ **bear**[2]
grace /gréɪs/ **Grace**
Fitz·ger·ald /fitsdʒέr(ə)ld/ **FitzGerald**

直前の見出しと分節だけが異なる場合には分節だけを示し発音表記を省略した場合がある．
例：**ten·der**[1] /tέndər/ **tend·er**[2] **ten·der**[3]

2.11 次にあげる種類の見出し語には，つづり字の上にアクセントが示してあるだけで発音表記はないが，構成要素それぞれの発音は独立見出しで与えられているから，その発音を合成し，示されたアクセント型で発音するものとする．

次のページにつづく

a 二語（以上の）見出し

例：**áction stàtion**《action, stationは独立に見出しとしてあり，発音はそれぞれ /ǽkʃ(ə)n/, /stéɪʃ(ə)n/ であるから，これを合成して示されたアクセント型を付与すれば /ǽkʃ(ə)n stèɪʃ(ə)n/ となる》

ábsentee bállot《absenteeは単独では /æ̀bs(ə)ntíː/ であるが，全体としては /ǽbs(ə)ntìː bǽlət/ と発音することを示す》

独立見出しとしては記載されていない語については，その部分だけ発音を示した．

例：**Brám·ah lòck** /brɑ́ːmə-, *brǽm-/

b 複合語

例：**bláck·bìrd** // **fínger·prìnt** // **out·dóors**

複合語の構成要素の一部の発音が独立見出しの発音と異なるときはその要素の発音を示した．

例：**bóok·man** /-mən, -mæ̀n/ 《=/bʊ́kmən, bʊ́kmæ̀n/》

複合語の発音の一部を示すときは，その要素に第1アクセントがあれば見出し語の上にこれを示し，これ以外は示さない．

例：**os·cíl·lo·gràph** /ɑsílə-/ // **frac·to·cúmulus** /fræ̀ktoʊ-/

c 派生語および屈折形の中で，語幹の発音・つづり・分節に影響を及ぼさず，それ自身一定した発音をもっている接辞の付いているものの発音も省略した．また，所有格および複数の s の発音は省略した．

例：**accépt·ance** // **áct·ing** // **kínd·ness** // **státes·man** /-mən/ // **Súndays**

d 音節の増加をもたらさない文字の付加によってでき上がった語は，発音を示さず，全体の分節とアクセントだけを示した．

例：**com·préssed** // **màth·e·mát·ics**

派生または屈折によってサイレントの e が脱落したり，y が i に変わったり，子音字が重なったりした場合には，発音を省略してアクセントのみ示したが，初出の場合にかぎって語全体の分節を示した．

例：**báb·bler** // **com·pút·er** // **háp·pi·ness** // **trans·mít·ter** // **be·gínning** // **réd-crèst·ed póchard**

e 派生または屈折によって同じ子音字が重なった場合，原則として発音は単一である．

例：**spécial·ly** 《=/spéʃ(ə)li/》 // **cút·ter** 《=/kʌ́tər/》 // **be·gín·ner** 《=/bɪgínər/》

f 連結形を含む語で，連結形の発音が一定している場合．

例：**hỳdro·therapéutics** // **mòno·mánia** // **nèo·clássic**

★（1）発音を省略した見出しで，構成要素の切れ目（と同時に分節点）を示す中点（·）は構成の順序とは必ずしも関係がない．

例：**dis·assémbler**《構成の順序は（dis+assemble）+er》

un·kínd·ness《構成の順序は（un+kind）+ness》

（2）発音を表記しない見出し語に対する発音の異形を示すために/,…/ /;…/ などを用いた．

例：**dí·amìde** /, daɪǽməd/《=/dáɪəmàɪd, daɪǽməd/》

àm·bu·la·tó·ri·ly /;ǽmbjulət(ə)rɪli/《=/æ̀mbjələtɔ́ːrəli; ǽmbjʊlət(ə)rɪli/》

2.12 発音表記を省略できる語でも紛らわしいときには註として発音を添えたものがある．

例：**àr·che·týpical** /-típ-/ // **léad tìme** /líːd-/, // **léad·wòrk** /lὲd-/ // **wéllréad** /-rέd/

III　品詞

3.1　品詞表示の略語については「略語表」（p.93）を参照．

3.2　一語で2品詞以上にわたる場合，—— を用いて同一項内で品詞の分かれ目を示した．

IV　語形変化

4.1　不規則な変化形のつづり・発音は（　）括弧の中で以下のように示した．ただし複合語・派生語については必ずしも示さない．

4.2　名詞の複数形

例：**the·sis** /θíːsəs/ *n*（*pl* **-ses** /-sìːz/）

goose /gúːs/ *n*（*pl* **geese** /gíːs/）

deer /díər/ *n*（*pl* ~, **~s**）

pi·ano /piǽnoʊ, pjæn-/ n（*pl* **-án·os**）

4.3　**a**　不規則動詞の過去形；過去分詞；-ing形

例：**run** /rʌ́n/ *v*（**ran** /rǽn/; **run; rún·ning**）

cut /kʌ́t/ *v*（**~; cút·ting**）

sing /síŋ/ *v*（**sang** /sǽŋ/,《まれ》**sung** /sʌ́ŋ/; **sung**）

次のページにつづく

b 語幹の子音字を重ねる場合は次のように示した．

例：**flip** /flíp/ *vt*, *vi* (**-pp-**) ⦅**-pp-** = **flípped; flíp·ping**⦆

pat[1] /pǽt/ *v* (**-tt-**) ⦅**-tt-** = **pát·ted; pát·ting**⦆

trav·el /trǽv(ə)l/ *v* (**-l-** | **-ll-**) ⦅**-l-** | **-ll-** = 《米》 **tráv·eled; tráv·el·ing** | （《英》 **tráv·elled; tráv·el·ling**⦆

pic·nic /píknɪk/ ... ―― *vi* (**-nick-**) ⦅**-nick-** = **píc·nicked; píc·nick·ing**⦆

4.4 形容詞・副詞の比較級；最上級

単音節語には -er; -est を付け，2音節以上の語には more; most を付けるのを通則とするので，通則に従う変化は示さない．これに反するもの，またはつづり・発音の注意すべきものは次のように示した．

例：**good** /gʊ́d/ *a* (**bet·ter** /bɛ́tə*r*/; **best** /bɛ́st/)

big[1] /bíg/ *a* (**bíg·ger; bíg·gest**)

long[1] /lɔ́(ː)ŋ, lάŋ/ *a* (**~·er** /-ŋg-/; **~·est** /-ŋg-/)

V 語義と語法

5.1 多義語・重要語については，通例アラビア数字 1 2 3 を用いて語義の分類を示した．さらに上位区分として A B を用い，下位区分として a b c を用いた（⇨本文 the）．

5.2 訳語の前に［ ］括弧を用いて文法・語法上の指示・説明を添えた．

例：［**C-**］［**s-**］⦅大文字または小文字で始まることを示す⦆ // ［**the ~**］［**a ~**］⦅冠詞 **the, a** が付く⦆ // ［ᵘ***pl***］⦅普通は複数形で用いる⦆，［**~ s**］⦅見出しに s が付く⦆ // ［***<sg>***］［***<pl>***］［***<sg/pl>***］⦅構文上の単数・複数⦆ // ［***pass***］［***pp***］［***pred***］

5.3 小型頭文字（SMALL CAPITALS）は参照すべき見出し語を示す．紙面の節約のため，語義（の一部）・説明語（句）・相互参照など随所に用いたので十分活用されたい．ただし，用例で用いたものは見出し語の存在を示すインデクスに過ぎない．

5.4 **a** 用法指示ラベルには《 》を用いた（⇨「略語表」(p.93)）．《古》《まれ》，《スコ》《豪》《方》，《詩》《口》《俗》などの用法指示は絶対的なものではなく，いずれもおおよその傾向を示すにとどまり，またその傾向の程度もまちまちで決して一様ではない．《米》《英》の表記はそれぞれ *，" の記号で示した．《・英古》《・英方》のように中点（・）を付したものはそれぞれ「《英》では《古》」「《英》では《方》」の意を表わす．

b 学術用語などの分野指示には〖　〗を用いた．〖医〗〖昆〗〖哲〗などの指示は，必ずしも専門用語であることを示すものではない．たとえば〖植〗によって植物学の学術用語であることを示すこともあれば，単に語義が植物であることを示すだけのこともある．

c 制度・団体などの国籍を示すのに〖　〗を用いた．〖米〗〖英〗はそれぞれ《米国の》《英国の》の意である．〖アイル〗は《アイルランドの》の意であり，《アイル》がことばとしてIrishであることを示すものと異なる．

5.5 訳語では＜　＞括弧を用いて，動詞の主語・目的語や形容詞と名詞の連結などを示した．

例：**date**[1] ... ―― *vt* **1 a** ＜手紙・文書＞に日付を入れる；＜事件・美術品など＞の日時 [年代] を定める；... **2***《口》＜異性＞と会う約束をする＜*up*＞，... とデートする [つきあう]．

easy ... **a** ... **2 a** 安楽な，気楽な，楽な (at ease)；＜気分・態度などの＞くつろいだ (frank)；...；＜衣服などが＞きつくない，ゆるい:... **3** ＜傾斜が＞なだらかな；＜談話・文体などの＞すらすらした；...；＜速度などが＞ゆるやかな：... **4 a** ＜規則・条件など＞きびしくない，ゆるやかな． **b**〖商〗＜商品が＞供給豊富な，＜市場の取引が＞緩慢な...

5.6 見出し語と連結する前置詞・副詞・接続詞を訳語のあとに ＜*in*, *at*＞＜*on*＞＜*that*＞ のように示した．

例：**acquaint** ... *vt* ＜人＞に知らせる，...，告げる＜*with* a fact, *that*, *how*＞；...

capable ... *a* **1 a** ...；＜...に必要な＞実力 [資格] のある＜*for*＞：... **2 b** ...，＜...に＞ 耐えうる，＜...を＞入れうる＜*of*＞：...

familiarity ... *n* **1** よく知っていること，精通，熟知，知悉＜*with*＞．...

mine[2] ... ―― *vt* **1 a** ...；＜資源などを＞枯渇させる＜*out*＞．...

5.7 同意語 (synonym) は訳語のあとに (　) 括弧で，反意語 (antonym) は (opp....) の形で，説明語句は訳語の前または後ろに《　》を用いて示した．

次のページにつづく

5.8 語義・訳語に用いた（　）括弧は（　）内を省略しうることを示し，［　］括弧は先行の語（句）と置き換えうることを示す．

例： **gránd-dúcal** *a* 大公（妃）の；帝政ロシアの皇子［皇女］の．
《「大公の，大公妃の；帝政ロシアの皇子の，帝政ロシアの皇女の」の意》

5.9 随所に★を用いて，(1)発音・つづり字・語法・文法・慣用その他についての補足的な注意・説明・参考事項などを示し（⇨本文 A², BE, SOMEONE, TWENTY-THREE, etc.），(2)類語を一か所に列記して各語間の関連を明確にした（⇨本文 ARMY, BEAUFORT SCALE, METER¹, TYPE, etc.）．

VI　用例と成句

6.1 限られた紙面になるべく多くの語義を収載する方針を採ったために，全体に用例を相当割愛した．用例および成句中での（　）括弧，［　］括弧の用法は，見出し語（⇨1.6）および語義・訳語（⇨5.8）の場合と同じである．

a 用例は語義のあとをコロン（：）で区切って示し，用例と用例の区切りは斜線（／）で示した．

b 用例および成句中では，3字以上の見出し語相当のつづりにはスワングダッシュ（～）を用いた．用例中の見出し語の変化形，および注意すべき冠詞・前置詞・副詞・接続詞などはイタリック体で示し，その他はローマン体で示した．小文字 c で始まる見出し語の項で ***C~*** とあれば大文字で始まることを示し，逆に大文字 S で始まる見出しの項で ***s~*** とあれば小文字で始まることを示す．

c 用例は必ずしも全訳せずに必要箇所のみを訳出し，また意味が自明であるときはまったく訳を示さないこともある．

6.2 **a** 成句はボールド体で，成句中の見出し語部分の品詞に従って，その品詞の記述の最後に一括して示した．ただし，品詞分類の煩わしい語については，品詞の別を無視して幾つかの品詞の成句をまとめて示したものもある．

b 成句の並べ方はアルファベット順を原則としたが，類縁の成句などは一か所にまとめたものもあるので注意されたい．

c 成句の意味分類はおおむねセミコロン（；）で区切るにとどめたが，これでは煩雑になる場合，および相互参照に便利になる場合には **(1) (2) (3)**と分類した．また，時として成句の品詞を示したものもある．

例：**make¹** … *v* … **~ out**（1）[通例 can, could を伴って]（(なんとか)）理解する，…（2）起草する，…；詳細に描く.（3）信じさせる，証明する，…；《口》見せかける，ふりをする<*that*>：…（4）《口》（うまく）やっていく，成功する<*with*>；<人と>（うまく）やっていく<*with*>；やりくりする：…（5）<金を>こしらえる；まとめ上げる.（6）*《俗》(女を) うまくモノにする，…

draw … *v* … **~ on**（*vt*）（1）引き上げる；<手袋・靴下などを>はめる，履く…（2）<人を>誘い込む，<…するように>励ます<*to do*>；…（3）<手形を>…あてに振り出す…（*vi*）（4）（源を）…にたよる，…を利用する；…に要求する： …（5）近づく，迫る（approach）；<船が>他船に近づく.

d 成句に添える用例の示し方は一般の語義に添える用例の扱いと同じである（⇨6.1）.

6.3 **a** 用例および成句中に用いた one, one's, oneself は，その位置に文の主語と同一の人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例：**mas·ter¹** … *n* … **make** one**self ~ of** …に熟達する, …を自由に使いこなす.

《たとえば *He* made *himself* ~ of… となる》

b 用例および成句中に用いた sb または sth は，その位置に文の主語と異なる人または物を表わす名詞または代名詞がはいることを示す.

例：**bag¹** … *n* … **give**［**leave**］sb **the ~ to hold** 人を窮境に見捨てる.

《たとえば *Jack* gave *her* the – to hold. となる》

VII　語源

7.1　語源は各語の記述の最後に［　］括弧に囲んで示した．記述は，現在の語義・語形の理解に役立つことを主眼とし，必要に応じてセミコロン（；）のあとに説明を加えた．語義上特筆すべきことがない場合，言語名の表示にとどめる．

7.2　［<］は derivation を示す．語源欄最初の（言）語は直接のもとを示すが，最後は最終語源とは限らない．借入経路を省略した場合はコンマを入れて［...,< ...］で示す．

例：**turban**［MF, < Turk < Pers; cf. TULIP］

7.3　小型頭文字は，関連語の語源欄・成句参照を意味する．直前・直後の語またはその語源欄の参照はそれぞれ［↑］［↓］で示す．

例：**antsy**［cf. have **ANTs** in one's pants］

7.4　［？］は語源が不確実または不明の語に付し，必要に応じて初出世紀・関連語などを示す．また，借入源を特定言語に確定できない場合，地域名を（　）内に示す．

例：**tag²**［C18<?］
nasty［ME<?;cf. Du *nestig* dirty］
banana［Sp or Port<（Guinea）］

VIII　諸記号の用法

8.1　諸種の括弧

a（　）

（1）括弧内が省略されうることを示す（⇨1.6，2.4，5.8，6.1）．
（2）見出し語の語形変化を示す（⇨IV）．
（3）同意語・反意語・参照語（句）を示す（⇨5.7）．
（4）人の生没年・歴史年代や，漢字のふりがな・仮名の送り漢字などを示す．

b［　］

（1）語（句）の入れ換えを示す（⇨1.6，5.8，6.1）．
（2）語法などの指示を示す（⇨5.2）．

c［　］　全記述の末尾において語源を示す（⇨VII）．
語義・句義の末尾において意味の由来を示す．
略語中において言語名や外国語のつづりを示す．

d 《 》

（1） 語義・訳文などの前後に置いて限定的・補足的説明を示す（⇨5.7）.

（2） 関連語, 特に関連形容詞を示す.

例：**star** /stάːr/ n **1 a** 星, 恒星（cf. PLANET）《cf. ASTRAL. SIDEREAL. STELLER *a*》；…

e / / 発音を示す（⇨II）

f < > の用法については5.5, 5.6を参照.

g 《 》 の用法については5.4を参照.

h 〘 〙 の用法については5.4を参照.

8.2 **a** ハイフンは次のように用いた.

（1） 見出し語 《-, –》

複合語	**dóuble-lóck** *vt* …
接頭辞·接尾辞·連結形	**ad-** // **-ics** // **Russo-** // **-phobia**
一部省略	**bìo·chémical, -chémic** *a* 生化学の, 生化学的な. —— n ［-cal］生化学製品［薬品］. **-ical·ly** *adv*
つづりの改行の切れ目	**Ca·mel·o·par·da·lis** /kəmɛ̀ləpάːrd(ə)ləs/, **Camel·o·par·dus** /kəmɛ̀ləpάːrdəs/ 〘天〙きりん座…

（2） 見出し語以外 《-, –》

つづり本来のハイフン	**fa·mous** /féɪməs/ **a 1** 有名な, 名高い（well-known）…
発音表記の一部省略	**ole·ic** /oʊlíːɪk, -léɪ-; óʊli-/ *a* 油の；〘化〙オレイン酸の.
つづり·発音表記の改行の切れ目	**Do·lo·res** /dəlɔ́ːrəs/ ドローレス《女子名；愛称 Lola, Loleta, Lolita》）.［Sp＜L=sorrows（of the Virgin Mary）］. **al·do-ste·rone** /ældάstəròʊn, ǽldoʊstɛ́əròʊn, æ̀ldoʊstəróʊn, ˊ–––ˋ/ *n* 《生化》アルドステロン…

次のページにつづく

b 小型頭文字は参照すべき見出し語を示す（⇨5.3，7.3）.

c （1）u，o，s はそれぞれ *u*sually（通例），*o*ften（しばしば），*s*ometimes（時に）を記号化したもので，次のように用いた.

例：[u*pl*]《通例複数で用いる》// [oP–]《しばしば P で始まる》//
[u~*s*, ＜*sg*＞]
《通例 -s 付きの形で構文上は単数扱い》

なお，発音表記に用いるときも同じ.

（2）*, " はそれぞれ《米》,《英》の意.

（3）+（プラス）は派生語などの語義記述の前において，「記述するまでもない派生的な意味に加えて」の意.

d その他

~, ~ 見出し語と同一のつづりを表わす（⇨1.7，6.1b）.

☞ 参照すべき項目を示す.

★ 注意事項・一括列記（⇨5.9）

☆ 地名の説明中で，都市名の前に付けて首都・州都・中心都市を示す.

… 語義・用例・訳文中において，…の所にいろいろな語が該当することを示す.「instead of… の代わりに」のように英語・日本語の共通部分にはこれを繰り返さない.

○ 略語・記号の見出しで，そのもととなった2語以上から成る語句の前に付けて，それが見出しにあることを示す.

例：**BA** 野 ○batting average.《batting average の見出しがある》.

* 語源の記述で，例証されないが同族語の対応などから理論的に再建された語形であることを示す.

例：**la·dy** …［OE *hlæ-fdige* loaf kneader（*hla-f* bread, **dig-* to knead; cf. DOUGH）; cf. LORD］

略　語　表

a	adjective
adv	adverb
attrib	attributive
comb form	combining form
compd	compound
conj	conjunction
derog	derogatory
dial	dialect
dim	diminutive
euph	euphemism
fem	feminine
fig	figurative
freq	frequentative
imit	imitative
impv	imperative
int	interjection
inter	interrogative
iron	ironical
joc	jocular
masc	masculine
n	noun
《詩》	poetical
《古》	archaic
《廃》	obsolete
《口》	colloquial, informal
《文》	literary
《俗》	slang
《学俗》	school slang
《海俗》	sailors’ slang
《韻俗》	rhyming slang
《卑》	vulgar, taboo
《まれ》	rare
《幼児》	nursery
《方》	dialectal
〔医〕	医学
〔遺〕	遺伝学
〔印〕	印刷
〔韻〕	韻律学
〔宇〕	宇宙
〔映〕	映画
〔泳〕	水泳
〔園〕	園芸
〔音〕	音声学
〔化〕	化学
〔海〕	海語，航海
〔解〕	解剖学
〔画〕	絵画
〔楽〕	音楽
〔カト〕	カトリック
〔眼〕	眼科(学)

neg	negative
obj	objective
p	past
pass	passive
pl	plural
poss	possesive
pp	past participle
pred	predicative
pref	prefix
prep	preposition
pres p	present participle
pron	pronoun
rflx	reflexive
sb	somebody
sg	singular
sth	something
suf	suffix
v auxil	auxiliary verb
vi	intransitive verb
voc	vocative
vt	transitive verb
《米》，*	Americanism
《英》，"	Briticism
《スコ》	Scottish
《北イング》	North England
《アイル》	Irish
《ウェールズ》	Welsh
《ニューイング》	New England
《豪》	Australian
《ニュ》	New Zealand
《インド》	Anglo-Indian
《カナダ》	Canadian
《南ア》	South Africa
《カリブ》	Carib
〔気〕	気象(学)
〔機〕	機械
〔旧約〕	旧約聖書
〔キ教〕	キリスト教
〔ギ神〕	ギリシア神話
〔ギ正教〕	ギリシア正教
〔魚〕	魚類(学)
〔空〕	航空
〔軍〕	軍事
〔経〕	経済(学)
〔劇〕	演劇
〔建〕	建築(学)
〔言〕	言語(学)
〔工〕	工学
〔光〕	光学

次のページにつづく

〔鉱〕	鉱物(学)，鉱山
〔古ギ〕	古代ギリシア
〔古史〕	古代史
〔古生〕	古生物
〔古ロ〕	古代ローマ
〔昆〕	昆虫(学)
〔財〕	財政(学)
〔史〕	歴史(学)
〔歯〕	歯科(学)
〔紙〕	製紙
〔写〕	写真
〔社〕	社会学
〔狩〕	狩猟
〔宗〕	宗教
〔修〕	修辞学
〔商〕	商業
〔晶〕	結晶
〔城〕	築城
〔植〕	植物(学)
〔心〕	心理学
〔人〕	人類学
〔新約〕	新約聖書
〔数〕	数学
〔スポ〕	スポーツ
〔生〕	生物(学)
〔政〕	政治(学)
〔聖〕	聖書
〔生化〕	生化学
〔生保〕	生命保険
〔染〕	染色，染料
〔測〕	測量
〔地〕	地質学
〔畜〕	畜産
〔地物〕	地球物理学
〔彫〕	彫刻
〔鳥〕	鳥類(学)
〔哲〕	哲学
〔電〕	電気
〔電算〕	電算機
〔天〕	天文学
〔統〕	統計学
〔動〕	動物(学)
〔図書〕	図書館(学)
〔日〕	日本
〔農〕	農業，農学
〔馬〕	馬術
〔バスケ〕	バスケットボール
〔バド〕	バドミントン
〔美〕	美術
〔フェン〕	フェンシング
〔服〕	服飾
〔フット〕	フットボール
〔プロ〕	プロテスタント
〔保〕	保険
〔ボウル〕	ボウリング
〔ボク〕	ボクシング
〔法〕	法学，法律(学)
〔砲〕	砲術
〔紡〕	紡績
〔簿〕	簿記
〔紋〕	紋章(学)
〔野〕	野球
〔冶〕	冶金
〔薬〕	薬学
〔郵〕	郵便，郵趣
〔窯〕	窯業
〔理〕	物理学
〔力〕	力学
〔林〕	林業
〔倫〕	倫理学
〔レス〕	レスリング
〔労〕	労働
〔ロ神〕	ローマ神話
〔論〕	論理学

言 語 名 の 略 形

AF	Anglo-French
(Afr)	Africa
Afrik	Afrikaans
Akkad	Akkadian
AL	Anglo-Latin
Alb	Albanian
Amh	Amharic
AmInd	American Indian
AmSp	American Spanish
AN	Anglo-Norman
Arab	Arabic
Aram	Aramaic
Assyr	Assyrian
(Austral)	Australia
Bulg	Bulgarian
CanF	Canadian French
Cat	Catalan
Celt	Celtic
Chin	Chinese
Copt	Coptic
Corn	Cornish
Dan	Danish
Du	Dutch
E	English
Egypt	Egyptian
F	French
Finn	Finnish
Flem	Flemish
Frank	Frankish
Fris	Frisian
G	German
Gael	Gaelic
Gk	Greek
Gmc	Germanic
Goth	Gothic
Haw	Hawaiian
Heb	Hebrew
Hind	Hindustani
Hung	Hungarian
Icel	Icelandic
IE	Indo-European
Ir	Irish
It	Italian
Jav	Javanese
Jpn	Japanese
L	Latin
LaF	Louisiana French
Latv	Latvian
LG	Low German
Lith	Lithuanian
M...	Middle/Medieval
MDu	Middle Dutch
ME	Middle English
MexSp	Mexican Spanish
MHG	Middle High German
MLG	Middle Low German
ModGk	Modern Greek
ModHeb	Modern Hebrew
NL	Neo-Latin
Norw	Norwegian
O...	Old
ODu	Old Dutch
OE	Old English
OF	Old French
OHG	Old High German
ON	Old Norse
OS	Old Saxon
Pers	Persian
Pol	Polish
Port	Portuguese
Prov	Provençal
Russ	Russian
Sc	Scottish
Scand	Scandinavian
Sem	Semitic
Serb	Serbian
Serbo-Croat	Serbo-Croatian
Skt	Sanskrit
Slav	Slavonic
Sp	Spanish
Swed	Swedish
Syr	Syriac
Turk	Turkish
(WInd)	West Indies
Yid	Yiddish

Shakespeare 作品の略形

All's W *All's Well That Ends Well*
Antony *Antony and Cleopatra*
As Y L *As You Like It*
Caesar *Julius Caesar*
Corio *Coriolanus*
Cymb *Cymbeline*
Errors *The Comedy of Errors*
Hamlet *Hamlet*
1 Hen IV *1 Henry IV*
2 Hen IV *2 Henry IV*
Hen V *Henry V*
1 Hen VI *1 Henry VI*
2 Hen VI *2 Henry VI*
3 Hen VI *3 Henry VI*
Hen VIII *Henry VIII*
John *King John*
Kinsmen *The Two Noble Kinsmen*
Lear *King Lear*
Love's L L *Love's Labour's Lost*
Lucrece *The Rape of Lucrece*
Macbeth *Macbeth*
Measure *Measure for Measure*
Merch V *The Merchant of Venice*
Merry W *The Merry Wives of Windsor*
Mids N D *A Midsummer Night's Dream*
Much Ado *Much Ado about Nothing*
Othello *Othello*
Pericles *Pericles*
Rich II *Richard II*
Rich III *Richard III*
Romeo *Romeo and Juliet*
Shrew *The Taming of the Shrew*
Sonnets *Sonnets*
Tempest *The Tempest*
Timon *Timon of Athens*
Titus *Titus Andronicus*
Troilus *Troilus and Cressida*
Twel N *Twelfth Night*
Two Gent *The Two Gentlemen of Verona*
Venus *Venus and Adonis*
Winter's *The Winter's Tale*

英訳聖書（AV）書名の略形

Acts *The Acts of the Apostles*
Amos *Amos*
1 Chron *The First Book of the Chronicles*
2 Chron *The Second Book of the Chronicles*
Col *The Epistle of Paul the Apostle to the Colossians*
1 Cor *The First Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians*
2 Cor *The Second Epistle of Paul the Apostle to the Corinthians*
Dan *The Book of Daniel*
Deut *The Fifth Book of Moses, called Deuteronomy*
Eccles *Ecclesiastes, or the Preacher*
Ephes *The Epistle of Paul the Apostle to the Ephesians*
Esth *The Book of Esther*
Exod *The Second Book of Moses, called Exodus*
Ezek *The Book of the Prophet Ezekiel*
Ezra *Ezra*
Gal *The Epistle of Paul the Apostle to the Galatians*
Gen *The First Book of Moses, called Genesis*
Hab *Habakkuk*
Hag *Haggai*
Heb *The Epistle of Paul the Apostle to the Hebrews*
Hos *Hosea*
Isa *The Book of the Prophet Isaiah*
James *The General Epistle of James*

Jer *The Book of the Prophet Jeremiah*
Job *The Book of Job*
Joel *Joel*
John *The Gospel according to St. John*
1 John *The First Epistle General of John*
2 John *The Second Epistle of John*
3 John *The Third Epistle of John*
Jonah *Jonah*
Josh *The Book of Joshua*
Jude *The General Epistle of Jude*
Judges *The Book of Judges*
1 Kings *The First Book of the Kings*
2 Kings *The Second Book of the Kings*
Lam *The Lamentations of Jeremiah*
Lev *The Third Book of Moses, called Leviticus*
Luke *The Gospel according to St. Luke*
Mal *Malachi*
Mark *The Gospel according to St. Mark*
Matt *The Gospel according to St. Matthew*
Mic *Micah*
Nah *Nahum*
Neh *The Book of Nehemiah*
Num *The Fourth Book of Moses, called Numbers*
Obad *Obadiah*
1 Pet *The First Epistle General of Peter*
2 Pet *The Second Epistle General of Peter*
Philem *The Epistle of Paul to Philemon*
Philip *The Epistle of Paul the Apostle to the Philippians*
Prov *The Proverbs*
Ps *The Book of Psalms*
Rev *The Revelation of St. John the Divine*
Rom *The Epistle of Paul the Apostle to the Romans*
Ruth *The Book of Ruth*
1 Sam *The First Book of Samuel*
2 Sam *The Second Book of Samuel*
Song of Sol *The Song of Solomon*
1 Thess *The First Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians*
2 Thess *The Second Epistle of Paul the Apostle to the Thessalonians*
1 Tim *The First Epistle of Paul the Apostle to Timothy*
2 Tim *The Second Epistle of Paul the Apostle to Timothy*
Titus *The Epistle of Paul to Titus*
Zech *Zechariah*
Zeph *Zephaniah*

外典（Apocrypha）

Baruch *Baruch*
Bel and Dragon *The History of the Destruction of Bel and the Dragon*
Ecclus *The Wisdom of Jesus the Son of Sirach, or Ecclesiasticus*
1 Esd *I Esdras*
2 Esd *II Esdras*
Judith *Judith*
1 Macc *The First Book of the Maccabees*
2 Macc *The Second Book of the Maccabees*
Pr of Man *The Prayer of Manasses*
Rest of Esther *The Rest of the Chapters of the Book of Esther*
Song of Three Children *The Song of the Three Holy Children*
Susanna *The History of Susanna*
Tobit *Tobit*
Wisd of Sol *The Wisdom of Solomon*

発　音　記　号　表

/記号/	例　語
/aɪ/	**i**ce, m**i**ne, sk**y**
/aʊ/	**ou**t, b**ou**nd, c**ow**
/ɑ; ɔ/	**o**x, **o**otton
/ɑː/	**a**lms, f**a**ther, **ah**
/ɑːr/	**ar**t, c**ar**d, st**ar**
/æ/	**a**ttic, h**a**t
/æ; ɑː/	**a**sk, br**a**nch
/b/	**b**ed, ru**bb**er, ca**b**
/d/	**d**esk, ru**dd**er, goo**d**
/ʤ/	**g**em, a**dj**ective, ju**dge**
/ð/	**th**is, o**th**er, ba**the**
/ɛ/	**e**nd, b**e**ll
/eɪ/	**ai**m, n**a**me, m**ay**
/ɛər, *ær/	**air**, c**are**, h**eir**, pr**ayer**, th**ere**
/ə/	**a**bil**i**ty, sil**e**nt, lem**o**n, **u**pon, banan**a**
/ər/	butt**er**, act**or**
/əːr/	**ear**n, b**ir**d, st**ir**
/əː, ʌ; ʌ/	c**ou**rage, h**u**rry, n**ou**rish
/f/	**f**ox, o**ff**er, i**f**
/g/	**g**um, be**gg**ar, bi**g**
/h/	**h**ouse, be**h**ind
/ɪ/	**i**nk, s**i**t, c**i**ty
/i/	eas**y**, cur**i**ous
/iː/	**ea**t, s**ea**t, s**ee**
/ɪər/	**ear**, b**ear**d, h**ear**
/j/	**y**es
/k/	**c**all, lu**ck**y, des**k**
/l/	**l**eg, me**l**on, ca**ll**

/記号/	例　語
/m/	**m**an, su**mm**er, ai**m**
/n/	**n**ote, di**nn**er, moo**n**
/ŋ/	i**n**k, si**ng**
/oʊ; əʊ/	**o**pen, m**o**st, sh**ow**
/ɔ(ː), ɑ/	d**o**g, **o**range, s**o**ft
/ɔː/	**a**ll, f**a**ll, s**aw**
/ɔːr/	**or**der, c**or**d, m**ore**
/ɔɪ/	**oi**l, c**oi**n, b**oy**
/p/	**p**ay, u**pp**er, cu**p**
/r/	**r**ain, so**rr**y
/s/	**c**ent, fu**ss**y, ki**ss**
/ʃ/	**sh**ip, sta**ti**on, fi**sh**
/t/	**t**op, be**tt**er, **t**en**t**
/tʃ/	**ch**air, pi**tch**er, ma**tch**
/θ/	**th**ink, pi**th**y, bo**th**
/ʊ/	g**oo**d
/u/	mut**u**al, sens**u**ous
/uː/	**oo**ze, f**oo**d, t**oo**
/ʊər/	p**oor**, t**our**
/v/	**v**ine, co**v**er, lo**v**e
/ʌ/	**u**p, bl**oo**d
/w/	**w**ay
/z/	**z**oo, bu**s**y, lo**s**e
/ʒ/	mea**s**ure, rou**ge**
/ ˊ /	第１アクセント
/ ˊ /	第２アクセント
/ ˋ /	第３アクセント

★（1）丸括弧：略しうる音：/stéɪʃ(ə)n/=/stéɪʃən, stéɪʃn/ // /(h)wɛ́n/=/hwɛ́n, wɛ́n/

（2）/ʼ/: 次の子音が音節主音であることを表わす：/bάtʼl/=/bάtl/.

（3）/æ: ɑ:/ などのセミコロン（;）の左は米音，右は英音を表わす：**ask** /ǽsk; ɑ́:sk/ は米音 /ǽsk/，英音 /ɑ́:sk/ の意．**wélfare státe** /;—́ —́/ は英では **wélfare státe** の意．

（4）/(:)/ は一般に長母音と短母音の両方の発音があることを表わすが，/ɔ(:)/ は，米音 /ɔ:/，英音 /ɔ/ の意．

（5）/ɑ:r/ /ɛər, *ær/ /ə:r/ /ər/ /ɪər/ /ɔ:r/ /ʊər/ の /r/ は，英音では切れ目なしに母音が続く場合にのみ発音される /r/ を表わす．すなわち

子音の前と語末であとに母音がすぐ続かないときは発音されない．米音では先行する /ə/ に影響を与えてそれとともに /ɚ/ と表わされる「r 音色のついた母音（*r*-colored vowel）」になる．また米音では，/ɑː*r*/ は /ɑɚ/，/ɔː*r*/ は /ɔɚ/ と発音される．/*ə*/ は英音でのみ発音され，米音では発音されない /ə/ で表わす．

（6）/ˌ*…/ /ˌ"…/ の … はそれぞれ「米音 [英音] としては … の発音もある」の意（⇨「凡例」2.3b）.

（7）「発音表記のない本見出し語の発音」については「凡例」2.10, 2.11参照.

非英語音およびその他の記号

/ʏ/ Bü**r**ger, L**u**néville（唇をまるめて /ɪ/ を発音する）

/y/ Ps**y**chologie（唇をまるめて /i/ を発音する）

/ø/ f**eu**[2], N**eu**châtel（唇をまるめて/e/を発音する）

/œ/ j**eu**nesse, œ**u**f（唇をまるめて /ɛ/ を発音する）

/ɑ̃/ **pen**sée, s**ans**（鼻音化した /ɑ/）

/ɛ̃/ M**ain**tenon, v**in** rosè（鼻音化した /ɛ/）

/ɔ̃/ b**on**soir, garç**on**（鼻音化した /ɔ/）

/œ̃/ chac**un** à son goût（鼻音化した/œ/）

/ç/ Bre**ch**t, ni**ch**t wahr（中舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音）

/x/ Ba**ch**, lo**ch**（後舌面を硬口蓋に近づけて出す無声摩擦音）

/ɥ/ enn**u**i, n**u**it blanche（/y/ に対応する半母音）

/ɲ/ Bourgo**gne**, Monta**igne**（口蓋化した /n/）

/ɯ/ **u**gh（唇をまるめない /ʊ/; 日本語の「ウ」）

/ɸ/ **ph**ew（両唇をせばめて出す無声摩擦音：日本語の「フ」の音）

/ʔ/ uh-oh /ʔʌ́ʔòʊ/（声門閉鎖音；日本語の「アッ」（驚きの声）の「ッ」の音）

/ ̥/ hem /m̥m/（無声化した /m/）

発音省略語尾一覧表 （詳しくは本文の各項を見よ）

A **-abil·i·ty** /əbíləti/ **-able** /əb(ə)l/ **-ably** /əbli/ **-adel·phous** /ədélfəs/ **-age** /ɪdʒ/ **-al** /(ə)l/ **-an** /ən/ **-ance** /(ə)ns/ **-an·cy** /(ə)nsi/ **-an·drous** /ǽndrəs/ **-ant** /(ə)nt/ **-arch** /ɑ̀ːrk/ **-ar·chy** /ɑ̀ːrki/ **-ard** /ərd/ **-ary** /ˊ– èri, ˊəri; ˊ(–)əri/ **-as·ter** /æ̀stər, ǽs-/ **-ate** /ət, èɪt/ **-a·tion** /éɪʃ(ə)n/

B **-bi·ont** /báɪɑ̀nt/ **-bi·o·sis** / baɪóusəs, bi- (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-blast** /blæ̀st; blɑ̀ːst/ **-blas·tic** /blǽstɪk/

C **-carp** /kɑ̀ːrp/ **-car·pic** /kɑ́ːrpɪk/ **-car·pous** /kɑ́ːrpəs/ **-car·py** / kɑ̀ːrpi/ **-cene** /sìːn/ **-cen·tric** / séntrɪk/ **-ce·phal·ic** /səfǽlɪk, kɛ-/ **-ceph·a·lous** /séfələs/ **-ceph·a·ly** / séfəli/ **-cer·cal** /sə́ːrk(ə)l/ **-chore** /kɔ̀ːr/ **-chrome** /kròum/ **-ci·dal** /sáɪd'l/ **-cide** /sàɪd/ **-cli·nal** / kláɪn'l/ **-cline** /klàɪn/ **-cli·nous** / kláɪnəs/ **-coc·cus** /kɑ́kəs/ **-coel** / sìːl/ **-coele** /sìːl/ **-cot·yl** /kɑ́t(ə)l/ **-crat** /kræ̀t/ **-crat·ic** /krǽtɪk/ **-cy** /si/ **-cyst** /sɪ̀st/ **-cyte** /sàɪt/

D **-dac·ty·lous** /dǽktələs/ **-dac·ty·ly** /dǽktəli/ **-den·dron** /déndrən/ **-derm** /də́ːrm/ **-der·ma** /də́ːrmə/ **-der·mic** /də́ːrmɪk/ **-der·mis** / də́ːrməs/ **-dom** /dəm/ **-drome** / dròum/

E **-ean** /iən/ **-ec·to·my** /éktəmi/ **-ed** /əd, d, t/ **-ee** /íː/ **-eer** /íər/ **-en** / (ə)n/ **-ence** /(ə)ns/ **-en·cy** /(ə)nsi/ **-ent** /(ə)nt/ **-er** /ər/ **-ern** /ərn/ **-ery** /(ə)ri/ **-es** /əz, ɪz, z, s/ **-ese** / íːz, íːs/**-ess** /əs, ɪs, és/ **-est** /əst, ɪst/ **-eth** /əθ, ɪθ/

F **-fa·cient** /féɪʃ(ə)nt/ **-fac·tion** / fǽkʃ(ə)n/ **-fac·tive** /fǽktɪv/ **-fest** /fèst/ **-flo·rous** /flɔ́ːrəs/ **-fold** / fòuld/ **-form** /fɔ̀ːrm/ **-fuge** / ˊ–fjùːdʒ/ **-ful** /fʊl, f(ə)l/

G **-gam·ic** /gǽmɪk/ **-ge·net·ic** / dʒənétɪk/ **-genic** /dʒénɪk, dʒíːnɪk/ **-glot** /glɑ̀t/ **-gon** / ˊ–gɑ̀n, –gən; –gən/ **-grade** / grèɪd/ **-gram** /græ̀m/ **-graph** / græ̀f; grɑ̀ːf/ **-graph·ic** /grǽfɪk/ **-graph·i·cal** /grǽfɪk(ə)l/

H **-he·dral** /híːdrəl, "héd-/ **-he·dron** /híːdrən "héd-/ (*pl* ~s, **-dra** /–drə/) **-hip·pus** /hípəs/ **-hood** /hʊ̀d/

I **-ian** /iən/ **-ibil·i·ty** /əbíləti/ **-ible** /əb(ə)l/ **-ibly** /əbli/ **-ic** / ˊɪk/ **-i·cal** /ˊɪk(ə)l/ **-ing** /ɪŋ/ **-ish** /ɪʃ/ **-ism** /ɪ̀z(ə)m/ **-ist** / ɪst/ **-ite** /àɪt/ **-ive** /ˊɪv/ **-iza·tion** /əzéɪʃ(ə)n; àɪ-/ **-ize** / àɪz/

L **-less** /ləs/ **-let** /lət/ **-like** / làɪk/ **-li·ness** /lɪnəs/ **-ling** / lɪŋ/ **-lite** /làɪt/ **-lith** /lɪ̀θ/ **-lith·ic** /líθɪk/ **-ly** /li, i/ **-lyte** / làɪt/

M **-ma·nia** /méɪniə, njə/ **-ment** / mənt/ **-mer** /mər/ **-mere** / mɪ̀ər/ **-m·er·ism** /mərɪ̀z(ə)m/ **-met·ric** /métrɪk/ **-met·ri·cal** / métrɪk(ə)l/ **-m·e·try** /ˊmətri/ **-mo·bile** /moubìːl, mə-/ **-morph** /mɔ́ːrf/ **-mor·phic** / mɔ́ːrfɪk/ **-mor·phism** / mɔ́ːrfɪ̀z(ə)m/ **-mor·pho·sis** / mɔ́ːrfəsəs (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-mor·phous** /mɔ́ːrfəs/ **-mor·phy** /mɔ́ːrfi/ **-most** / mòust, "məst/ **-my·cete** / máɪsìːt, ˋ ˊ / **-my·cin** / máɪs(ə)n/

N **-ness** /nəs/

O **-o·dont** /ədɑ̀nt/ **-oid** /ɔ̀ɪd/ **-or** /ər/ **-os·to·sis** /ɑstóusəs/ (*pl* **-ses** /síːz/, **~·es**) **-ous** /əs/

P **-path** /pæ̀θ/ **-path·ic** /pǽθɪk/ **-ped** /pɛ̀d/ **-pede** /pìːd/ **-phage** /fèɪdʒ, fɑ́ːʒ/ **-pha·gia** /fèɪdʒiə/ **-phane** /fèɪn/ **-phil** /fìl/ **-phile** /fàɪl/ **-phil·ia** /fíliə/ **-phil·ic** /fílɪk/ **-phobe** /fòʊb/ **-pho·bia** /fóʊbiə/ **-pho·bic** /fóʊbɪk/ **-phone** /fòʊn/ **-phore** /fɔ̀ː*r*/ **-pho·re·sis** /fəríːsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-phyll** /fìl/ **-phyl·lous** /fíləs/ **-phyte** /fàɪt/ **-phyt·ic** /fítɪk/ **-pla·sia** /pléɪʒ(i)ə; plǽziə/ **-pla·sy** /plèɪsi, plæ̀si/ **-plasm** /plæ̀z(ə)m/ **-plast** /plǽst/ **-plas·tic** /plǽstɪk/ **-plas·ty** /plæ̀sti/ **-ple·gia** /plíːdʒ(i)ə/ **-ple·gy** /plíːdʒi/ **-ploid** /plɔ̀ɪd/ **-pod** /pɑ̀d/ **-poi·e·sis** /pɔɪíːsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-poi·et·ic** /pɔɪɛ́tɪk/

R **-ress** /rəs/ **-ry** /ri/

S **-s** /s, z/ **-saur** /sɔ̀ː*r*/ **-sau·rus** /sɔ́ːrəs/ **-scape** /skèɪp/ **-scope** /skòʊp/ **-sep·al·ous** /sɛ́pələs/ **-ship** /ʃìp/ **-some**[1, 2] /səm/ **-some**[3] /sòʊm/ **-so·mic** /sóʊmɪk/ **-spore** /spɔ̀ː*r*/ **-spor·ous** /-spɔ́ːrəs, ´–spərəs/ **-sta·sis** /stéɪsəs, stǽs, ´–stəsəs/ (*pl* **-ses** /-sìːz/) **-stat** /stǽt/ **-stat·ic** /stǽtɪk/ **-ster** /stə*r*/ **-stome** /stóʊm/ **-style** /stàɪl/

T **-tax·is** /tǽksəs/ (*pl* **-tax·es** /-sìːz/) **-th** /θ/ **-the·ci·um** /θíːiəm, -si-/ **-the·ism** /θiìz(ə)m/ **-the·ist** /´–θìːɪst, ´–θiɪst/ **-therm** /θèː*r*m/ **-ther·my** /θə̀ː*r*mi/ **-tome** /tòʊm/ **-to·nia** /tóʊniə/ **-tron** /trɑ̀n/ **-trope** /tròʊp/ **-troph·ic** /trɑ́fɪk, tróʊ-/ **-tro·phy** /´–trəfi/ **-trop·ic** /trɑ́pɪk, tróʊ-/ **-tro·pism** /´–trəpìz(ə)m, tróʊpìz(ə)m/ **-tro·pous** /´trəpəs/ **-tro·py** /´–trəpi/ **-ty** /ti/ **-type** /tàɪp/

W **-ward** /wə*r*d/ **-wards** /wə*r*dz/

Y **-y** /i/

Z **-zoa** /zóʊə/ **-zo·ic** /zóʊɪk/ **-zoon** /zóʊɑ̀n, *-ən/ (*pl* **-zoa** /zóʊə/) **-zy·gous** /záɪgəs, zíg-/ **-zyme** /zàɪm/

新和英中辞典 第4版について

この辞書の使い方

I　見出し語

1 総収録語数は日常語も積極的に収録し約 7 万語とした. 慣用語(句)と連語も収録語に数えた.

2 かな見出しとし, 五十音順に配列した. 外来語, 外国の地名・人名などはカタカナ書きとした.

3 同じかなの場合は清音, 濁音, 半濁音の順にした.
てんけん【点検】, でんげん【電源】
はんば【飯場】, はんぱ【半端】

4 つまる音, 拗音の表記に用いた小さい字(っ, ゃ, ゅ, ょ)は, 大きい字のあとにした.
はつか【二十日】, はっか[1]【発火】, はっか[2]【薄荷】
しや【視野】, しゃ[1]【社】, しゃ[2]【紗】, しゃ[3]【斜】

5 長音を「ー」で表記した場合, 例えばインターン, イースト, ウーマンリブ, ウエーブ, イコールは, インタアン, イイスト, ウウマンリブ, ウエエブ, イコオルの位置に配列した.

6 同音語の順序は原則として次のようにした.

(1) カタカナ表記の見出し語はひらがな表記のあとに配列した.
(2) 漢字表記を伴う見出し語を先にし, かな表記だけのものをあとにした.
(3) 漢字表記を示したもので漢字の字数が同じものについては, 1 字目の画数の少ないものから多いものへと配列した.また 1 字目の画数が同じときは 2 字目の画数の順に配列した.
(4) 同音語については他の見出し語との相互参照のための検索の便を考えて右肩に番号をつけた.
ぼたん【牡丹】, ボタン
さる[1]【申】, さる[2]【猿】, さる[3]【去る】, さる[4]【然る】
その[1]【園】, その[2]
いし[1]【石】, いし[2]【医師】, いし[3]【意志】, いし[4]【意思】, いし[5]【遺志】

7 独立しては用いられない語(助詞・接頭辞・接尾辞など)を見出しに立てる場合は, ハイフンをつけて, 独立語の後に置いた.
で[1]【出】, で[2]〈それで〉…, -で〈場所〉…
まい【舞】, まい-【毎…】, -まい[1]【…枚】, -まい[2]

8 漢字の使用は常用漢字の範囲にとどめるのを原則とするが, 意味の別を明らかにするためにその範囲外のものを用いることもある.

9 連語は見出し語があとにつくものは句例扱いとし, 前につくものは行を改めてボールド体活字で示し, 五十音順に配列した.

10 慣用語(句)は見出し語のあとの助詞によって「は」「が」「の」「を」「に」の順に配列した.

11 侮蔑的または差別的であるととられるおそれのある見出し語や表現に関してはその右肩に × 印を添付して注意を促した. また訳語の差別的な英語には ★ 印をつけて注記を入れた.

Ⅱ　訳語

1 日本語の語義を克明に分析し理解しやすいように数字を用いて語義区分を施した.

2 英語で記述されている語義には理解度を深めるために〈 〉を用いて適宜平易な日本語を補充することにつとめた.

3 語義区分をする必要がない場合でもいくつかの語義を与える場合には主要なもの, 普通のものを先にした. その場合〈 〉を用いて意味の区別を示し, 必要に応じてさらに（　）内に説明を加えた. また英文を書くときの助けになるよう⦅　⦆を用いてコロケーション (collocation) も示した.
ところ【所, 処】 1〈場所〉a place; a spot (狭い); a scene (現場); a seat (所在地) ¶ 行きたい[住みたい]所 the place *one* wants to go (to) [live (in)] ⦅★ このように, place に続く不定詞を含む句では前置詞 to, in は省略できる⦆
うけおう【請け負う】 1〈契約する〉contract ⦅for the work, to *do*⦆; get [⦅*fml*⦆ receive] a contract ⦅for *sth* from *sb*⦆ ¶ 請け負わせる give *sb* a contract ⦅for⦆; let a contract ⦅to *sb*⦆; farm ⦅the work⦆ out ⦅to *sb*⦆
文例 彼はその家の建築を5千万円で請け負った。
He has contracted to build the house for 50 million yen.

4 この辞書は全般的に現代英語で用いられる普通の表現を示すことを眼目としているので, 例えば, depend on [upon] という表記は採らず, depend on だけとしてある. will [shall] となる可能性のある場合も will だけにとどめてある. 文脈から考えて, upon, shall でなければ適切を欠くと思われる時に限って upon, shall を用いた. He is older than I. の形を採らずに, He is older than me. としたのも同じ趣旨である(**より**³ **用法** 参照).

5 訳語・訳文のうちで, 使用域の点で注意を要するものについては, ⦅*fml*⦆, ⦅口語⦆, ⦅俗⦆, ⦅卑⦆, ⦅戯言⦆, ⦅小児語⦆ などの表示をした.

次のページにつづく

(1) 《*fml*》の表示は formal (「言葉が形式ばった」の意) の省略形である. 日本語でいう「文語」よりももっと意味を広げて, 堅い感じをともなう英語にすべてつけてある. この表示は文脈によってきまる相対的なものであって, ある特定の語が常に《*fml*》であるとは限らない. 例えば,「手を伸ばす」を extend *one's* arm と表現するのは《*fml*》であるが, 一般的に物を「伸ばす」意味で用いられる extend は《*fml*》ではない. get [grow, 《*fml*》 become] rich の場合は get, grow に対して become は相対的に堅い感じになるので《*fml*》であるが, become clear, become extinct などの句では get, grow などは用いられず, become に堅い感じはないので《*fml*》ではない. 《*fml*》 confess (to) *one's* crime [sin]; confess that *one* has committed a crime; 《*fml*》 confess *oneself* guilty のように, 使い方によって《*fml*》となる例もある. また, かなりくだけた話の中でも, 面白味をもたせるためにわざと《*fml*》の語を用いることも珍しくない. 要は, 《*fml*》であることを承知の上で使うことである. なお, 準専門語と考えられる用語, 例えば antibacterial (抗菌性の), (the art of) mnemonics (記憶術) のような語については, 特に《*fml*》の表示はしない.

(2) 《口語》の表示のある語句や文は日常会話で一般に用いられているが, 言葉使いに気をつけねばならないような場面ではあまり用いられない, ややくだけた表現である.

(3) 《俗》はだいたい英語の slang に当たる. 学生・同僚など親しい者同士の間だけで, その会話に生き生きとした感じを与えるためによく用いられるが, 文章に書く際はもちろん, 一般の会話でも避けられる言葉にこの表示をつけた. この中には, 性などに関するタブー語なども含まれているし, はやりすたりもあるのでその言葉のフィーリングがよくわからないときは, 用いないほうが無難である. なおこれらの表示 (《*fml*》, 《口語》, 《俗》, 《米》, 《英》など) は同一項目内の同じ事項については, 繰り返してつけないことを原則とした.

6 訳語の名詞に不定冠詞をつけてあるのは可算名詞 (countable noun), 無冠詞のものは不可算名詞 (uncountable noun) であるが, 不定冠詞が ( ) に入れてある場合は, 可算・不可算の両様の用法があることを示す. 用法上注意すべき点があるときは, 必要に応じて注を加えてある. また, 可算名詞のうちで, 複数形で用いられることが特に多いものについては,

しげん[2] **【資源】** a (natural) resource; (natural) resources

のような記載法を採った項目もある. 複数で用いられるのが普通の場合には

そうるい[2] **【藻類】**〘**植**〙(the) algae《★algae は alga の複数形であるが単数形で用いられることはほとんどない》; seaweeds; waterweeds.

のように記載した.

7 複数形が不規則変化をするものについては《 》を用いて以下のように表記した.

ちそう[2] **【地層】** a (geologic) stratum《複 -ta》

規則変化・不規則変化の両様の変化のあるものについては,

だいち[2] **【台地】**…a plateau《複 ～s, -teaux》

のように表示した.

語尾が -o で終わる語についても, a photo《複 ～s》/ a potato《複 ～es》/ a mosquito《複 ～(e) s》という記載をした. この最後の例は mosquitoes, mosquitos の両様があることを示す.

8 動植物名には英名がないものや, たとえあっても専門的に過ぎて一般には通じないものもある. 例えば,貝のあさりを a Japanese little neck と訳しても実用性がないので, この辞書では an *asari* clam とした. ひぐらしは a *higurashi* cicada; a cleartoned cicada; an evening cicada とした.

9 日本の事物で相当する英語がない場合は, 英米人にその事物を説明するのに役立つような簡略な定義を示した.

いただく【頂く, 戴く】…4〈飲食する〉have; eat; drink; take. **文例** もう結構です. 充分頂きました. No, thank you. I have had enough.《★ 食事を始めるときの「いただきます」は英語ではいわない. ただし, 敬虔なクリスチャンの家庭では,食前または食後に短い祈りを捧げるが, それを英語では say grace という》.

10 訳語のなかでイタリック体にしたものは, 外来語でまだ完全には英語化されていないものである.

【万年雪】 perpetual snow《on the slopes of Mt. Everest》; 《*fml*》 eternal [perennial] 《alpine》 snows;〘地質〙《ドイツ語》*firn* (snow); 《フランス語》*névé*.

日本語から英語に入ったものについても同じ扱いをしたものがあるが, その場合は単複同形とみなして, 複数語尾の ～s を付した形はないものとした.

きもの【着物】〈和服〉a *kimono*

ぞうり【草履】…(a pair of) *zori*

次のページにつづく

11 *one, one's, oneself, sb* (=somebody), *sb's* (=somebody's), *sth* (=something)もイタリック体にしてあるが, これは, 文脈によって, I, we, my, our, myself, ourselves, he, she, they, his, Mary's, a dog, a pen, water, etc. のように自由に変化することを示す. このうち, だいたいにおいて, *one* は動作主または自分, *sb* は動作主とは別の人あるいは他人を表わすと考えてよい. *sb, sth* を受ける代名詞は *he, it* とした. また, すべての動詞を代表する表記として *do* を用いた.

Ⅲ　句例・文例

1 句例・文例の総数は約 10 万である.

2 句例で記載事項の多い項目では, たとえば まず動詞形の「…する」を最前部に記載した. またそれ以後は検索の便を図って見出し語のあとの助詞によって,「は」「が」「の」「を」「に」の順に配列した.

3 見出し語の語義のあとは ¶ を用いて句例や連語を示した. そして, フルセンテンスの用例は **文例** として記載した.

4 文例は見逃しがちな日本語独特の表現を掲載するようつとめた. 特に慣用語(句)の比喩的な使い方を明示したつもりである.

5 日常会話で用いられている表現にも留意した.

6 文例については, 煩を避けて, ((*fml*)), ((口語)) などの表示は特別に必要と思われるもの以外は省いてある.

7 諺については, 日本語の諺に非常に近い英語の諺がある場合はそれを載せて, そのあとに〘諺〙の表示をつけた. 日本語の諺にぴったりする諺がない場合が多いが, その場合には, 使われなくなったものや, その趣旨にずれのあるものをあえて載せることはせず, 日本語の諺の趣旨を伝える英語を載せた. その場合には〘諺〙の表示はつけない.

Ⅳ　語法

訳語・訳文などだけでは充分に説明できない事柄については, 随所に 用法 や注解を加えて語の使われ方の記述を説明した. やや長い解説は項目の末尾に 用法 で示し, 短いものは関係箇所に ★ のマークをつけて入れた.

よろしく【宜しく】… 2〈あいさつ〉¶ …へどうぞよろしく please remember me to *sb*; give my (best [kind]) regards to *sb*;〈肉親・親しい友人へ〉give my love to *sb*…
用法「本年もどうぞよろしくお願いいたします」,「(これは私の息子です.)どうぞよろしく」という表現は日本独特のあいさつで英語にはない.
★は英語の語法などを簡単に説明する際に用いられている.

でいり【出入り】1〈人の〉….2〈収支〉income and expenditure; receipts and expenditures ((★日・英順序が逆になる点に注意))

Ⅴ　スペリング

スペリングはアメリカ式綴りを優先させた:
honor; judgment; meter; offense; skillful; traveler.
ただし, ((英)) のスペリングが ((米)) と著しく異なる場合は ((英)) a gaol のように示した. また ((英)) 独特の表現を示す場合のスペリングは英国式とした.

Ⅵ　記号の用法

1 ((　))

(1) 英米語の区別や他の外国語, 使用域の表示(Ⅱ 5 参照), コロケーションの明示(Ⅱ 3 参照):
((米)), ((英)), ((米口語)), ((英俗))
ゲバ(ルト)【< ((ドイツ語)) *Gewalt*】
violence; force ☞ ぼうりょく
¶内ゲバ violence within a (student) sect; internal strife.

(2) 訳語の補足, 前置詞・複数形の表示:
せんし[1]【先史】prehistory.
【先史時代】the prehistoric age;
((study)) the prehistory ((of Japan)) ¶先史時代の日本 prehistoric Japan.
この ((　)) 内に示したのは用例であって, 必ずしも, それが絶対に必要であることを意味するものではない. 例えば, wait ((for)) は He waited for her arrival. のような用法を示すが, 単に He waited. という文も, もちろんあるし, be incompatible ((with)) は That is incompatible with this. という構造を示したものであるが, They are incompatible. という文を排除するものではない.

2 〈　〉
語義の区別を示す(Ⅱ3 参照).

3 (　)

(1) 省略できる語・句・綴りを示す:
【型紙】a (paper) pattern / 見掛けによらず despite appearances (to the contrary) / クラスの首席を占めている be (at the) top of the class / 〈つげ材〉 box (wood) / あみだ(くじ)をやる / 【農具】a farm (ing) tool.

(2) 簡単な追加説明:
(選手が)調子を崩さないようにする keep in training / 【停学】… ((英))rustication (大学の).

次のページにつづく

4 [ ]

(1) その前の語句の言いかえ:
【定額】 a fixed amount [sum] / 【入る】 come [go, get, step] in [into] / 【仲裁人[者]】 an arbitrator.
なお, 言いかえ部分の範囲がまぎらわしいときは, [ ] 内の初めの部分を一部重複させてある:
I hadn't thought that he was as foolish as that [《口語》 he was that foolish].

(2) 2 種または数種の語句を一括する:
学者 [芸術家] かたぎの人 a man of scholarly type [an artistic temperament] / 一般に使用されている [されるようになる] be in [come into] general use.

5 〘 〙
専門語などの表示:
〘動〙〘植〙〘気象〙〘音楽〙〘諺〙〘掲示〙

6 <
語源を示す:
ゼッケン【<《ドイツ語》 *Decken* 《★*Decke* の複数形》】 ¶ ゼッケン番号 a number 《on an athlete's singlet》.

7 ¶
句例・連語の初めを示す.

8 /
句例・文例の境界を示す.

9 |
同一の日本文に対して英語の文例を 2 つ以上列記した場合の境界を示す.

10 ☞
参照項目の指示.
関連事項が他項目にある場合, ☞ によってその事を示し, この辞書を有機的・総合的に利用できるように配慮してある.

(1) 同意語の参照項目の指示.
あさぶろ【朝風呂】 ☞ あさゆ.

(2) 主記述が表記されている見出し項目の指示.
さげすむ【蔑む】 ☞ けいべつ (軽蔑する).
上記は さげすむ は けいべつ の句例「軽蔑する」と同意語であることを示す.
じざい【自在】 ☞ じゆう[1] ¶ 変幻自在 ☞へんげん[2] (変幻自在).
上記は「変幻自在」が へんげん[2] の項目で連語として 変幻自在と記述されていることを示す.

11 ★

(1) 用法・注解を示す (Ⅳ 参照).

(2) 和製英語を明示するときに用いた.
【スキンシップ】《constant》 physical [personal] contact 《between mother and infant》; togetherness 《★「スキンシップ」は和製英語》

12 -

(1) 複数形を表示する際に省略される共通音節を示す.

さいきん[1]**【細菌】**a bacillus《複 -cilli》;

(2) 合成語に用いた.

やがい【野外】¶野外の out door; out-of-door; open-air; field /

13 ～

スワングダッシュ (swung dash) は複数形を表示する際直前に記述されている単数型を代用する意に用いた.

だいたい[3]**【大腿】**〔解〕a thigh
【大腿骨】a thighbone
【大腿部】the femur《複 ～s, femora》.

14 《 》

句例の主語に人がくるか, 事物がくるかを示す.

【気が重い】《事が主語》lie heavy on one's mind; 《口語》have got one down; 《人が主語》be [feel] depressed [down].

Ⅶ 略語表

《*fml*》 formal
《俗》 俗語
《卑》 卑語
〔医〕 医学
〔化〕 化学
〔貝〕 貝類
〔海〕 海事
〔解〕 解剖学
〔機〕 機械
〔魚〕 魚類
〔劇〕 演劇
〔建〕 建築
〔工〕 工学
〔光〕 光学
〔鉱〕 鉱物
〔昆〕 昆虫
〔史〕 歴史
〔商〕 商業
〔植〕 植物
〔数〕 数学
〔生化〕生化学
〔鳥〕 鳥類
〔哲〕 哲学
〔天〕 天文学
〔電〕 電気
〔動〕 動物
〔物〕 物理学
〔法〕 法律
〔紋〕 紋章学
〔薬〕 薬学
〔論〕 論理学
複 複数
sb ＝somebody
sth ＝something

上記以外のものについては〔映画〕〔航空〕〔測量〕〔体操〕などのように略記しないでフルに表記した.

オックスフォード現代英英辞典第6版について

Abbreviations and grammar labels
used in the dictionary

abbr.	abbreviation	**NZE**	New Zealand English
adj.	adjective	**pl.**	plural
adv.	adverb	**pp**	past participle
AmE	American English	**prep.**	preposition
AustralE	Australian English	**pron.**	pronoun
BrE	British English	**pt**	past tense
C	countable noun	**sb**	somebody
conj.	conjunction	**ScotE**	Scottish English
det.	determiner	**sing.**	singular
etc.	et cetera (= and so on)	**sth**	something
IrishE	Irish English	**symb**	symbol
n.	noun	**U**	uncountable noun
NorthE	Northern English	**v.**	verb

Symbols
used in the dictionary

~	replaces the headword of an entry
■	shows new part of speech in an entry
▸	derivative(s) section of an entry
⚠	taboo (see **Labels** below)
IDM	idiom(s) section of an entry
PHR V	phrasal verb(s) section of an entry

Labels
used in the dictionary

The following labels are used with words that express a particular attitude or are appropriate in a particular situation.

approving expressions show that you feel approval or admiration, for example *dispassionate, feisty, petite.*

disapproving expressions show that you feel disapproval or contempt, for example *blinkered, faceless, jumped-up.*

figurative language is language that is used in a non-literal or metaphorical way, as in *He didn't want to cast a shadow on* (= spoil) *their happiness.*

formal expressions are usually only used in serious or official language and would not be appropriate in normal everyday conversation. Examples are *admonish, juncture, withhold.*

humorous expressions are intended to be funny, for example *impecunious, warpaint* and *not a dry eye in the house.*

informal expressions are used between friends or in a relaxed or unofficial situation. They are not appropriate for formal situations. Examples are *dodgy, party-pooper, zap.*

ironic language uses words to mean the opposite or something very different from the meaning they seem to have, as in *You're a great help, I must say!* (= no help at all)

literary language is used mainly in literature and imaginative writing, for example *aflame, halcyon, serpentine.*

offensive expressions are used by some people to address or refer to people in a way that is very insulting, especially in connection with their race, religion, sex or disabilities, for example *mulatto, slut, cretin.* They should be avoided.

rare words exist in English but are not commonly used. Sometimes there is a more frequent form of the word that is usually used instead. For example *illumine* means the same as *illuminate*, but is much less frequent.

slang is very informal language, mainly used in speaking and sometimes restricted to a particular group of people, for example people of the same age or those who have similar interests or do the same job. Examples are *dosh* and *dweeb*.

spoken expressions are used mainly in informal conversations, for example *Give me a break! or Don't ask!*

technical language is used by people who specialize in a particular subject area.

written expressions are used mainly in written language, for example *groundswell, hotfoot, vis-à-vis.*

⚠ Taboo words are likely to be thought by many people to be obscene or shocking and you should avoid using them. Examples are *bloody* and *shit*.

The following labels show other restrictions on the use of words.

AmE describes expressions, spellings and pronunciations used in American English and not in British English, for example *bleachers, blindside, blooper*.

BrE describes expressions used in British English and not in American English, for example *jumble sale, agony aunt, chinwag*.

dialect describes expressions that are mainly used in particular regions of the British Isles, not including Scotland or Ireland, for example *beck, nowt.*

次のページにつづく

old-fashioned expressions are passing out of current use, for example *balderdash, beanfeast, blithering.*

old use describes expressions that are no longer in current use, for example *ere, hearken, perchance.*

saying describes a well-known fixed or traditional phrase, such as a proverb, that is used to make a comment, give advice, etc., for example *actions speak louder than words* and *it's all Greek to me.*

™ shows registered trademarks that belong to manufacturing companies, even though the expressions may be commonly used in speech and writing, for example *Band-Aid, Frisbee, Vegeburger*.

Key to verb patterns

Intransitive verbs

[V] verb used alone
*A large dog **appeared**.*

[V+*adv./prep.*] verb + adverb or prepositional phrase
*A group of swans **floated by**.*

Transitive verbs

[VN] verb + noun phrase
*Jill's behaviour **annoyed me**.*

[VN+*adv./prep.*] verb + noun phrase + adverb or prepositional phrase
*He **kicked the ball into** the net.*

Transitive verbs + two objects

[VNN] verb + noun phrase + noun phrase
***I gave Sue a book** for Christmas.*

Linking verbs

[V-ADJ] verb + adjective
*His voice **sounds hoarse**.*

[V-N] verb + noun phrase
*Elena **became a doctor**.*

[VN-ADJ] verb + noun phrase + adjective
*She **considered herself lucky**.*

[VN-N] verb + noun phrase + noun phrase
*They **elected him president**.*

Verbs used with clauses or phrases

[V **that**] verb + **that** clause

[V (**that**)] *He **said that** he would prefer to walk.*

[VN **that**] verb + noun phrase + **that** clause

[VN (**that**)] *Can you **remind me that** I need to buy some milk?*

[V **wh-**] verb + **wh-** clause
***I wonder what** the job will be like.*

[VN **wh-**] verb + noun phrase + **wh-** clause
*I **asked him where** the hall was.*

[V **to** inf] verb + **to** infinitive
*The goldfish **need to be fed**.*

[VN **to** inf] verb + noun phrase **to** infinitive
*He **was forced to leave** the keys.*

[VN inf] verb + noun phrase + infinitive without 'to'
*Did you **hear the phone ring?***

[V **-ing**] verb + **-ing** phrase
*She never **stops talking**!*

[VN **-ing**] verb + noun phrase + **-ing** phrase
*His comments **set me thinking**.*

Verbs + direct speech

[V **speech**] verb + direct speech
*'It's snowing,' she **said**.*

[VN **speech**] verb + noun phrase + direct speech *'Tom's coming to lunch,' she **told him**.*

Key to dictionary entries

Finding the word

Information in the dictionary is given in **entries**, arranged in alphabetical order of **headwords**.

Some headwords can have more than one part of speech:

There are some words in English that have the same spelling as each other but different pronunciations and completely different meanings:

There are also some words in English that have more than one possible spelling or form, when both spellings or forms are acceptable. Information about these words is given at the most frequent spelling or form:

ban·is·ter (also **ban·nis·ter**) /ˈbænɪstə(r)/ *noun* (*BrE* also **ban·is·ters** [pl.]) the posts and rail at the side of a staircase: *to hold on to the banister / banisters*

At the entry for the less frequent spelling a cross-reference directs you to the main entry:

ban·nis·ter = BANISTER

American English variants and irregular forms of verbs are treated in the same way.

Some words that are **derivatives** of other, more frequent words, do not have their own entry in the dictionary, because they can be easily understood from the meaning of the word from which they are derived (the root word). They are given in the same entry as the root word, in a specially marked section:

dif·fi·dent /ˈdɪfɪdənt/ *adj.* **~** (**about sth**) not having much confidence in yourself; not wanting to talk about yourself SYN SHY: *a diffident manner / smile* ◇ *He was modest and diffident about his own success.* ▶ **dif·fi·dence** /-dəns/ *noun* [U]: *She overcame her natural diffidence and spoke with great frankness.* ▶ **dif·fi·dent·ly** *adv.*

次のページにつづく

Finding the meaning

Some words have a lot of possible meanings and the entries for them can be very long. It is not usually necessary to read the whole entry from the beginning, if you already know something about the context or general meaning you are looking for:

By looking down the left-hand side of the entry and just reading the short cuts, you can quickly find the meaning you want.

Using the word

The entries in this dictionary contain a lot more than just the meanings of words. They show you how to use the word in your own speaking and writing.

次のページにつづく

fetch /fetʃ/ *verb* **1** (*especially BrE*) to go to where sb/sth is and bring them/it back: [VN] *to fetch help/a doctor* ◊ *The inhabitants have to walk a mile to fetch water.* ◊ *She's gone to fetch the kids from school.* ◊ [VNN] *Could you fetch me my bag?* **2** [VN] to be sold for a particular price: *The painting is expected to fetch £10 000 at auction.*
IDM **fetch and ˈcarry (for sb)** to do a lot of little jobs for sb as if you were their servant PHR V **ˌfetch ˈup** (*informal, especially BrE*) to arrive somewhere without planning to: *And then, a few years after leaving college, he somehow fetched up in Rome.*

exam /ɪɡˈzæm/ (also *formal* **exam·in·ation**) *noun* a formal written, spoken or practical test, especially at school or college, to see how much you know about a subject, or what you can do: *to take an exam* ◊ (*formal*) *to sit an exam* ◊ *to pass/fail an exam* ◊ (*BrE*) *to mark an exam* ◊ (*AmE*) *to grade an exam* ◊ *an exam paper* ◊ *I got my* ***exam results*** *today.* ◊ (*BrE*) *She did well in her exams.* ◊ (*AmE*) *She did well on her exams.* ◊ *A lot of students suffer from* ***exam nerves.*** ◊ *He's practising hard for his piano exam.* HELP Use *take/do/sit an exam* not ~~*write an exam*~~.

Build your vocabulary

The dictionary also contains a lot of information that will help you increase your vocabulary and use the language productively:

stable /ˈsteɪbl/ *adj., noun, verb*
■ *adj.* **1** firmly fixed; not likely to move, change or fail SYN STEADY: *stable prices / employment* ◊ *This ladder doesn't seem very stable.* ◊ *The patient's condition is stable* (= it is not getting worse). **2** (of a person) calm and reasonable; not easily upset SYN BALANCED: *Mentally, she is not very stable.* **3** (*technical*) (of a substance) staying in the same chemical or ATOMIC state: *chemically stable* OPP UNSTABLE ► **sta·bly** /ˈsteɪbli/ *adv.*

Cross-references refer you to information in other parts of the dictionary:

jam /dʒæm/ *noun, verb*
■ *noun*
〚SWEET FOOD〛 **1** [U, C] a thick sweet substance made by boiling fruit with sugar, often sold in JARS and spread on bread: *strawberry jam* ◊ *recipes for jams and preserves* ◊ (*BrE*) *a jam doughnut*—compare JELLY, MARMALADE—picture on page A1
〚MANY PEOPLE/VEHICLES〛 **2** [C] a situation in which it is difficult or impossible to move because there are so many people or vehicles in one particular place: *The bus was delayed in a five-mile jam.* ◊ *As fans rushed to leave, jams formed at all the exits.*—see also TRAFFIC JAM
IDM **be in a ˈjam** (*informal*) to be in a difficult situation
IDM **jam toˈmorrow** (*BrE, informal*) good things that are promised for the future but never happen: *They refused to settle for a promise of jam tomorrow.* —more at MONEY

Understanding definitions

All the definitions in the dictionary are written using a vocabulary of 3000 common words. This makes them clear and easy to understand.

Reading through the following points before you start to use the dictionary will make understanding the definitions even simpler.

Important

The following are used a very large number of times:

sb = somebody/someone
sth = something
etc. = 'and other things of the same sort'

For example, if you say that something is 'used in books, newspapers, etc.', you mean that you are also including magazines and journals.

particular is used to emphasize that you are referring to one individual person, thing or type of thing and not others.

especially is used to give the most common or typical example of something. For example, the meaning of the verb **to train** is shown as 'to prepare yourself for a *particular* activity, *especially* a sport'

Describing objects and substances

The definition might refer to the **shape** and or **size** of an object. Make sure that you know what the following words mean: *round, square, circular, hollow, solid, broad, narrow*.

Other **features** of the object might be mentioned:

appearance: *simple, plain, complicated, decorative, rough, smooth, pointed*

colour: *dark, light, pale, bright, coloured, colourless*

According to its **function**, the object might be a *container, device, instrument, machine, mechanism* or *tool*.

It might be **made of** *fabric* or *cloth* (including *cotton, wool, fur, silk*), *metal* (including *iron, steel, gold, silver*) or *glass*.

Material is a general word that means anything that something is made of. For example a **cushion** is 'a fabric bag filled with soft *material*', and **adobe** is 'mud that is… used as a building *material*'.

Matter [U] is any substance that physically exists, used especially when defining more technical words. For example, a technical meaning of **suspension** is 'a liquid with very small pieces of solid matter floating in it'.

A **substance** may be *liquid* or *solid* or it may be a *gas*.

REMEMBER a **vehicle** could be a *car, lorry/truck/van or train*. An **aircraft** could be a *plane* or a helicopter.

次のページにつづく

Describing food

Food and **drink** are described as *bitter, sweet, salty, sour,* or *spicy*. An amount of a food prepared in a particular way and served at a meal is called a **dish**.

Describing people

People (or *human beings*) are *male* or *female, adults* or *children*. They, their **behaviour** or their **attitude** could be *friendly, bad-tempered, aggressive, honest, dishonest, sincere, calm, anxious, nervous, pleasant, unpleasant, intelligent, stupid, polite or rude*.

The **way** or **manner** in which somebody does something may be important.

People do things *deliberately* or *on purpose* (= they mean to do it) or accidentally or *by mistake* (= they do not mean to do it).

Somebody may have or show a **quality** or **feeling** such as *respect, interest, pleasure, skill, emotion, excitement, enthusiasm, sympathy, courage* or *determination*. Or they may show **a lack of** one of these qualities or **a desire to** do something.

Describing organizations

An **organization** may be a *business*, a *company*, an *institution*, a *club* or *a group of people* who work together for a particular aim. The people who lead an *organization*, a *government* or *society* can be called people *in authority*.

Describing actions

An **event** may be a *ceremony*, a *festival* or a *celebration*. It could be *public, private, official* or *social*.

An **occasion** is a time when something happens. For example, a **referendum** is 'an *occasion* when all the people of a country can vote on an important issue'.

Something that somebody does, or something that happens may be described as an *act*, an *action*, an *activity* or a *process* (= a series of connected actions). When a noun is very closely linked to a verb, it may be defined in terms of the verb as *the act/action/activity/process of*… For example, one of the meanings of **achievement** is 'the *act* or *process* of achieving sth'.

Your **experience** [U] is the things you have done and the knowledge you have gained; *an* **experience** [C] is something that has happened to you. For example, **cosmopolitan** means 'having or showing wide *experience* of people and things'. **Conversion** is 'the process or *experience* of changing your religion'.

Things happen *repeatedly* (= several times, one after the other), *continuously* (= without stopping), *occasionally* or *rarely* (= not very often).

Describing situations

A **matter** [C] is a subject or situation that you must consider or deal with. For example, a **case** is 'a *matter* that is being officially investigated…'

State and **condition** are both used to describe how something or somebody looks or is physically or mentally. A medical **condition** is a particular health problem that somebody has.

A situation that exists or a *habit* or *practice* that somebody has can be described as *the fact of*… or *the practice of*…For example, **gender** is '*the fact of* being male or female'.

Describing ideas

A strong opinion can be called a *belief*. A *set of beliefs* can be a *theory* about a particular subject. Some actions are *the expression of* particular ideas. A set of beliefs and practices can make a whole *system*, especially a *political* or *economic* system such as **capitalism**.

Numbers

1040 form /ˌten ˈfɔːti fɔːm; *AmE* ˈfɔːrti fɔːrm/ *noun* (in the US) an official document in which you give details of the amount of money that you have earned so that the government can calculate how much tax you have to pay

12 /twelv/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least twelve years old; a film/movie that has this label: *I can take the kids too – it's a 12*.

15 /ˌfɪfˈtiːn/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least fifteen years old; a film/movie that has this label

18 /ˌeɪˈtiːn/ *noun* (in Britain) a label that is given to a film/movie to show that it can be watched legally only by people who are at least eighteen years old; a film/movie that has this label

18-wheeler /ˌeɪtiːn ˈwiːlə(r)/ *noun* (*AmE*) a very large truck with nine wheels on each side

20/20 vision /ˌtwenti twenti ˈvɪʒn/ *noun* the ability to see perfectly without using glasses or CONTACT LENSES

2.1 /ˌtuː ˈwʌn/ *noun* the upper level of the second highest standard of degree given by a British or an Australian university: *I got a 2.1.*

2.2 /ˌtuː ˈtuː/ *noun* the lower level of the second highest standard of degree given by a British or an Australian university

24-hour clock /ˌtwenti fɔːr aʊə ˈkʟɒk; *AmE* aʊər ˈklɑːk/ *noun* the system of using twenty four numbers to talk about the hours of the day, instead of dividing it into two units of twelve hours

24/7 /ˌtwenti fɔː ˈsevən; *AmE* fɔːr/ *adv. (informal)* twenty-four hours a day, seven days a week (used to mean 'all the time'): *She's with me all the time—24/7.*

3-D (also **three-D**) /ˌθriː ˈdiː/ *noun* [U] the quality of having, or appearing to have, length, width and depth: *These glasses allow you to see the film in 3-D.*

35mm /ˌθɜːtifaɪv ˈmɪlimiːtə(r); *AmE* ˌθɜːrti- / *noun* the size of film that is usually used in cameras for taking photographs and making films/ movies

4x4 /ˌfɔː baɪ ˈfɔː; *AmE* ˌfɔːr baɪ ˈfɔːr/ *noun* a vehicle with a system in which power is applied to all four wheels, making it easier to control

911 /ˌnaɪn wʌn ˈwʌn/ the telephone number used in the US to call the police, fire or ambulance services in an emergency: *(AmE) Call 911.*

99 /ˌnaɪntiˈnaɪn/ *noun (BrE)* an ice cream in a cone with a stick of chocolate in the top

999 /ˌnaɪn naɪn ˈnaɪn/ the telephone number used in Britain to call the police, fire or ambulance services in an emergency: *(BrE) Dial 999.*

Symbols

=	equals; is the same as
	does not equal; is different from
≈	is approximately equal to
>	is more than
<	is less than
∵	because
∴	therefore
✓	correct
✗	incorrect
*	used to mark important points (called an ASTERISK)
&	and (called an AMPERSAND)
#	*(BrE)* HASH (*AmE* POUND SIGN) the symbol used for example on telephones, and in addresses in the US
"	DITTO; the same word as above
@	at
℅	(on an envelope) care of. You address a letter to a person 'care of' sb else when the place you are sending it to is not their permanent home.
£	pound sterling
$	dollar
€	euro
©	copyright
ⓘ	information
Ⓟ	parking
♂	male
♀	female
♻	used on the packaging of products to show that they are made from recycled materials (= that have been used once then treated so that they can be used again) , or to show that they can be recycled after use

Pronunciation and phonetic symbols

The British pronunciations given are those of younger speakers of General British. This includes RP (Received Pronunciation) and a range of similar accents which are not strongly regional. The American pronunciations chosen are also as far as possible the most general (not associated with any particular region). If there is a difference between British and American pronunciations of a word, the British one is given first, with *AmE* before the American pronunciation.

Consonants

p	pen	/pen/
b	bad	/bæd/
t	tea	/tiː/
d	did	/dɪd/
k	cat	/kæt/
g	get	/get/
s	see	/siː/
z	zoo	/zuː/
ʃ	shoe	/ʃuː/
ʒ	vision	/ˈvɪʒn/
h	hat	/hæt/
m	man	/mæn/
tʃ	chain	/tʃeɪn/
dʒ	jam	/dʒæm/
f	fall	/fɔːl/
v	van	/væn/
θ	thin	/θɪn/
ð	this	/ðɪs/
n	now	/naʊ/
ŋ	sing	/sɪŋ/
l	leg	/leg/
r	red	/red/
j	yes	/jes/
w	wet	/wet/

次のページにつづく

The symbol (r) indicates that British pronunciation will have /r/ only if a vowel sound follows directly at the beginning of the next word, as in **far away**; otherwise the /r/ is omitted. For American English, all the /r/ sounds should be pronounced.
/x/ represents a fricative sound as in /lɒx/ for Scottish **loch**, Irish **lough**.

Vowels and diphthongs

iː	see	/siː/
i	happy	/ˈhæpi/
ɪ	sit	/sɪt/
e	ten	/ten/
æ	cat	/kæt/
ɑː	father	/ˈfɑːðə(r)/
ɒ	got	/gɒt/ (British English)
ɔː	saw	/sɔː/
ʊ	put	/pʊt/
u	actual	/ˈæktʃuəl/
uː	too	/tuː/
ʌ	cup	/kʌp/
ɜː	fur	/fɜː(r)/
ə	about	/əˈbaʊt/
eɪ	say	/seɪ/
əʊ	go	/gəʊ/ (British English)
oʊ	go	/goʊ/ (American English)
aɪ	my	/maɪ/
ɔɪ	boy	/bɔɪ/
aʊ	now	/naʊ/
ɪə	near	/nɪə(r)/ (British English)
eə	hair	/heə(r)/ (British English)
ʊə	pure	/pjʊə(r)/ (British English)

Many British speakers use /ɔː/ instead of the diphthong /ʊə/, especially in common words, so that **sure** becomes /ʃɔː(r)/, etc.

The sound /ɒ/ does not occur in American English, and words which have this vowel in British pronunciation will instead have /ɑː/ or /ɔː/ in American English. For instance, **got** is /gɒt/ in British English, but /gɑːt/ in American English, while **dog** is British /dɒg/, American /dɔːg/.

The three diphthongs /ɪə eə ʊə/ are found only in British English. In corresponding places, American English has a simple vowel followed by /r/, so **near** is /nɪr/, **hair** is /her/, and **pure** is /pjʊr/.

Nasalized vowels, marked with /˜/, may be retained in certain words taken from French, as in **penchant** /ˈpɒ̃ʃɒ̃/, **coq au vin** /ˌkɒk əʊˈvæ̃/.

Syllabic consonants

The sounds /l/ and /n/ can often be 'syllabic' – that is, they can form a syllable by themselves without a vowel. There is a syllabic /l/ in the usual pronunciation of **middle** /ˈmɪdl/, and a syllabic /n/ in **sudden** /ˈsʌdn/.

Weak vowels /i/ and /u/

The sounds represented by /iː/ and /ɪ/ must always be made different, as in **heat** /hiːt/ compared with **hit** /hɪt/. The symbol /i/ represents a vowel that can be sounded as either /iː/ or /ɪ/, or as a sound which is a compromise between them. In a word such as **happy** /ˈhæpi/, younger speakers use a quality more like /iː/, but short in duration. When /i/ is followed by /ə/ the sequence can also be pronounced /jə/. So the word **dubious** can be /ˈdjuːbiəs/ or /ˈdjuːbjəs/.

In the same way, the two vowels represented /uː/ and /ʊ/ must be kept distinct but /u/ represents a weak vowel that varies between them. If /u/ is followed directly by a consonant sound, it can also be pronounced as /ə/. So **stimulate** can be /ˈstɪmjuleɪt/ or /ˈstɪmjəleɪt/.

Weak forms and strong forms

Certain very common words, for example **at**, **and**, **for**, **can**, have two pronunciations. We give the usual (weak) pronunciation first. The second pronunciation (strong) must be used if the word is stressed, and also generally when the word is at the end of a sentence. For example:

I'm waiting for /fə(r)/ *a bus.*
What are you waiting for /fɔː(r)/*?*

Stress

The mark /ˈ/ shows the main stress in a word. Compare **able** /ˈeɪbl/, stressed on the first syllable, with **ability** /əˈbɪləti/, stressed on the second. A stressed syllable is relatively loud, long in duration, said clearly and distinctly, and made noticeable by the pitch of the voice.

Longer words may have one or more secondary stresses coming before the main stress. These are marked with /ˌ/ as in **abbreviation** /əˌbriːviˈeɪʃn/, **agricultural** /ˌæɡrɪˈkʌltʃərəl/. They feel like beats in a rhythm leading up to the main stress.

Weak stresses coming after the main stress in a word can sometimes be heard, but they are not marked in this dictionary.

When two words are put together in a phrase, the main stress in the first word may shift to the place of the secondary stress to avoid a clash between two stressed syllables next to each other. For instance, **ˌafterˈnoon** has the main stress on **noon**, but in the phrase **ˌafternoon ˈtea** the stress on **noon** is missing.

ˌWell ˈknown has the main stress on **known**, but in the phrase **ˌwell-known ˈactor** the stress on **known** is missing.

Stress in phrasal verbs

One type of phrasal verb has a single strong stress on the first word. Examples are **ˈcome to sth**, **ˈgo for sb**, **ˈlook at sth**. This stress pattern is kept in all situations, and the second word is never stressed. If the second word is one which normally appears in a weak form, remember that the strong form must be used at the end of a phrase.

Another type of phrasal verb is shown with two stresses. The pattern shown in the dictionary, with the main stress on the second word, is the one which is used when the verb is said on its own, or when the verb as a whole is the last important word in a phrase:

What time are you ˌcoming ˈback?
He ˌmade it ˈup.
ˌFill them ˈin.

But the speaker will put a strong stress on any other important word if it comes later than the verb. The stress on the second word of the verb is then weakened or lost, especially if it would otherwise be next to the other strong stress. This happens whether the important word which receives the strong stress is between the two parts of the phrasal verb, or after both of them.

We ˌcame back ˈearly.
I ˌfilled in a ˈform.
ˌFill this ˈform in.

If more than one stress pattern is possible, or the stress depends on the context, no stress is shown.

次のページにつづく

Stress in idioms
Idioms are shown in the dictionary with at least one main stress unless more than one stress pattern is possible or the stress depends on the context. The learner should not change the position of this stress when speaking or the special meaning of the idiom may be lost.

Tapping of /t/
In American English, if a /t/ sound is between two vowels, and the second vowel is not stressed, the /t/ can be pronounced very quickly, and made voiced so that it is like a brief /d/ or the r-sound of certain languages. Technically, the sound is a 'tap', and can be symbolised by /t̬/. So Americans can pronounce **potato** as /pəˈteɪt̬oʊ/, tapping the second /t/ in the word (but not the first, because of the stress). British speakers don't generally do this.

The conditions for tapping also arise very frequently when words are put together, as in **not only**, **what I**, etc. In this case it doesn't matter whether the following vowel is stressed or not, and even British speakers can use taps in this situation, though they sound rather casual.

The glottal stop
In both British and American varieties of English, a /t/ which comes at the end of a word or syllable can often be pronounced as a glottal stop /ʔ/ (a silent gap produced by holding one's breath briefly) instead of a /t/. For this to happen, the next sound must not be a vowel or a syllabic /l/. So **football** can be /ˈfʊʔbɔːl/ instead of /ˈfʊtbɔːl/, and **button** can be /ˈbʌʔn/ instead of /ˈbʌtn/. But a glottal stop would not be used for the /t/ sounds in **bottle** or **better** because of the sounds which come afterwards.

カタカナ新語実用辞典について

この辞典の使い方

■見出し語の配列

五十音順で配列した、漢字・数字・アルファベットは、カタカナに変えた読みで五十音順とした。

例：**ミニFM局** → ミニエフエムキョク

長音符（ー）は、それぞれ直前のカナの母音字に置き換えて配列した。

例：**ターム** → タ**ア**ム
リーチ → リ**イ**チ
ムース → ム**ウ**ス
テール → テ**エ**ル
モード → モ**オ**ド

■原語

原語は、見出し後の直後に［　］でくくって示した。英語以外の原語名は、原語の直後において示した。

例：**カリスマ**［Charisma ドイツ］

■和製語

和製語は原語の後に「和」を置いて示した。原語が変化したもの、漢字・ひらがなが交じったものには「和」を示していない。

例：**ドーナツ現象**［doughnut ―］

■記号

➡　関連語、参照語
⇨　同義語
⇆　反対語、対語
＊　同義語、略語、記号など
◆　類語解説、補足説明など
▷　用例
【　】　原語上の注記

■専門語など

必要に応じて《　》でくくって特定分野や専門用語などの表示をした。略語を用いたものもあり、主なものは次のとおり。

医…医学
音…音楽
化…化学
経…経済、経営　芸…芸術
宗…宗教
心…心理
生…生物
生化…生化学、バイオテクノロジー
政…政治
通信…通信工学、ニューメディア
哲…哲学
天…天文
電…電気、電気工学
電算…コンピューター
美…美術
文…文学
理…物理
接頭…接頭辞
造語…造語成分

BBEB-D009S

お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX…………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書はVOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in China